

# 多摩川流域の都市における保全上重要な 植物群落の評価

2014年

吉川 正人  
東京農工大学 大学院 農学府 准教授

共同研究者：星野義延

# 多摩川流域の都市における保全上重要な植物群落の評価

東京農工大学大学院農学府 吉川正人

## I. はじめに

平成 20 年に制定された生物多様性基本法により、自治体レベルでの「生物多様性保全地域戦略」の策定が求められている。しかし、多くの自治体では、その基礎となる資料がないため、緑の保全に対する施策は依然として緑地面積の目標設定や保存樹木の指定にとどまっている。本研究の対象とする府中市でも、平成 21 年に「府中市緑の基本計画 2009」が策定され、平成 30 年までに市内の緑被率を 30% にすることとともに、緑の量だけでなく質を高めることが目標に掲げられた（府中市 2009）。こうした取り組みを進めるためには、地域の緑の質、すなわち地域の生物多様性を維持するためにどこをどのように保全すればよいのか、を判断するための基礎資料と評価基準が必要であるが、多摩川流域のほとんどの自治体では、こうした情報が整っていない。

著者らは 2002 年以降、府中市内にみられるすべての植物群落を網羅するように、植物社会学的方法による植生調査をおこなってきた。その結果、植物群落の種組成を記録した調査資料が、これまでに 1800 件以上も蓄積されている。また、2003 年には府中市の 1 万分の 1 現存植生図の作成も行っている。本研究ではこれらの既存データを活用し、①植生調査資料を用いた植物群落の識別をおこない、その種組成から保全上の重要性を判定すること、②識別された植物群落の分布図と植生図を重ね合わせ、植物相—植物群落—植生図凡例の関係を統合して、市内における保全上重要な緑を明らかにすることを目的とした。

多摩川流域の中核都市である府中市における事例は、類似した地形や土地利用をもつ北多摩地区の周辺都市においても応用が可能であると考えられる。なお、本研究の詳細な成果は、「府中市の植生—地域の自然環境と生物多様性の保全に向けて」（東京農工大学植生管理学研究室編 2014）として刊行した。

## II. 調査地

調査地は、多摩川流域の武蔵野台地における典型的な都市である府中市とした。年平均気温は 15.0℃、年降水量は 1530 mm である（図 1）。冬でも月平均気温が -1.0℃ を下回ることはなく、暖かさの指数は 115.5℃・月であり、気候帯としては暖温帯に位置する。

市街地のある平坦地は、いくつかの段丘面から構成される武蔵野台地のうち、最も低い段丘面である立川段丘である。北西部の武蔵台を通る国分寺崖線は、上段の武蔵野段丘との境界をなしている。一方、大國魂神社の南側を通る府中崖線は、市域を東西に走っており、この崖線の下は多摩川の沖積低地となる。市の南縁は多摩川を挟んで多摩丘陵に接する（図 2）。

立川段丘および武蔵野段丘の段丘面は、1 万年以上前の古富士起源の火山噴出物が堆積してできた関東ロームに覆われている。国分寺崖線や府中崖線は、多摩川が流路を南下させながら、台地上に堆積したローム層を削ってできたものである。これらの段丘面上には、ローム層を母材とする黒褐色から極暗褐色の土壤が発達している。一方、多摩川沿いの低地では、河川の氾濫堆積物を母材とする土壤が形成されている（奥富ほか 1975）。

市の北東部の立川段丘上には、段丘面との比高差が 30m ほどの小高い丘である浅間山がある。浅間山では周囲の段丘面とは異なり、多摩川右岸の大栗川周辺の丘陵地と共通する御殿峠礫層とよばれる礫層が分布している。これは、およそ 30 万年前まで古相模川水系が現在の多摩川水系に流れ込んでいた時代に堆積したものと考えられている。このことから浅間山は、武蔵野段丘や立川段丘が形成される過程で、多摩川による浸食を免れ、丘陵が削り残されてできた残丘であることがわかる（大森 1998）。

都市化が進行する以前の府中市では、台地上は畑地が、沖積低地には水田が広がっていた。明治前期の地形図を見ると、民家が集中しているのは甲州街道沿いに限られており、台地上には畑と灌木林（雑木林）が広がり、松林や草地の凡例も多くみられる。一方、府中崖線の南の沖積低地では、中河原や是政の集落を取り囲むように、水田が広い面積を占めていたことがわかる（図 3）。

こうした土地利用は昭和初期まで続いていたが、戦後になると急速に都市化が進行し、現在では台地上はほとんどが宅地化され、まとまった樹林地は浅間山と武蔵台付近を残すのみである。沖積低地でも水田から宅地への転用が進み、現在でも水田耕作が行われているのは四谷から住吉町を中心としたわずかな地域に限られる。多摩川の河川敷では砂利の採取がさかんに行われ、その跡地は工業用地や公園、競艇場などに利用されたため、河川の領域は大幅に狭められた。

宅地化の進行にともない、昭和 29 年に約 5 万人であった人口は急激に増加し、14 年後の昭和 43 年には 3 倍の 15 万人を超えている。その後、人口の増加率は緩やかになり、昭和 50 年以降は、対前年の人口増加率が 1% 前後で推移している。府中市の住民基本台帳によれば、平成 26 年 4 月現在の人口は約 25 万 3 千人である。

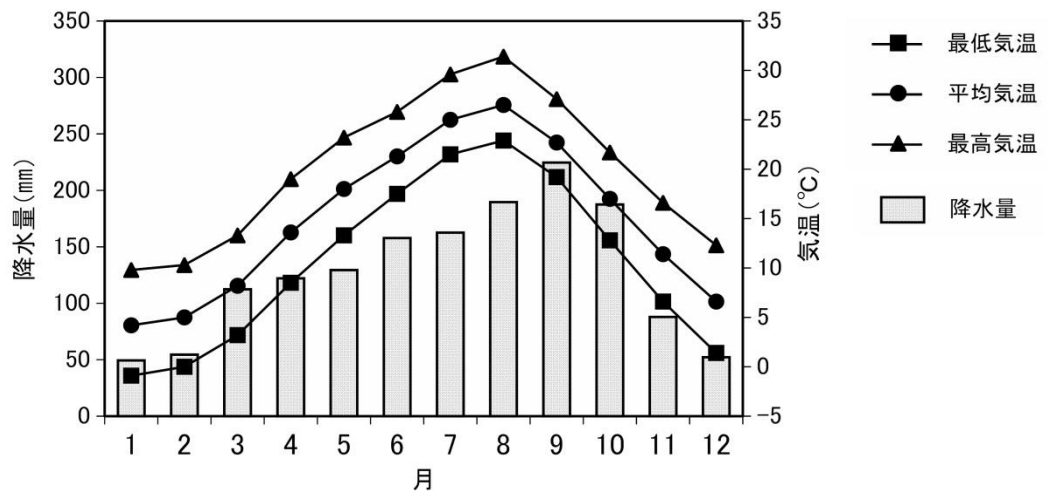


図 1. 府中市の月別平均気温と降水量 (1981 年から 2010 年の平年値)  
 気象庁・気象統計情報 (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>) より作成.

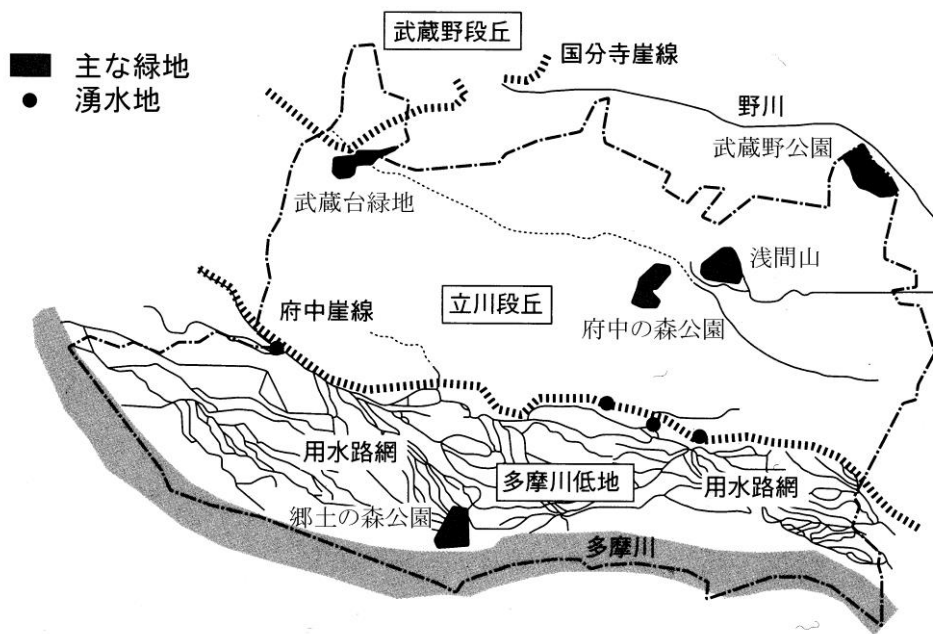


図 2. 府中市の地形と緑地の分布  
 府中市 (2003) を一部改変.

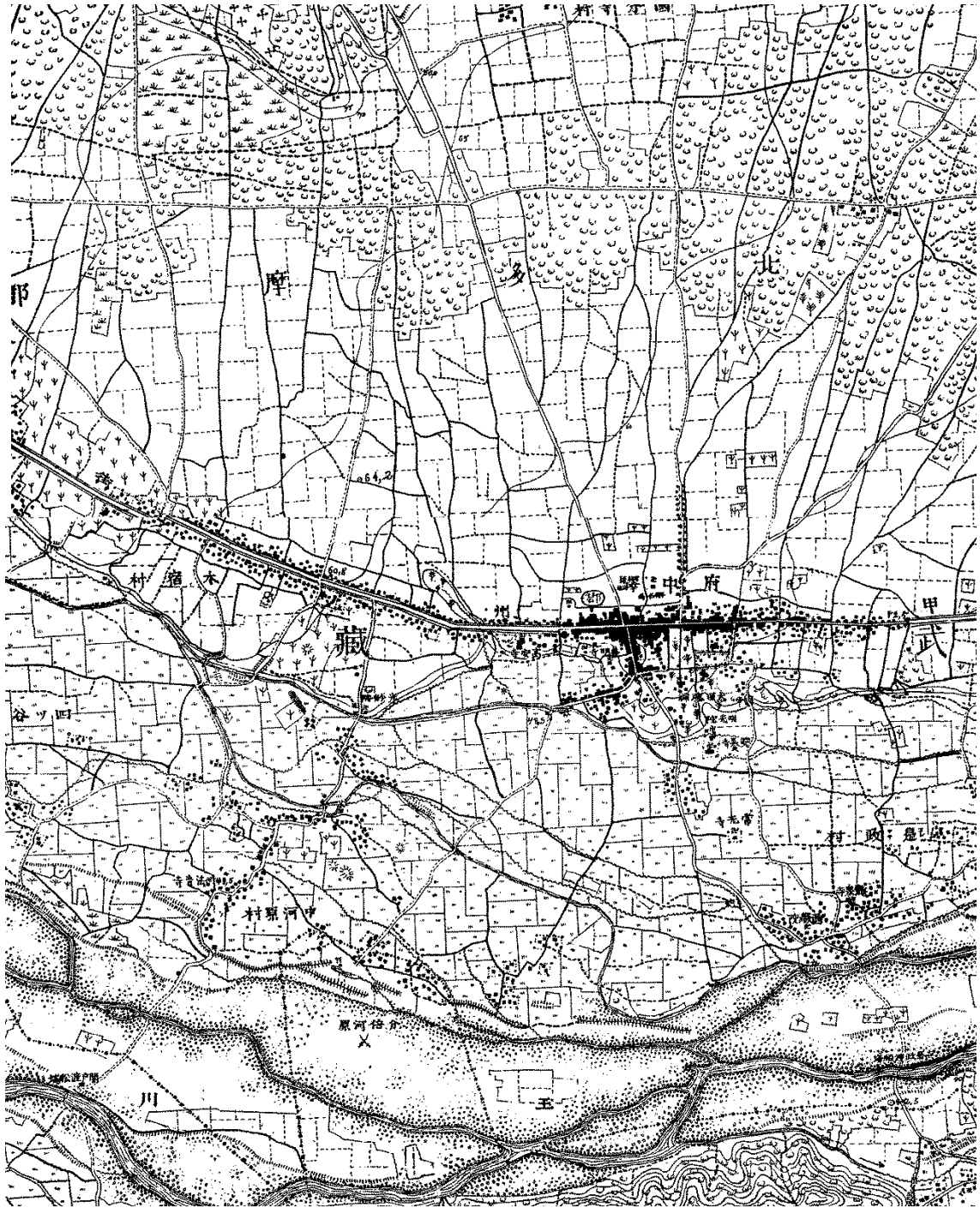


図 3. 府中市周辺の明治初期の土地利用  
(2万分の1陸軍部測量局迅速図)

### Ⅲ. 調査項目と方法

#### 1. 植物群落の識別

著者らは2002年10月から2005年10月の3年間にわたり、多摩川河川敷を含む府中市内全域(一部、市外の隣接地も含む)を踏査し、樹林から雑草群落まであらゆる植物群落を対象として、計1874地点において植物社会学的方法による植生調査(鈴木ほか1985, 福嶋編2005)を行っている。この資料を用いて植物社会学的方法による群落の識別を行った。調査資料の数が多いため、あらかじめ立地環境や構成種の生活形(高木, 低木, 多年生草本, 一年生草本など)が類似したものをまとめ、22組の組成表を作成した。基本的には特定の識別種群, またはいくつかの識別種群の組み合わせによって他から区別できる調査資料のまとまりを群落としたが、一部、種組成の上では他と類似していても、明らかな優占種の違いによって区別できるものは群落と認めた。また、群落内がさらに種組成の違いによって細分できる場合には、下位単位, 植分群, 下位植分群の順に下位区分した。

#### 2. 植物相・植物群落・植生図凡例の関係

すべての植生調査資料を統合し、府中市の植物群落に出現した種のリストを作成した。出現した植物を在来種と外来・逸出種に分け、群落ごとに在来種と外来・逸出種の種数および割合を算出した。在来種のうち、環境省の第4次レッドリスト(環境省2012)および東京都のレッドリスト(東京都環境局2010)に掲載されている種を調べ、国または都のレベルで絶滅が危惧されている植物を含む植物群落を抽出した。また、市内で記録された植物には、複数の植物群落に幅広く出現するものと、特定の植物群落にしか出現しないものがある。特定の植物群落にしか出現しない種は、その群落が破壊されれば市内から絶滅することになる。そこで、全125群落のうち、2群落以下にしか出現しなかった在来種を選び出し、そのような特定の群落への偏在性が強い種を多く含む植物群落を抽出した。

また、表操作によって識別された群落の分布図と重ね合わせを行うことで、凡例と群落との対応表を作成した。これによって、植生図に表示できない小規模な群落が成立しうる場所もわかるようにした。

#### IV. 府中市の植物群落

調査で得られた 1874 地点の植生調査資料から、125 の植物群落が識別された。22 の植生タイプごとの群落識別表を表 1 から 22 に、識別された群落の一覧を表 23 に示す。植生タイプごとに識別された群落について以下に概説する。個々の群落の種組成や立地環境の詳細については、「府中市の植生」（東京農工大学植生管理学研究室編 2014）を参照されたい。

##### 1. 常緑広葉樹林（表 1）

気候帯としては暖温帯に位置する府中市では、人間活動の影響がない場合に成立しうる気候的な極相は常緑広葉樹林である。府中市内を含め、多摩地域には完全な自然状態の常緑広葉樹林は残っていないが、宅地化をまぬがれた崖線の樹林や、神社・寺の社叢として残る樹林は、多摩地域の気候的な極相に近い森林群落としてきわめて重要である。

府中市内の常緑広葉樹林は、すべてシラカシーケヤキ群落にまとめられた。完全な常緑広葉樹林ではなく、常緑高木のシラカシと、落葉高木のケヤキ、エノキ、ムクノキなどが混生する。亜高木層には、シロダモ、ヤブツバキ、トウネズミモチなどの常緑樹のほか、シラカシの若木がみられることが多く、人為の影響が停止すればシラカシの優占度が高くなると考えられる。低木層にはシュロ、アオキ、チャノキ、ヤツデといった常緑低木、草本層にはキツタ、ジャノヒゲ、ヤブランなどの常緑のつる性木本や常緑草本が高い常在度で出現する。

市内のシラカシーケヤキ群落は、その立地環境からいくつかのタイプに分けられる。第一は崖線林として残存するもので、西府町、片町、白糸台などの府中崖線にみられる。第二は、台地上に社寺林や屋敷林として成立しているもので、代表的なものは大國魂神社（宮町）や稲荷神社（若松町）の社叢である。第三は多摩川沿いの沖積低地に残っているもので、四谷の水路沿いなどにごく小面積のものがみられる。

##### 2. 落葉広葉樹林（表 2）

浅間山や武蔵台の国分寺崖線には、主にコナラが優占する落葉広葉樹林がみられる。一般に「雑木林」と呼ばれるもので、府中市を含む武蔵野台地の自然を代表する植生ある。雑木林は、薪炭材として周期的に伐採されて萌芽更新が行われるとともに、田畑の肥料や家畜の飼料とするための下草や落葉の採取が行われるなど、農村の生活に必要な資源を得るために持続的に管理されてきた農用林である。過去の地形図からは、府中市周辺の台地上には、昭和前期まではアカマツ林とともにこのような落葉広葉樹林が広く分布していたことが読み取れる（図 3）。

府中市内の農用林由来の落葉広葉樹林は、コナラークヌギ群落にまとめられる。この群落はコナラが優占種となることが多いが、クヌギ、イヌシデ、アカマツなどが優占種となる植分もある。亜高木層には、エゴノキ、ヤマザクラ、ウワミズザクラなどが生育する。低木層には、ムラサキシキブ、ガマズミ、ゴンズイ、カマツカ、サワフタギなどが高い常在度で出現する。また、アズマネザサが第 2 低木層や草

本層で優占する植分が多い。ヘクソカズラ、スイカズラ、サルトリイバラ、オニドコロ、ヤマノイモ、シオデといったつる植物も多く出現する。人為的な管理によって遷移が抑制され、林床が明るい環境に保たれているため、森林でありながら草原生の種も多く含む。コナラークヌギ群落は、林床管理の程度の違いによって、マユミ下位単位とコウヤボウキ下位単位に区分される。

マユミ下位単位は、下草刈りや落ち葉かきといった林床管理が行われなくなった植分で、木本ではマユミ、シュロ、クマノミズキなど、草本ではジャノヒゲ、ミズヒキ、ヤブラン、アマチャヅルなどが特徴的に現れる。低木層または草本層にアズマネザサが密生していることが多く、林床が暗くリターの堆積も厚くなるため、雑木林を特徴づける夏緑草本のほとんどを欠く。

コウヤボウキ下位単位は、現在でも下草刈りや試験的な萌芽更新が行われている植分で、コウヤボウキ、ヒヨドリバナ、シラヤマギク、ホソバヒカゲスゲ、クズ、ノハラアザミ、オケラなどが特徴的に現れる。草本層ではアズマネザサの優占度が高いが、マユミ下位単位よりも丈が低く、ノガリヤスが優占する場所もある。コウヤボウキ下位単位のうち、アキノキリンソウ、ススキ、ニガナ、コゴメウツギなどをもつアキノキリンソウ植分群は、この下位単位の中心部分である。もっとも夏緑草本の種数に富み、調査区あたりの平均出現種数も45種を超える。浅間山固有の分類群であるムサシノキスゲはこの植分群に生育する。

### 3. 植栽林 (表3)

市内には面積は広くないが、用材生産のための針葉樹人工林、屋敷林や修景のための竹林、その他植栽された広葉樹林などもみられる。こうした植栽由来の樹林としては、ヒノキ・サワラ林、モウソウチク林、マダケ林、ハリエンジュ群落、落葉広葉樹植栽林が識別された。

### 4. 低木群落 (表4)

河川敷や伐採跡地、また耕作放棄地や造成跡地のような地表攪乱が生じた後に放置された場所には、さまざまなタイプの低木群落が見られる。低木群落としては、タチヤナギ群落、クサギータラノキ群落、ニワウルシ群落、ヌルデ群落、オニグルミ群落、ノイバラ群落、メダケ群落、アズマネザサ群落、クコ群落、テリハノイバラ群落、キダチコマツナギ群落、イタチハギ群落の12群落が見られた。このうち、タチヤナギ群落、ヌルデ群落、オニグルミ群落、ノイバラ群落、テリハノイバラ群落は主に多摩川河川敷に分布していた。また、ニワウルシ群落とキダチコマツナギ群落は、外来植物が優占する低木群落である。

### 5. つる植物群落 (表5)

つる植物を中心とする植物群落は、林縁(森林群落のへり)を覆うマント群落として発達するが多い。森林群落そのものが少ない都市域では、生け垣やフェンスなどの人工構造物にマント群落の断片的なものがみられる。また、河川敷などの開けた場所では、他の草本群落の上を覆うように水平的に広がるつる植物群落もみられる。つる植物群落としては、センニンソウ群落、カラスウリーオニドコロ群落、ヤブガラシ群落、アレチウリ群落、クズ群落、カナムグラ群落の6群落が見られた。



## 6. 刈取草地群落 (表 6)

都市化が進行する前の武蔵野台地では、農用林とともに茅場、秣場として利用されてきた草原も広く存在していた。このような草原は、人間が火入れや採草を継続的に行うことで、森林に遷移せずに維持されてきた二次草原である。草原の資源としての利用が行われない現在では、こうした二次草原の面積は著しく減少した。しかし、河川堤防や鉄道・道路の法面などには、施設管理のために年数回の刈り取りによって維持されている刈取草地群落が見られる。これらは、森林群落とは異なる多くの植物種を含み、線的に残されていることから他の生物の移動経路としても機能していると考えられ、保全上の重要性は大きい。刈取草地群落としては、アズマネザサーススキ群落、チガヤーツルボ群落、チガヤーネズミムギ群落の3群落が識別された。アズマネザサーススキ群落は、多磨霊園外周の土手(多磨町)などになぜか残されているのみであった。チガヤーツルボ群落とチガヤーネズミムギ群落は、年に2回程度の定期的な草刈りが行われている多摩川の堤防に成立していた。

## 7. 河辺多年生草本群落 (表 7)

多摩川の河川敷は、府中市内では数少ない自然立地である。河川敷は河川の水位変化にともなって地下水水位が変動したり、ときには冠水したりする。このような場所には、冠水や埋没に耐性のある植物からなる群落形成されている。河川からの影響の程度に応じて、常に根元が冠水した状態で生育するもの(ヒメガマ群落やクサヨシ群落)、地下水水位が高い場所に生育するもの(ヨシ群落)、通常は地下水水位が低いが増水時には冠水することもあるもの(オギ群落)など、多様なタイプの群落が見られる。これらの群落は、河原の砂礫地草本群落とは異なり、土砂の堆積や浸食といった物理的な破壊作用は受けにくい場所にあるため、より持続期間が長い。河辺多年生草本群落としては、市北部を流れる野川で記録されたものも含め、ミクリ群落、ヒメガマ群落、ウキヤガラ群落、クサヨシ群落、アゼナルコ群落、ミヤマシラスゲ群落、ヨシ群落、ツルヨシ群落、オギ群落の9群落が識別された。

## 8. 砂礫地草本群落 (表 8)

河川敷のうち低水敷にあたる河原では、台風などの大雨で河川が増水して冠水すると、土砂が流動して地表面が更新される。河原は夏には厳しい高温・乾燥にさらされ、洪水によって周期的に破壊される場所であるが、そのような環境に適応した特有の植物が砂礫地草本群落を形成する。多摩川では本州中部の礫床河川に固有のカワラノギク、カワラニガナといった植物が分布しており、本地域の植生の保全上、特に重要な環境である。しかし、1960年代前半まで続いた河床からの砂利採取、取水による流量の低下などの影響を受けて、多少の増水では冠水しない高水敷の面積が広がり、河原は縮小してきている。また、新しい河原が形成されても河原に特有の植物の定着がみられなくなっている反面、さまざまな外来植物や畑地雑草が侵入しており、砂礫地草本群落の変質が著しい。今回の調査では、府中市内からカワラノギクなどを含む典型的な河原の植物群落は見いだすことはできなかった。現在の砂礫地草本群落としては、ツルマンネングサ群落、カワラサイコーシバ群落、ヨモギーメドハギ群落、シナダレスズメガヤ群落が識別された。

## 9. 春季河辺一年生草本群落 (表 9)

河川の流水辺では、水分が不足することがなく、流水によって運ばれた養分に富む細粒土砂が供給されるため、植物の生育に好適な立地であるが、その一方で、わずかな水位の上昇によっても破壊される不安定な立地である。このような場所では、生育期間が短い湿生の一年生草本群落形成される。群落の構成種は春季と夏季で大きく異なり、春季には前年の台風シーズンの増水後に発芽して、春に開花・結実する冬型一年生草本を主体とした群落が発達する。春季河辺一年生草本群落としては、オランダガラシーオオカワヂシャ群落、カワヂシャ・タネツケバナ群落、ネズミムギ・カキネガラシ群落の3群落識別された。

## 10. 夏季河辺一年生草本群落 (表 10)

春季に発達する流水辺の一年生草本群落は梅雨頃には衰退し、かわって春に発芽して夏の終わりに最盛期を迎える夏型一年生草本が主体となる群落が発達する。これらは春の群落に比べると構成種が大型で、群落高が高くなる。夏季河辺一年生草本群落としては、ケイヌビエ・ジュズダマ群落、ヌマガヤツリー・チョウジタデ群落、カヤツリグサ・カワラスガナ群落、オオイヌタデ・ケイヌビエ群落、コセンダングサ・アキノエノコログサ群落の5群落識別された。

## 11. 林縁草本群落 (表 11)

つる植物などからなる林縁のマント群落につづく部分には、ソデ群落と呼ばれる半陰地生の草本植物からなる群落が成立する。林縁部は単に林内と林外の移行帯ではなく、独自の種からなる植物群落形成されている。日射量の違いや、草刈り、踏みつけなどの人為的な攪乱の強さに応じて、さまざまなタイプの林縁草本群落がみられる。多くは残存する樹林にともなって分布しているが、住宅地や学校内の建物の陰などに成立することもある。林縁草本群落としては、アシボソ・キツネノマゴ群落、ハナタデ群落、ドクダミ・ケチヂミザサ群落、ヤブニンジン群落、ノブキ群落、クサイチゴ・ヤブミョウガ群落、ヌスビトハギ・ガンクビソウ群落、マスクサ・ヤブスゲ群落、ノハカタカラクサ群落、ヤブソテツ・イノモトソウ群落の10群落識別された。

## 12. 路傍雑草群落 (表 12)

河川敷や農業水路、耕作地周辺の路傍には、在来の人里植物から構成される様々なタイプの多年生草本群落成立する。これらは、通行の障害とならないための草刈りや、耕作地への施肥の影響を受けながら、持続的に成立している。都市部では、大規模な造成が行われた空き地には、外来植物を主とする空地雑草群落成立するため、このような在来種を主体とする路傍雑草群落は意外に少なくなっている。路傍雑草群落としては、ハナウド群落、ソクズ群落、ヤブマオ群落、カラムシ群落、イヌタデ・ツユクサ群落、チカラシバ群落、キンエノコロ群落、シャクチリソバ群落、タケニグサ・ヨウシュヤマゴボウ群落の9群落識別された。

### 1 3. 路上雑草群落 (表 13)

公園や学校などの植栽樹群の中、街路樹の植え舛、遊歩道や農道のへりなどは、頻繁な除草や清掃、人の踏みつけといった影響を受ける。このような場所にも、除草しきれない小型の植物からなる群落が発立する。構成種は庭先でよく見かける雑草的な植物で、高さ数 cm の低い位置で開花・結実するものが多い。また、春季に最盛期をもつ群落が多い。路上雑草群落では、ヘビイチゴ・ヤブタビラコ群落、コナスビーヒメヨツバムグラ群落、ツメクサーギンゴケ群落、コメツブツメクサーツボミオオバコ群落、ニワゼキショウ・ウチチチコグサ群落、カロリナアオイゴケ群落、オオミチヤナギ・スズメノカタビラ群落の 7 群落が発立された。

### 1 4. 踏跡雑草群落 (表 14)

人が絶えず踏みつける場所には、踏圧に耐性をもつ植物から構成される、踏跡雑草群落が発立する。踏跡雑草群落は、人の通り道に線的に形成されるだけでなく、グラウンドや校庭、公園の広場のような、人が絶えず利用している場所には面的に広がっている。踏跡雑草群落としては、コスズメガヤ群落、ハマスゲ群落、オヒシバ・アキメシバ群落、クサイ・オオバコ群落、カゼクサー・オオバコ群落、カゼクサー・ヤハズソウ群落の 6 群落が発立された。

### 1 5. 人工シバ草地群落 (表 15)

グラウンド、公園の広場や庭園、河川堤防の法面などには、芝生が造成されることが多い。また近年では校庭の芝生化や、工場の敷地内の緑化も進んでおり、人工シバ草地は都市の緑地においてかなりの面積を占める。芝生は、それを維持するために刈り込みや施肥などの管理が行われるが、植栽された芝(シバ属の草本)以外にも、さまざまな植物が侵入し、その場所の環境に応じた種組成が形成されてくる。“芝”として植栽される植物には、在来のシバ(ノシバ)、コウシュンシバ、コウライシバ、それらの園芸品種などがあるが、ここではそれらを区別せず、シバ spp. としてまとめて扱った。人工シバ草地群落としては、シバ・アキメシバ群落、シバ・ナギナタガヤ群落、シバ・チチコグサ群落の 3 群落が発立された。

### 1 6. 水田畦畔雑草群落 (表 16)

水田や農業水路の畦は、漏水防止のために塗り替えられたり、草刈りが頻繁に行われるなど、水田耕作に必要な管理がなされている。水田への湛水と施肥により、土壌は肥沃で湿潤な状態に保たれている。また、畦の上は人が歩くために踏圧がかかるが、水田の内部と異なり耕耘されることはない。このような環境には、独自の植物群落が発達している。水田畦畔雑草群落としては、オオジシバリ・ミゾカクシ群落、ギシギシ・ナガバギシギシ群落、ジュズダマ群落、ミゾソバ群落、エゾノサヤヌカグサー・チゴザサ群落の 5 群落が発立された。

### 1 7. 水田雑草群落 (表 17)

水田の雑草群落には、稲刈り後の耕耘から翌春の田植え前の代かきまでの間に発達する春季の雑草群

落と、田植えから稲刈りまでの湛水期間中に発達する夏季の雑草群落がある。水田は人工的な環境ではあるが、毎年決まったサイクルで湛水や耕耘が行われるため、水位変動が生じる水辺に生育する植物の生育場所となっており、畑地雑草群落に比べると在来種の割合が大きい。春季の水田雑草群落としては、ケキツネノボタンーノミノフスマ群落、夏季の水田雑草群落としては、キシウズメノヒエ群落、アゼガヤ群落、タマガヤツリーアゼナ群落、コナギーオモダカ群落、サクラタデークログワイ群落の6群落が識別された。

#### 18. 畑地雑草群落 (表18)

畑地の雑草群落も、水田と同様に季節による入れ替わりがあり、作付けの時期によって異なる群落が発達する。秋から早春に発達する群落、春から初夏に発達する群落、梅雨以降に発達する群落に大別される。現在の畑地の雑草群落は、外来植物が多くを占めており、都市化以前に一般的であった畑地雑草は、耕作地にはほとんどみられず、路上雑草群落などの構成種となっているものが多い。春の畑地雑草群落ではコハコベーホトケノザ群落、初夏ではサナエタデーズメノテッポウ群落とハルタデーコアカザ群落、盛夏ではホソアオゲイトウ群落、スベリヒューコニシキソウ群落、ウリクサートキンソウ群落が識別された。

#### 19. 空地多年生雑草群落 (表19)

造成後にすぐに建物が建たず放置されている場所や、住宅を取り壊した跡の空き地には、さまざまなタイプの多年生草本群落ができる。相観的には、セイタカアワダチソウのような高茎草本が優占するタイプと、イネ科草本が優占するタイプに大別される。イネ科草本型の群落では、ススキ、チガヤ、イタドリのような刈取草地群落と同様の植物が優占するが、種組成はより単純である。また、外来植物が優占種となることも多い。空地多年生雑草群落としては、ククイモ群落、イタドリ群落、セイタカアワダチソウ群落、セイバンモロコシ群落、メリケンカルカヤ群落、ススキートダシバ群落、チガヤ群落、オニウシノケグサ群落、シマスズメノヒエーギョウギシバ群落、ヘラオオバコーセイヨウタンポポ群落の10群落が識別された。

#### 20. 春季空地一年生雑草群落 (表20)

耕作地の周辺や市街地の空き地など、土壌攪乱を受けて間もない場所には、一年生草本を主体とする雑草群落がみられる。こうした場所は水田や畑地と比べて、土壌攪乱の季節や頻度が不規則である。そのため、耕作地とは異なり多年生草本も含む群落となる。春季の空地一年生雑草群落は、イヌムギーヤハズエンドウ群落、カラスムギ群落にまとめられた。

#### 21. 夏季空地一年生雑草群落 (表21)

夏季の耕作地周辺や造成地には、春季とは異なる一年生の雑草群落がみられる。イネ科草本が優占するイヌビエーオオクサキビ群落、メシバアーキノエノコログサ群落、広葉草本が優占するシロザーオオイヌタデ群落、オオブタクサ群落、ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落が識別された。

## 2.2. 沈水・浮漂植物群落 (表 22)

府中用水をはじめとする農業水路や、多摩川の本流の流速が緩やかな部分には、植物体が水中に没した状態で生育する沈水植物の群落がわずかにみられる。特に農業水路は、自然の水域が少ない都市域では、水生植物の生育環境として重要な場所である。また、夏季の水田には、水底に根を張らない浮漂植物群落が発達する。沈水植物群落としては、コウガイモ群落、アイノコイトモコカナダモ群落、エビモ群落、ササバモ群落、オオフサモ群落の5群落が発見され、浮漂植物群落としては、ウキクサーアオウキクサ群落が発見された。

表1. 常緑広葉樹林の識別表

A シラカシ-ケヤキ群落  
 Aa アズマネザサ下位単位  
 Aa1 ツルマサキ植分群  
 Aa2 典型植分群  
 Aa3 ナキリスゲ植分群  
 Ab 典型下位単位

	A			
	Aa1	Aa2	Aa3	Ab
調査区数	6	4	5	5
平均出現種数	21.0	19.0	28.0	14.0
群落の識別種				
シラカシ	V 1-3	3 1-4	V 2-4	V 2-4
ケヤキ	V 3-4	4 1-3	V 1-4	IV 1-4
シュロ	V +4	4 1-2	V 1-3	V +4
ムクノキ	V +4	4 1-2	IV 1-3	V +2
アオキ	V +3	2 2	V +3	V +1
ジャノヒゲ	III +1	3 +1	V +2	II +2
キツタ	II +2	3 +	V +3	III +1
チャノキ	V +2	3 +1	II +1	I 1
エノキ	V 1-3	3 1-2	II +1	II +1
シロダモ	V +3	1 2	IV +1	II +1
ヤブツバキ	IV +3	2 2-4	II 2	III +3
ヤブラン	II +1	3 +1	IV +1	II +
下位単位・植分群の識別種				
アズマネザサ	V +2	3 1-2	V +3	.
マンリョウ	V +	2 +	III +1	.
マユミ	IV +2	2 +1	II +1	.
ムラサキシキブ	III 1	.	II 1	.
ツルマサキ	V +1	.	.	.
クマワラビ	V +	.	.	.
ヤマヤブソテツ	IV +1	.	.	.
イヌザクラ	II 1	.	.	.
ハリエンジュ	II 1-2	.	.	.
ビワ	II +	.	.	.
ヒイラギ	II +	.	.	.
ヒサカキ	.	.	III 1-2	I 3
ナキリスゲ	.	.	IV +1	.
スタジイ	.	.	III 1-2	.
クスノキ	.	.	III +1	II +1
オオバジャノヒゲ	.	.	III +1	.
ナンテン	.	.	III +	.
ヤブミョウガ	.	.	II +	.
サカキ	.	.	II 1-2	.
スギ	.	.	II +2	.
イヌマキ	.	.	II +1	.
イヌガヤ	.	.	II +	.
随伴種				
トウネズミモチ	III +2	1 1	II +1	III +
ヤツデ	II +	1 +	III +1	II +
オモト	I +	1 +	II +	I +
フジ	I +	1 +	I +	I 2
イロハモミジ	I 1	.	II +	I 2
アケビ	II +	.	II +	.
コナラ	I 1	2 2-3	I 1	.
クヌギ	I 3	2 1-2	.	I 1
スイカズラ	II +	1 +	.	.
ツタ	I +	1 1	I +	.
ヒノキ	.	1 1	I +	I +
キツネノカミソリ	.	1 +	I +	I 1
ケチヂミザサ	.	1 +	II +	.
ネズミモチ	.	1 +	II +	.
マダケ	I +	1 +	I +	.
メダケ	.	1 1	.	II 1
ヤマイタチシダ	I 1	2 +	.	.
ナガバジャノヒゲ	.	.	I 1	I 2
マルバシャリンバイ	.	.	I +	I +
ヤブガラシ	.	1 +	I +	.
ヤマグワ	I +	1 +	.	.
ツルクサ	.	2 +	.	I +
サンショウ	I +	.	I +	.
ヒイラギナンテン	I 1	.	I +	.
クサギ	.	.	I +	I +
マテバシイ	.	1 2	I +	.
コクサギ	.	1 +	I 1	.
マサキ	.	.	.	II +
オカメザサ	.	1 +	.	I 2
カナリーキツタ	I +	.	I +	.
ヤブソテツ	I +	.	I +	.
カマツカ	I 1	1 1	.	.
イボタノキ	I 1	1 1	.	.
ヘクソカズラ	.	1 +	.	I +
ヨウシュヤマゴボウ	.	2 +	.	.

出現1回の種は省略.

表2. 落葉広葉樹林の識別表

- A コナラ-クヌギ群落
- Aa マユミ下位単位
- Aa1 アオキ植分群
- Aa2 アカマツ植分群
- Ab コウヤボウキ下位単位
- Ab1 典型植分群
- Ab2 アキノキリンソウ植分群
- Ab2-1 イチヤクソウ下位植分群
- Ab2-2 スルデ下位植分群

	A				
	Aa		Ab1	Ab2	
	Aa1	Aa2		Ab2-1	Ab2-2
調査区数	10	3	5	14	4
平均出現種数	38.7	45.0	37.8	48.2	44.5

群落の識別種

コナラ	V +5	2 2-3	V 3-4	V 3-5	4 +-3
ガマズミ	IV +-1	3 1-2	V 1-2	V 1-2	4 +-1
イヌシデ	IV +-4	1 1	III 1-3	V +-3	4 +-2
エゴノキ	IV 1-3	.	III +-2	V +-2	3 3-4
ゴンスイ	III +-1	.	IV +-1	V +-1	4 +-2
カマツカ	IV +-1	2 +	IV +-1	IV +-1	1 +
ヘクソカズラ	II +	3 +	IV +	V +-1	3 1
ケチヂミザサ	III +	3 1-2	II +	IV +-2	4 +-1
スイカズラ	V +-1	3 +-1	III +-1	III +-1	3 +
サルトリイバラ	III +-1	.	IV +-1	V +-1	3 +
オニドコロ	IV +	2 +	IV +-1	III +-1	3 +-1
ヤマノイモ	II +	2 +	V +-1	III +-1	4 +-1
シオデ	IV +	2 +	II +-1	III +-1	3 +-1
ヤマザクラ	II +-2	.	III +-3	V +-2	2 +
ヌスビトハギ	II +	2 +-1	III +-2	IV +-2	3 +-1
ツルウメモドキ	I +	2 +-1	III +-1	IV +-1	3 +
ツタ	III +	3 +-1	I +	III +	2 +
コマユミ	IV +-1	.	II +	III +-1	2 +
サウフタギ	II +-2	1 1	III +-1	III +-1	2 +
ウワミズザクラ	IV +-2	1 +	III 1	III +-1	1 +
ノブドウ	I +	3 +	II +	III +-1	3 +-1
クヌギ	II 1-3	.	IV 1-4	III 1-5	1 +
フジ	II +-1	.	III 1-2	II 1-2	4 1-2
ヤマコウバシ	II +-1	.	I +	III +	1 +

下位単位・植分群・下位植分群の識別種

マユミ	V +-3	3 +-1	I +	I +	1 +
シュロ	V +-1	1 +	I +	.	.
ジャノヒゲ	II 1-2	2 +-1	I +	+ +	.
ミズヒキ	II +-1	3 +	.	+ +	.
クマノミズキ	II +-3	3 1-2	.	.	.
ヤブラン	II 1-2	1 +	I +	.	1 +
アマチャヅル	II +-1	2 +	.	.	.
イヌワラビ	II +-1	2 +-1	.	+ +	.
ツルマサキ	II +	1 +	.	+ +	.
ドクダミ	I +-1	1 +	.	.	.
アオキ	V +-2	.	I +	.	.
マンリョウ	V +-1	.	.	I +	.
ナガバジャノヒゲ	IV +-1	.	.	.	.
ホウチャクソウ	II +-1	.	.	.	.
シロダモ	II +	.	.	.	.
アオイスミレ	II +-2	.	.	.	.
アカマツ	.	3 4	.	+ 1	.
ハリエンジュ	+ +	3 +	.	.	.
ヤマハゼ	+ +	3 1-3	IV +-1	IV +	2 +-1
エビツル	+ +	2 +	II +	II +	3 +-1
コウヤボウキ	I +-1	.	IV 1-3	V +-3	2 1-2
ノガリヤス	.	1 +	IV +-1	V +-4	3 1-2
ヒヨドリバナ	.	.	II +-1	V +-2	3 1
シラヤマギク	.	.	II +	V +-1	3 +-1
ホソバヒカゲスゲ	.	.	I +	IV +-2	4 +-2
クズ	.	1 +	I +	IV +-1	4 1
タチツボスミレ	I +	.	I +	III +-1	3 +
オオバギボウシ	.	.	I +	III +-2	3 +
ノハラアザミ	.	.	II +	II +	4 +-1
オケラ	.	.	I +	III +-1	.
タラノキ	.	.	I +	III +	1 +
ミツバアケビ	+ +	.	II +-2	II +	1 +
アキノキリンソウ	.	.	.	IV +-1	3 +-1
ススキ	.	.	.	IV +	3 1
ニガナ	.	.	.	III +-1	3 +-1
コメウツギ	I +-1	.	.	II +-3	3 +-1
ムサシノキスゲ	I +	.	.	II +-2	2 2-3
ヤマユリ	+ +	.	.	II +-1	1 +
センボンヤリ	.	.	.	II +-1	1 1
イチヤクソウ	.	.	.	IV +-1	.
ヒメヤブラン	.	.	.	III +-1	.
アカシデ	.	.	.	II +-3	.

ウツギ	・	1	1	・	II	+	・			
キンラン	・	・	・	・	II	+1	・			
マルバアオダモ	・	・	・	・	II	+1	・			
イヌツゲ	IV	+2	2	+1	IV	+1	V	+1	・	
ノイバラ	III	+1	2	+2	III	+	III	+	・	
ヒサカキ	II	+1	3	+1	I	1	IV	+1	・	
コブシ	III	+1	・	・	II	+	IV	+	・	
アケビ	V	+1	2	1	II	+	II	+	・	
ヤツデ	III	+1	1	+	IV	+	II	+	・	
ムクノキ	IV	+1	3	+1	I	+	II	+	・	
ウグイスカグラ	I	+	・	・	III	+	III	+	・	
アオツヅラフジ	+	+	2	+	I	+	III	+	・	
ミズキ	II	+1	1	+	III	+1	II	+	・	
イロハモミジ	II	+	2	+1	II	+1	II	+	・	
ハエドクソウ	II	+	1	+	I	1	II	+	・	
ヤブツバキ	+	+	1	+	・	・	III	+	・	
ヒカゲスゲ	+	+	1	+	I	1	II	+1	・	
ギンラン	I	+	・	・	I	+	II	+1	・	
キンミズヒキ	+	+	1	+	I	+	II	+2	・	
ヤマウグイスカグラ	+	+	1	+	I	+	II	+	・	
イヌザクラ	I	+	・	・	・	・	II	1-2	・	
クマシデ	II	1-3	・	・	・	・	II	+1	・	
ヌルデ	・	・	・	・	・	・	4	+3	・	
ネムノキ	・	・	・	・	+	+	4	+1	・	
ヒメコウゾ	・	・	・	・	・	・	3	+2	・	
セイタカアワダチソウ	・	・	・	・	・	・	3	+	・	
随伴種										
ムラサキシキブ	V	+2	2	1-2	V	1-2	V	+2	4	+2
アズマネザサ	V	3-5	3	4-5	V	3-5	V	1-5	4	1-2
ヒメカンスゲ	I	+	1	2	IV	+1	V	+3	4	+1
エノキ	III	+	3	1-2	II	+	III	+	2	+
トウネズミモチ	V	+2	3	1-3	III	+2	I	+	1	+
シラカシ	III	+3	1	+	II	+1	I	1	・	・
ヤマグワ	I	+1	2	1	I	+	+	+	3	+1
ケヤキ	II	+2	2	+	・	・	II	+	1	+
オカウコギ	II	+	・	・	I	+	・	・	2	+
チャノキ	II	+2	・	・	II	+	I	+	・	・
クスノキ	・	・	2	+1	I	+	II	r+	・	・
ニシキギ	・	・	・	・	II	+	II	+1	1	1
ヒイラギナンテン	I	+	1	+	・	・	I	+	・	・
ホオノキ	+	+	・	・	II	+	I	+	・	・
マスクサ	・	・	2	+	I	+	I	+2	・	・
ミツバツチグリ	・	・	・	・	I	+	II	+1	1	+
モチノキ	+	+	・	・	I	1	I	+1	・	・
カキノキ	・	・	1	+	I	+	I	+	・	・
ナキリスゲ	・	・	1	+	・	・	I	+	1	+
モッコク	+	+	2	+	・	・	+	+	・	・
キヅタ	・	・	1	+	・	・	I	+	・	・
イボタノキ	+	+	・	・	・	・	+	+	1	1
ヒゴクサ	・	・	1	+	I	+	・	・	1	+
ヒイラギ	I	+	1	+	・	・	・	・	・	・
ナンテン	+	+	・	・	I	+	・	・	1	r
センニンソウ	II	+	・	・	・	・	・	・	・	・
ネズミモチ	+	+	1	+	I	+	・	・	・	・
ナワシロイチゴ	・	・	・	・	I	+	I	+	・	・
アカメガシワ	・	・	1	+	・	・	+	+	1	1
ナツグミ	+	+	・	・	・	・	I	+	・	・
ホタルブクロ	・	・	・	・	・	・	I	+	1	+
ツユクサ	・	・	2	+	・	・	+	+	・	・
コナスビ	+	+	・	・	・	・	I	+	・	・
ヤマボウシ	・	・	1	+	II	+1	・	・	・	・

出現2回以下の種は省略。



表3. 植栽林の識別表

- A ヒノキ・サワラ林      D ハリエンジュ群落  
 B モウソウチク林      Da クサヨシ下位単位  
 C マダケ林              Db シバ下位単位  
 E ハリエンジュ植栽林

	A	B	C	D		E
				Da	Db	
調査区数	4	8	3	9	2	4
平均出現種数	31.8	16.9	10.3	22.1	29.5	29.8
群落・下位単位の識別種						
サワラ	3 3-5	・	・	・	・	・
ヒノキ	2 3-5	・	・	・	・	・
ムラサキシキブ	3 +2	・	・	・	・	・
コブシ	3 +1	・	・	・	・	・
クスノキ	3 +	・	・	・	・	・
イヌツゲ	2 +	・	・	・	・	・
ヤブミョウガ	2 +	・	・	・	・	・
ベニシダ	2 +	・	・	・	・	・
ヒメワラビ	2 +	・	・	・	・	・
モウソウチク	・	V 5	・	・	・	・
ヒナタイノコズチ	・	IV +2	・	II +1	・	1 +
オモト	・	II +	・	・	・	・
ヒヨドリジョウゴ	・	II +1	・	・	・	・
ツタ	・	II +	・	・	・	・
マダケ	・	・	3 5	・	・	・
ムクノキ	2 1	IV +2	2 +	I 1	・	・
アオキ	2 1-3	IV +2	1 +	・	・	・
ナンテン	3 +1	III +1	1 +	・	・	・
ヤブツバキ	2 +	II +1	2 +	・	・	・
チャノキ	・	III +1	1 +	・	・	・
ドクダミ	2 +	I +	1 +	・	・	・
ヤツデ	3 +1	・	1 +	・	・	・
シラカシ	2 +-2	IV +1	・	・	・	1 1
シロダモ	3 +	II +	・	・	・	・
マンリョウ	3 +	II +	・	・	・	・
ヤブラン	2 +-1	II +1	・	I +	・	・
ケチチミザサ	3 +	IV 1-3	・	・	・	3 +
キツタ	2 +-2	IV +1	・	・	・	3 1
アズマネザサ	4 +-4	II +	・	・	・	2 +-1
イヌワラビ	2 +	・	・	・	・	2 +
ヨウシュヤマゴボウ	・	II +1	・	・	・	2 +
アケビ	1 +	・	・	・	・	2 +
ハリエンジュ	1 2	・	・	V 4-5	2 5	4 +-4
ヤブカンゾウ	・	・	1 +	III 1-2	2 1-2	4 1-2
ネズミムギ	・	・	・	IV +3	2 2-3	1 1
マスキサ	1 +	・	・	III +2	2 1-2	2 +-2
オニドコロ	・	・	・	II +	・	2 +
オオアレチノギク	・	・	・	II +	2 +	4 +-2
センニンソウ	・	・	・	II +	2 +	3 +
オオスズメノカタビラ	・	・	・	IV +-4	2 +-2	・
カモジグサ	・	・	・	V +3	1 1	・
オニウシノケグサ	・	・	・	II +-4	2 1-3	・
コモチマンネングサ	・	・	・	II +1	2 +	・
オッタチカタハミ	・	・	・	II +	2 1	・
ヒメジョオン	・	・	・	II +1	1 +	・
ノイバラ	1 +	・	・	IV +-2	・	・
イボタノキ	1 +	・	・	III +2	・	・
ナガバギシギシ	・	・	・	IV +1	・	・
ヨモギ	・	I +	・	III +	・	・
クサヨシ	・	・	・	III 1-5	・	・
ツルマンネングサ	・	・	・	III 1-2	・	・
イタドリ	・	・	・	III +3	・	・
オギ	・	・	・	III +2	・	・
カキネガラシ	・	・	・	III +	・	・
イチゴツナギ	・	・	・	III 1-5	・	・
オヤブジラミ	・	・	・	II +2	・	・
ヤハズエンドウ	・	・	・	II +2	・	・
キクイモ	・	・	・	II +-2	・	・
ナギナタガヤ	・	・	・	・	2 3-4	・
シバ	・	・	・	・	2 1	・
スズメノヤリ	・	・	・	・	2 +-1	・
ツボミオオバコ	・	・	・	・	2 +	・
ヌカボ	・	・	・	・	2 1	・
ハナヌカススキ	・	・	・	・	2 +-2	・
ハルガヤ	・	・	・	・	2 +-3	・
ツルボ	・	・	・	・	2 +	4 +-1
ウラジロチチコグサ	・	・	・	・	2 +	3 +-2
オニタビラコ	・	I 1	・	・	1 +	2 +-1
セイヨウタンポポ	・	・	・	・	1 +	2 +
ヒガンバナ	・	・	・	・	・	4 +-1
マユミ	・	・	・	・	・	4 +-1
チチコグサモドキ	・	・	・	・	・	3 +

クヌギ	1 <sup>3</sup>	・	・	・	・	2	2-5
カニクサ	1 <sup>+</sup>	・	・	・	・	2	+1
アオツヅラフジ	・	・	・	・	・	2	+
オカウコギ	・	・	1 <sup>+</sup>	・	・	2	+1
エノログサ	・	・	・	・	・	2	+
ナガハグサ	・	・	・	・	・	2	+
メヒシバ	・	・	1 <sup>+</sup>	・	・	2	+2
カタバミ	・	・	・	・	・	2	+1
ヒトツバハギ	・	・	・	・	・	2	+

随伴種

エノキ	2 <sup>+1</sup>	IV <sup>+1</sup>	3 <sup>+1</sup>	III <sup>+3</sup>	・	3 <sup>1</sup>
トウネズミモチ	4 <sup>+3</sup>	V <sup>+</sup>	2 <sup>+</sup>	II <sup>+3</sup>	・	1 <sup>1</sup>
ヘクソカズラ	2 <sup>+</sup>	I <sup>+</sup>	1 <sup>+</sup>	V <sup>+2</sup>	1 <sup>1</sup>	1 <sup>+</sup>
シュロ	4 <sup>+4</sup>	IV <sup>+2</sup>	1 <sup>+</sup>	I <sup>2</sup>	1 <sup>+</sup>	1 <sup>+</sup>
ジャノヒゲ	2 <sup>+1</sup>	IV <sup>+1</sup>	・	II <sup>1</sup>	・	3 <sup>+1</sup>
ツユクサ	・	II <sup>1</sup>	1 <sup>+</sup>	III <sup>+1</sup>	・	2 <sup>+</sup>
ヤブガラシ	1 <sup>+</sup>	I <sup>1</sup>	1 <sup>+</sup>	III <sup>+1</sup>	・	1 <sup>+</sup>
ヤマグワ	2 <sup>+</sup>	II <sup>+</sup>	1 <sup>+</sup>	II <sup>+</sup>	・	・
イヌムギ	・	I <sup>+</sup>	・	I <sup>+</sup>	2 <sup>+</sup>	1 <sup>+</sup>
ノゲシ	・	I <sup>+</sup>	・	II <sup>+</sup>	1 <sup>+</sup>	・
ノブドウ	・	II <sup>+</sup>	・	I <sup>+</sup>	・	1 <sup>+</sup>
ヒメムカシヨモギ	・	・	・	II <sup>1</sup>	・	2 <sup>+</sup>
オオイヌホオズキ	・	・	・	II <sup>+</sup>	・	1 <sup>+</sup>
クコ	1 <sup>+</sup>	・	・	II <sup>+</sup>	・	・
サンショウ	1 <sup>+</sup>	II <sup>+1</sup>	・	・	・	・
スイカズラ	2 <sup>+</sup>	・	・	・	・	1 <sup>+</sup>
ハルジオン	・	I <sup>+</sup>	・	・	1 <sup>+</sup>	1 <sup>2</sup>
ヘラオオバコ	・	・	・	I <sup>+</sup>	2 <sup>1-2</sup>	・
ヤエムグラ	・	I <sup>2</sup>	・	II <sup>+</sup>	・	・

出現2回以下の種は省略.

表4. 低木群落の識別表

- A タチヤナギ群落
- B クサギ-タラノキ群落
- C ニワウルシ群落
- D スルデ群落
- E オニグルミ群落
- F ノイバラ群落
- G メダケ群落
- H アズマネザサ群落
- I クコ群落
- J テリハノイバラ群落
- K キダチコマツナギ群落
- L イタチハギ群落

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
調査区数	1	3	1	6	8	4	5	6	5	6	3	3
平均出現種数	16	20.7	19	17.8	22.6	15.8	10.6	11.7	9.6	18.3	19.3	8.7
群落の識別種												
タチヤナギ	1 4	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
セイバンモロコシ	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
コアカザ	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アメリカタカサブロウ	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
イヌホオズキ	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヒロハホウキギク	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ミソソバ	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
クサギ	.	2 3-4	.	.	.	.	.	I +	.	.	.	.
ミゾイチゴツナギ	.	2 1-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ミドリハコベ	.	2 +	.	.	.	.	.	I +	.	.	.	.
ムラサキケマン	.	2 +	.	.	.	.	.	I +	.	.	.	.
ハナタデ	.	2 ++1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
タラノキ	.	2 1-3	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヒメコウゾ	.	2 1-3	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ナキリスゲ	.	2 1-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ミスヒキ	.	2 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
コチヂミザサ	.	2 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アカメガシワ	.	1 2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
エビガライチゴ	.	1 5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ニワウルシ	.	.	1 5	.	.	.	.	.	.	.	.	.
シオデ	.	.	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.
スルデ	.	.	.	V 4-5	.	.	.	I 1	.	.	.	.
オニグルミ	.	.	.	.	V 4-5	.	.	.	.	.	.	.
エノキ	.	1 +	1 +	I 2	V +-3	.	I +	.	I +	.	.	.
ヤマグワ	.	1 +	1 1	.	IV +-2	.	.	.	.	.	.	.
センニンソウ	.	.	.	.	IV +-2	.	I 1	I 1	.	.	.	.
ヒナタイノコズチ	.	1 ++1	.	.	IV +-1	.	II +	I +	I +	.	.	.
ナワシロイチゴ	.	.	.	I +	II +	.	.	.	.	.	1 2	.
ノイバラ	.	.	.	II +-1	IV +-3	4 4-5	I 2	IV 1-2	.	.	.	.
ヤブカンゾウ	.	.	.	II +	IV +-2	2 +	II +	III +-1	.	.	.	.
オギ	1 1	.	.	II +	III +-3	3 +-1	.	I +	II +-1	I +	.	.
イボタノキ	.	.	.	.	IV +-2	2 2-3	.	.	.	.	.	.
カキドオシ	.	1 2	1 2	.	III +-2	1 +	.	I +	.	.	.	.
メダケ	.	.	.	.	.	.	V 5	.	.	.	.	.
カラスウリ	.	.	1 +	.	.	.	IV +-2	I 1	.	.	.	.
キツタ	.	.	.	.	.	.	III +	.	.	.	.	.
ヒガンバナ	.	.	.	.	I 1	.	II +	.	.	.	.	.
アズマネザサ	.	2 1	1 5	.	.	.	.	V 5	.	.	.	.
コモチマンネングサ	.	.	.	I 2	.	.	.	III +	.	I +	1 1	.
クコ	.	1 +	.	.	.	.	.	.	V 4-5	.	.	.
アレチウリ	.	.	.	.	.	1 +	.	I +	III +	.	.	.
ウシハコベ	.	.	.	.	.	.	.	I +	II +	.	.	.
テリハノイバラ	.	.	.	II 1	.	.	.	.	.	V 4-5	3 2-3	.
スズメノチアヒキ	.	.	.	I 1	I +	1 2	.	II +	.	V +-2	3 +-3	.
アオカモジグサ	.	.	.	II +-1	.	2 +	.	.	.	III +-1	2 1	.
ツルマンネングサ	.	.	.	III 2	.	.	.	.	.	III +-1	3 +-2	.
メマツヨイグサ	.	.	.	II +-1	.	.	.	.	.	V +-2	1 +	.
オツタチカタバミ	.	.	.	III +	.	.	.	.	.	III +	2 +-1	.
ノミノツヅリ	.	.	.	I +	.	.	.	.	.	III +-1	3 1	.
イチゴツナギ	.	.	.	II +-3	.	.	.	.	.	III 1	2 +-2	.
メダハギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	V +-1	3 +-1	.
オトコヨモギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	II +-2	3 +	.
カワラサイコ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	II +-1	1 +	.
アオスゲ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	II +	1 +	.
オオアレチノギク	.	.	.	I +	I +	.	.	.	.	IV +-1	.	.
マメゲンバイナズナ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	III +	.	.
シナダレスズメガヤ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	III +-1	.	.
キダチコマツナギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 4	.
オランダミミナグサ	.	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	3 +-1	.
キュウリグサ	.	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	2 +-2	.
イタチハギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 3-5
メダハギsp.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 +-2
ギョウギンバ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	I +	.	3 +-1
エノコログサ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 1-2
ヤマハギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	2 1-4
オオスズメノカタビラ	.	.	.	V 1-4	IV 1-3	4 +-2	.	II +	I 1	I +	.	.
クワイモ	1 +	.	.	II +	V +-2	1 1	.	III 1-2	I 1	.	.	.
オオブタクサ	1 +	.	.	II +	V +-4	1 +	.	II +	I 1	.	.	.
クサヨシ	1 3	.	.	IV +-3	V 1-2	2 1-2	I +	.	I +	II +	.	.
カモジグサ	1 +	.	.	V +-2	III 2-3	2 +	.	.	I 1	II +-1	1 +	.

オニウシノケサ	・	・	・	III +4	II +2	2 1	・	・	・	V +1	・	1 +
ネズミムギ	・	・	・	III +2	II 2-3	2 +-1	・	I +	・	IV +1	・	・
随伴種												
ヨモギ	・	・	1 +	IV +1	IV +1	2 1	・	・	I +	V +2	2 +	3 +2
イタドリ	1 1	・	・	V 2-4	V +4	3 +-1	I +	II +1	II 1	II +	2 +-1	・
ヘクソカズラ	・	1 1	1 +	V +1	III +2	2 1	I +	III +1	II 1-3	・	2 +	・
ヤブガラシ	1 +	1 1	1 +	II +1	II +1	2 +-1	II +	IV +1	II 1	・	1 +	・
ヤエムグラ	・	2 1-3	・	I 1	・	4 +-3	・	IV +2	II 1	II +	2 1	・
ヤハズエンドウ	・	・	・	II +1	II +1	3 +-1	・	I +	I +	V +1	2 +	・
ツユクサ	・	1 +	1 +	II +1	III +1	・	II +	・	II +	I +	・	・
マスキサ	・	3 1-2	・	II +1	III +1	・	・	II +1	・	I +	・	・
ヒメジョオン	・	1 1	・	II +	II +	1 1	・	II +	・	・	・	1 +
ナガバギシギシ	1 +	・	・	IV +2	III +1	1 +	・	・	・	・	・	・
カナムグラ	・	1 1	1 +	・	I +	1 +	II +	・	II +1	・	・	・
トウネズミモチ	・	1 +-1	・	I +	III +1	1 3	・	・	・	・	・	・
セイタカアワダチソウ	・	・	・	I +	II +	・	・	・	II +	II +	・	・
ハルジオン	・	1 2	・	・	II +	1 +	・	II 1-2	・	・	・	1 +
オヤブジラミ	・	1 +	1 +	I +	I 2	1 1	・	II +	・	・	・	・
ヒメムカシヨモギ	・	・	・	III +	I +	・	・	・	・	II +	・	・
ヤブジラミ	・	・	・	II +1	II +-2	・	・	・	・	I 1	1 +	・
ノブドウ	・	1 +	・	I 1	I 1	2 +-1	・	・	・	・	・	・
ヤブマメ	・	・	1 1	・	II +1	・	I 1	・	・	・	・	・
オニドコロ	・	・	1 1	・	I 2	・	II +	I +	・	・	・	・
ナガイモ	・	・	・	・	I +	1 +	・	・	I +	I +	・	・
ノビル	・	・	・	・	I +	1 +	・	・	I 3	I +	・	・
タチイヌノフグリ	・	・	・	・	・	1 +	・	・	・	I +	2 +-1	・
ヒメオドリコソウ	・	・	・	・	・	1 +	・	I 1	I +	・	・	・

出現3回以下の種は省略。

表5. つる植物群落の識別表

- A センニンソウ群落  
 B カラスウリ-オニドコロ群落  
 C ヤブガラシ群落  
   Ca 典型下位単位  
   Cb ガガイモ下位単位  
 D アレチウリ群落  
 E クズ群落  
 F カナムグラ群落  
   Fa アキノノゲシ下位単位  
   Fb 典型下位単位  
   Fc イシミカワ下位単位

	A	B	C		D	E	F		
			Ca	Cb			Fa	Fb	Fc
調査区数	6	6	5	2	6	9	7	8	3
平均出現種数	7.7	7.0	4.6	5.0	5.5	7.9	10.4	8.0	6.7
群落・下位単位の識別種									
センニンソウ	IV <sub>1-5</sub>	・	・	・	・	・	・	・	・
スイカズラ	III <sub>2-4</sub>	I <sub>+</sub>	・	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・
アオツツラフジ	III <sub>3-4</sub>	II <sub>++1</sub>	・	・	・	・	・	・	・
ノブドウ	I <sub>2</sub>	V <sub>++4</sub>	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・	・
カラスウリ	I <sub>2</sub>	III <sub>2-5</sub>	・	・	・	I <sub>+</sub>	I <sub>1</sub>	・	・
オニドコロ	・	IV <sub>++4</sub>	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	I <sub>+</sub>	・
ヤブガラシ	I <sub>1</sub>	IV <sub>2</sub>	V <sub>4-5</sub>	2 <sub>3-4</sub>	III <sub>++1</sub>	II <sub>++1</sub>	I <sub>+</sub>	II <sub>+</sub>	1 <sub>1</sub>
ガガイモ	・	・	・	2 <sub>3-4</sub>	I <sub>+</sub>	・	I <sub>+</sub>	・	・
クサヨシ	・	・	・	2 <sub>1-2</sub>	I <sub>+</sub>	・	・	・	・
オオブタクサ	・	・	・	・	II <sub>1</sub>	IV <sub>++2</sub>	I <sub>+</sub>	I <sub>+</sub>	2 <sub>+</sub>
クワイモ	・	・	・	・	III <sub>++2</sub>	III <sub>++2</sub>	・	・	・
アレチウリ	・	・	I <sub>+</sub>	1 <sub>+</sub>	V <sub>5</sub>	I <sub>1</sub>	・	・	1 <sub>+</sub>
クズ	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	V <sub>5</sub>	I <sub>1</sub>	III <sub>++3</sub>	2 <sub>++1</sub>
セイトカアワダチソウ	・	・	I <sub>+</sub>	1 <sub>+</sub>	I <sub>+</sub>	III <sub>++1</sub>	I <sub>+</sub>	・	・
ヨモギ	I <sub>+</sub>	・	I <sub>+</sub>	・	I <sub>+</sub>	II <sub>++1</sub>	I <sub>+</sub>	II <sub>+</sub>	・
カナムグラ	・	・	I <sub>+</sub>	1 <sub>+</sub>	・	II <sub>+</sub>	V <sub>4-5</sub>	V <sub>3-5</sub>	2 <sub>2-3</sub>
ツユクサ	・	I <sub>+</sub>	III <sub>+</sub>	・	・	・	III <sub>++2</sub>	III <sub>++1</sub>	2 <sub>++2</sub>
アシボン	・	・	・	・	・	・	I <sub>2</sub>	II <sub>++3</sub>	1 <sub>2</sub>
ヒナタイノゴズチ	I <sub>1</sub>	II <sub>+</sub>	・	・	II <sub>+</sub>	・	IV <sub>++2</sub>	II <sub>++1</sub>	・
アキノエノコログサ	・	・	・	・	・	II <sub>+</sub>	I <sub>2</sub>	III <sub>++1</sub>	・
コセンダングサ	・	・	・	・	・	II <sub>++1</sub>	I <sub>1</sub>	II <sub>++1</sub>	・
ママコノシリヌグイ	・	・	I <sub>1</sub>	・	・	・	I <sub>1</sub>	II <sub>2-3</sub>	・
ヨウシュヤマゴボウ	・	・	・	・	・	・	III <sub>++1</sub>	I <sub>+</sub>	・
ノゲシ	・	・	・	・	・	・	III <sub>+</sub>	・	・
ウシハコベ	・	・	・	・	I <sub>1</sub>	・	III <sub>++3</sub>	・	・
ヒメムカシヨモギ	・	・	・	・	・	I <sub>1</sub>	III <sub>++2</sub>	・	・
アキノノゲシ	・	・	・	・	・	・	III <sub>1-2</sub>	・	・
オオアレチノギク	・	・	・	・	・	・	II <sub>+</sub>	・	・
ブタクサ	・	・	・	・	・	・	II <sub>+</sub>	・	・
イシミカワ	I <sub>3</sub>	I <sub>5</sub>	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・	3 <sub>3-4</sub>
ツルマメ	・	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・	・	2 <sub>3-4</sub>
随伴種									
ヘクソカズラ	IV <sub>++3</sub>	IV <sub>++3</sub>	III <sub>++1</sub>	・	I <sub>+</sub>	II <sub>+</sub>	・	II <sub>+</sub>	・
オギ	・	・	II <sub>1</sub>	2 <sub>+</sub>	III <sub>1-2</sub>	III <sub>++2</sub>	・	・	1 <sub>+</sub>
メヒシバ	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	I <sub>+</sub>	II <sub>++1</sub>	I <sub>+</sub>	・
アズマネザサ	I <sub>1</sub>	・	・	・	・	・	I <sub>1</sub>	II <sub>1</sub>	・
イタドリ	・	・	I <sub>+</sub>	・	・	II <sub>+</sub>	・	・	・
ツタ	II <sub>++2</sub>	I <sub>2</sub>	I <sub>2</sub>	・	・	・	・	・	・
ノイバラ	II <sub>1-2</sub>	・	・	・	・	II <sub>++3</sub>	・	・	・
カキドオシ	・	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・	II <sub>+</sub>	・
トウネズミモチ	II <sub>++1</sub>	I <sub>+</sub>	・	・	・	・	・	・	・
ナガイモ	I <sub>2</sub>	I <sub>2</sub>	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・	・
ヤマグワ	I <sub>3</sub>	I <sub>3</sub>	・	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	・
ワルナスビ	・	・	・	・	I <sub>+</sub>	II <sub>+</sub>	・	・	・

出現2回以下の種は省略.

表6. 刈取草地群落の識別表

- A アズマネザサ-スキ群落
- B チガヤ-ツルボ群落
- Ba ナワシロイチゴ下位単位
- Ba1 クサボケ植分群
- Ba2 典型植分群
- Bb 典型下位単位
- Bc カワラサイコ下位単位
- C チガヤ-ネズミギ群落

	A	B				C			
		Ba1	Ba2		Bb	Bc	C		
調査区数	11	16	48	6	13	12	31	18	8
平均出現種数	26.1	26.3	24.2	15.5	16.2	14.4	22.2	15.8	14.1
群落の識別種									
アズマネザサ	V 1-5	I 1-2	+ +2	I 1	.	.	.	.	.
ヤマガワ	IV +1	I +	I +	I +	.	.	.	.	.
ノブドウ	IV +1	I +	+ +	.	.	.	.	.	.
イヌワラビ	III +1	+ +	+ +	.	.	.	.	+ 1	.
ドクダミ	III +3	+ 1	+ 1	.	.	.	.	I +1	.
カタハミ	III +	+ +	+ +	.	.	.	.	+ +	.
スイカズラ	IV +1	.	.	.	.	.	.	.	.
ツルウメモドキ	III +1	+ +	+ +	.	.	.	.	.	.
ホタルフクロ	III +2	+ 1	+ 1	.	.	.	.	.	.
エビヅル	III +1	.	+ +	.	.	.	.	.	.
アカネ	III +2	.	.	.	.	.	.	.	.
エノキ	III +1	.	.	.	.	.	.	.	.
サルトリイバラ	II +	.	.	.	.	.	.	.	.
ノガリヤス	II +1	.	.	.	.	.	.	.	.
ヘラオオハコ	.	V +2	V +3	V +3	V +3	V +2	V +3	V +2	IV +1
チガヤ	+ +	V 1-4	V +4	V 2-5	IV 1-4	V 1-5	V +4	III +3	V 4-5
オッタチカタハミ	.	III +1	IV +2	V +1	IV +1	V +2	V +2	V +2	II +
ヤハズエンドウ	.	IV +	IV +1	.	V +1	II +	IV +1	IV +1	IV +1
アオスゲ	.	IV +2	IV +2	I +	III +2	I +	V +2	II +1	I +
スギナ	.	III +4	IV +3	I +	III +1	II +	III +1	II +2	.
ムラサキツメクサ	.	II +2	III +3	IV +2	II +2	I +	I +3	III +3	II +
マスクサ	+ +	II +1	III +2	III +1	II +1	III +1	+ +	III +3	II +
スバ	.	II 1-3	II +3	I +	I +2	I +1	+ 1	II +3	.
ツルボ	II +1	IV +3	III +4	IV +2	I +2	V 1-4	IV +4	.	.
コウゾリナ	.	IV +1	IV +3	V +1	I +	II +	II +1	.	.
オニウシノケグサ	.	IV +2	III +4	I 1	II +3	II +	II +3	.	.
イタドリ	.	IV +3	III +3	II +	I +	+ +	I +1	+ +	.
ヒメスイバ	.	I +1	I +3	.	II +2	III +1	III +3	.	.
ハルガヤ	.	I 2-3	II +4	.	II +4	+ 2	+ 1-2	.	.
シバ	.	II 1-2	II +3	.	II +4	II 2-4	III +4	.	.
ヒルガオ	+ +	I +2	III +2	II +1	II +1	+ +	+ +	+ +	.
ノゲヌカスゲ	.	I 2-4	II +3	.	.	+ +	I 1-4	.	.
下位単位・植分群の識別種									
ナワシロイチゴ	V 1-3	III +2	II +3	III +	.	.	+ 1	+ +	I +
オニタビラコ	III +1	II +1	III +2	.	.	.	.	I +	.
ヤブカンゾウ	+ 1	II +3	II +5	I 2	.	.	.	I 1	.
カラスビシャク	III +1	I +1	II +2	II +	.	.	.	I +	I +
ノコンギク	IV +3	II +3	II +3	.	.	.	+ +1	+ +	.
センニンソウ	II +1	II +2	II +1	.	.	.	+ +	I +1	.
セイヨウタンポポ	II +	II +	II +1	I +	.	.	.	I +1	I +
スキ	IV +3	II +3	+ +1	.	+ +	+ +	+ 3	.	II +2
オニドコロ	V +2	II +1	+ +	.	.	.	.	.	.
トボシガラ	III +1	II +1	+ +	.	+ +	.	+ +	.	.
クサボケ	I 2	III 1-4	.	.	.	I 1-2	.	I 1-2	.
アオツツラフジ	III +1	I +	+ +	.	.	.	+ +	.	.
ツリガネニンジン	II +1	II +2	.	I +	.	.	.	+ +	.
アマドコロ	I +	III 1-4	.	.	.	.	+ 1	.	.
ミノボロ	.	.	.	.	.	.	III +2	.	.
カワラサイコ	.	.	.	.	.	.	III +3	.	.
ヘラバヒメジョオン	.	+ +	+ +	.	+ +	.	II +1	.	.
カナビキソウ	.	.	.	.	.	.	II +2	.	.
コマツナギ	.	+ +	.	.	.	+ +	II +2	.	.
ミヤコグサ	.	+ +	.	.	.	.	II +2	.	.
カワラナデシコ	.	+ +	+ +	.	.	.	I +	.	.
ニワゼキソウ	.	.	+ +	.	.	.	I +	.	.
ハタザオ	+ +	.	.	.	.	.	I +2	.	.
春季相の種									
ネズミギ	.	IV +3	IV +5	.	V +5	+ +	IV +3	V +5	.
タチイヌフグリ	+ +	III +1	IV +1	.	V +1	.	III +1	IV +1	.
オランダミミナグサ	+ +	IV +2	IV +2	.	IV +3	.	III +2	IV +2	.
スズメノヤリ	II +1	IV +2	IV +2	.	III +3	.	IV +3	II +2	.
オオスズメノカタビラ	.	IV +3	IV +5	.	II 2-5	.	I +3	III +4	.
ノビル	+ +	III +1	III +3	.	II +	.	III +1	I +1	.
アメリカフウロ	.	II +	III +3	.	II +1	.	II +1	II +2	.
アオカモジグサ	I +	II +1	II +2	.	I +1	.	I +1	II +1	.
ノミツヅリ	.	I +	I +2	.	I +1	.	III +2	I +1	.
コメツツメクサ	.	+ +	I +2	.	II 1-2	.	II +3	I +	.
ヨツバムグラ	I +	II +1	II +3	.	I +1	.	+ +2	+ +	I +
オオイヌフグリ	.	.	II +	.	I +	.	+ +	II +1	.
ノヂシャ	.	II 1-2	I +1	.	II +4	.	+ +	I 1	.

カニツリグサ	I +	+ 3	II +-2	·	·	·	I +-2	·	·
カスマグサ	·	+	I +-3	·	I +	·	II +-2	·	·
ナガハグサ	·	II +	I +-2	·	II +-1	·	I +-2	I +	·
スズメノエンドウ	·	+	I +-1	·	I 1-3	·	II +-2	I +-1	·
ヤエムグラ	+ +	+	I +-1	·	+ 1	·	·	I +-1	·
ヌカボ	·	+	+ +-1	·	+ +	·	I +-1	·	·
スズメノチャヒキ	·	+	I +-3	·	+ 3	·	·	+ 1	·
夏季相の種									
メヒシバ	·	·	+ +	V +-3	·	IV +-4	·	·	V +-2
キンエノコロ	·	·	·	III +-3	·	III +-3	·	·	IV +-2
エノキグサ	·	·	·	III +-1	·	II +-1	·	·	II +
シマスズメノヒエ	·	·	·	III +-2	·	+ +	·	·	IV +-2
アキノエノコログサ	·	·	·	II 1-2	·	I 1-2	·	·	III +-1
キツネノマゴ	·	·	·	II 1	·	I +-2	·	·	·
随伴種									
ヘクソカズラ	V +-1	IV +-1	IV +-1	II +-2	II +-1	II +-2	IV +-2	II +-2	IV +-1
ハルジオン	III +-1	III +-2	IV +-3	IV +	III +-2	III +-1	II +-1	III +-2	·
ヨモギ	IV +-1	III +-1	III +-2	IV +	II +-1	III +-1	III +-2	II +-2	III +-2
ヒメジョオン	II +-1	V +-1	III +-2	·	II +-1	I +	III +-1	II +-1	IV +-1
ヤブガラシ	III +-1	V +-3	III +-2	IV +-1	II +-1	II +-1	+ +-1	III +-2	III +-1
オオアレチノギク	II +-1	I +	I +	·	+ +	I +	IV +-2	II +	II +
コナスピ	II +-1	II +-1	III +-2	·	I +	·	I +	+ +	I +
ワレモコウ	I 1	II 1-4	II +-3	II +-1	II +-1	II 1-2	I +-3	II +-1	·
ナガバギシギシ	·	·	I +-3	III +-1	II +-2	+ 1	+ +	V +-3	II +
メドハギ	+ +	·	+ +-1	·	·	II +	II +-1	·	I +
テリハノイバラ	·	I +	·	I +	·	II +-1	II +-2	·	·
ノイバラ	III +	+ +	I +	·	·	·	+ +	I +	·
キュウリグサ	+ +	I +	I +	·	II +	·	+ +-1	+ +	·
エノギシギシ	·	·	+ 1	·	I +	+ +	·	II +-3	II +-1
ジャノヒゲ	+ +	+ 2	+ +-2	I 2	·	II +-2	I 1-3	+ 1	·
セイタカアワダチソウ	+ +	I +-1	+ +	·	·	I +	+ +-1	+ +	I 2
トダシバ	I 1	I +	·	·	·	III +-2	·	·	III +-1
ウマノスズクサ	+ +	I +-1	+ 2	I 2	·	I 1	·	I +-2	II 1
ヒメムカシヨモギ	I +	+ +	·	I +	+ +	+ +	+ +	+ +	II +
マメグサ	·	+ +	·	·	+ +	+ +	I +	I +	·
オガルカヤ	·	·	·	·	·	II 2-3	I +-4	·	·
アケビ	I +-1	I +-3	+ +-1	·	·	·	·	·	I +
ノゲシ	II +-1	+ +	+ +	·	·	·	·	+ +	I +
イヌムギ	·	·	+ +	·	·	·	+ +	II +-1	I +
クズ	I +-1	I +	+ +	·	·	·	+ +	·	I +
コヒルガオ	II +-1	+ +	·	·	·	·	+ 1	I +-2	·
コモチマンネングサ	·	I +	+ +	·	·	·	+ +	·	·
ヒメツバムグラ	·	I 1-2	+ +-2	·	·	·	+ 1	·	·
メガルカヤ	·	·	·	·	·	I 3-4	I +-4	·	·
オギ	+ +	·	+ +-1	·	·	·	·	+ +	II 2
カラスムギ	+ +	·	+ +	·	+ +	·	·	·	·
チカラシバ	·	·	I +-3	·	·	+ +	·	·	·
フタクサ	·	·	+ +	·	·	+ +	·	+ +	I +
アレチギシギシ	·	·	+ +-4	·	·	·	·	I 1-2	·
カントウタンポポ	+ +	·	+ 2-3	·	+ 2	·	+ +	·	·
コオニユリ	·	·	I +-2	·	·	·	·	·	·
コゴメバオトギリ	·	+ +	+ +	·	·	II +	·	·	·
コセンダングサ	·	·	·	·	·	II +	·	·	I +
チチコグサ	·	·	·	·	+ 1	·	+ +	I +	·
ナギナタガヤ	·	·	+ +	·	·	·	+ +	+ +	·

出現4回以下の種は省略.

表7. 河辺多年生草本群落の識別表

	A			B			C			D			E			F			G			H		I				
	Da	Db	Dc	Da	Db	Dc	Da	Db	Dc	Da	Db	Dc	Da	Db	Dc	Da	Db	Dc	Da	Db	Dc	Ha	Hb	Ia1	Ia2	Ia3	Ia4	Ib
調査区数	1	5	2	9	2	8	3	1	9	6	7	7	7	20	15	5												
平均出現種数	2.0	6.4	13.0	11.1	21.5	8.6	13.3	8.0	12.8	15.8	8.7	13.6	12.4	11.9	8.7	8.4												
群落・下位単位・種分群の識別種																												
ミクリ	1 3																											
ヒメガマ		V 2-5	1 +																									
ヤナギタデ		III +3	1 1																									
オオイヌタデ		II 1-2																			II +	III +						
ヒロハホウキギク		II +		I 1																								
ケイヌビエ		II +		I +																								
イボクサ		II +1																										
コガマ		I 4																										
ウキヤガラ		2 4																										
クサヨシ		2 +2	V 3-5	2 3	V 3-5	2 +2				III +1	II 1-2	I 1			II +1	II +2	II +1	III +2										
オオカワヂシャ		I 1		IV +3																								
カワヂシャ	1 +	I 1	2 1	III +1			2 +1			II +2																		
セリ			1 +	III 1-4				1 1																				
ミノソバ		I +	2 +1	II +						II +1																		
オランダガラシ			1 +	III +2																								
カズノコグサ			1 +	II 1																								
ムシクサ			2 +1	II +1			1 1			I +	I +																	
ヒエガエリ		I +		II 1-2						I +	I +																	
ケキツネノボタン			1 +	III +	2 +																							
スカシタコボウ				III +2	1 +																							
アメリカカウロ				II +	2 +						I +																	
ミソコウジュ				2 2-3						II 1																		
ヘビイチゴ				2 1																								
マスクサ				2 +2			1 +																					
ヤブガラシ								II 1-2		III +1	I +	I +			III 1	V +1	V +2	III +1	III +									
クイイモ		1 +		IV +2			1 1			II +	I +			IV +3	II +	IV +3	II +1	I 3										
アゼナルコ				I 1	1 2		3 2-4			I +																		
スギナ				I 1	1 2		3 +2	1 +		II +	I 1	I +			I 3	I +1												
ヤワラスゲ					1 +		2 3-4			I +																		
ミヤマシラスゲ							1 4																					
ヨシ						I +				V 5																		
オヤブシラミ						1 +				III +1																		
ツルヨシ																												
ヒメムカシヨモギ										V 5	V 5				II +													
マメグンバイナズナ										IV +1	IV +1				II +	I 1												
シロザ										I +					III +1													
カキネガラシ				I 1		I +				I +					V +													
オランダミナグサ				I +	1 1					IV +1					I +	I 1												
キュウリグサ					1 +					II +1	IV +																	
セイヨウアブラナ										III +																		
オギ							IV +			II +1	I +	II +		V 4-5	V 1-5	V 4-5	V 5	V 4-5										
オオスズメノカタビラ				V +3	2 1-2	III +1	2 2	1 3		II +1	IV +2	III +1		III 1	III 1-2	IV +2	II +1											
カモジグサ				I 2		IV +1	1 +			II +	III 1	III +1		III +	V +1	IV +1	II +1											
ヤエムグラ				III +		III +	1 1	1 +		II +2	V +	I +		I +	I 1	III +2	III +3											
ナガバキギク				III +1	2 2-3	IV +1				II +	II +	II +		III +1	III +1	II +1	II +1											
イタドリ						II +1				I +	I +	III +		IV +2	III 1	II +2	III +1											
オオバクサ		1 +		II +		I	2 +1			III +1	I +			III +1	III +	II +2	I +1											
ヤハズエンドウ				II +	1 +	IV +	1 +			II +2	II 1	I +		I 3	III +2	+	II +2											
ヒルガオ				I 2		II +1	2 +1			I +	I +			II +1	I +	II +1	II +2											
ヘクソカズラ							1 +			I +	I +			I +	II +	III +1	II +1											
ガガイモ						I 1				I +				III +	I 1	II +	II +1											
ノイバラ						II +1				II +1	I +	II +1		II +	II	I +2	I +1											
メドハギ															V +1													
ヒメジョオン										II +2				III +1		+												
ハルシヤギク				I +										III +														
オオアワダチソウ														II 1-2		+												
オトコヨモギ														II +1														
オオアレチノギク						1 +				II +1	I +	I +		II +														
スズメノチャヒキ						1 +				I 1	II +1	I +		IV +5														
ネズミムギ				II +	2 2	II +		1 +		III +1	II 1	II 1		IV +4		+												
オオイヌノフグリ						1 1				II +1	II +			III +														
タイヌノフグリ						1 1								III +														
アレチウリ				II +						II +1				I +														
カナムグラ				I +										I +														
ツルマメ				I +			2 +1																					
アキノノゲシ																												
ハルジオン						1 1				II +				I +														





表8. 砂礫地草本群落の識別表

- A ツルマンネングサ群落  
 Aa 典型下位単位  
 Ab ノミノツヅリ下位単位  
 B カワラサイコシバ群落
- C ヨモギ-メドハギ群落  
 Ca マルバヤハズソウ下位単位  
 Ca1 アキノエノコログサ植分群  
 Ca2 典型植分群  
 Cb カモガヤ下位単位  
 Cc コスカグサ下位単位  
 Cd 典型下位単位  
 D シナダレスズメガヤ群落

	A		B	Ca		Cb	Cc	Cd	D
	Aa	Ab		Ca1	Ca2				
	5	5		10	16				
調査区数	5	5	19	10	16	3	6	3	9
平均出現種数	7.0	17.6	17.0	18.6	14.4	14.0	12.0	9.0	10.2
群落・下位単位・植分群の識別種									
ツルマンネングサ	V 4-5	V 3-5	III +3	+	+	I +1	.	.	.
テリハノイバラ	IV 1-2	V +3	IV +3	.	.	.	.	.	I +
ヘクソカズラ	IV +1	V +1	III +2	+	+	I +1	.	I +	III +2
シバ	II +2	II +	IV +4	+	+	.	.	.	.
アオスゲ	I +	IV +	II +1	.	+	.	.	.	I +
コマツナギ	I +	II +2	II +1	.	.	.	.	.	.
ナワシロイチゴ	I +	II +1	I +1	.	.	.	.	.	.
ツルボ	II +1	II +2	+	+	.	.	.	.	.
オウツチカタバミ	.	IV +1	III +1	IV +2	I +	.	.	.	II +
ノミノツヅリ	.	V +2	IV +2	II +	I +2	.	.	.	I +
オトコヨモギ	.	II +	III +2	II +	+	.	.	.	.
ナギナタガヤ	.	II +1	III +3	I +2	.	.	.	.	.
ヤブガラシ	.	II +	+	.	.	.	I 1	.	I +
ノゲシ	.	III +	+	.	.	.	.	.	.
イヌドクサ	.	II 1	.	.	+	.	.	.	.
ムラサキツメクサ	.	I +	I +	+	+	II +2	2 +1	I +	1 +
センニンソウ	.	II +	.	.	.	.	.	.	II +
アオツヅラフジ	.	II 1-2	.	.	.	.	.	.	.
カワラサイコ	I 2	.	V 1-3	+	+	I +	.	.	I +
コメバオトギリ	.	.	II +1	.	.	I +1	.	.	.
カナビキソウ	.	.	II +	.	.	.	.	.	.
メマツヨイグサ	.	.	III +1	III +1	III +2	3 +2	III +1	1 +	III +1
ヒメムカシヨモギ	.	.	II +1	III +2	IV +2	2 +	II +	2 +	III 1-2
コセンダングサ	.	.	II +1	II +1	IV +3	3 1-3	III +1	2 1	I +
セイタカアワダチソウ	.	.	I +	II +2	IV +3	2 1	V +2	2 2-4	I +
ヒメジョオン	.	.	I +	III +2	II +	1 1	II 1-2	1 +	II +1
オオアレチノギク	.	I +	II +	II +2	II +1	.	I 1	1 +	.
メドハギ	.	IV +1	V +2	IV +5	V +5	2 2	II 1-4	3 3-5	IV +1
ヨモギ	II +	IV +1	III +2	V +5	V +5	3 +2	V 1-5	1 1	IV +1
オニウシノケグサ	I 1	II +1	I +1	II +1	III +2	2 +2	II 2-3	2 2-3	II 1
エノコログサ	I 1	I +	+	II +1	IV +2	1 1	II 2	3 +1	I +
メヒシバ	I +	I +	I +2	III +2	II +2	1 +	I +	.	.
ギョウギシバ	.	.	.	+	2	.	1 1	IV +2	2 +1
オオニシキソウ	.	.	.	+	+	II +1	2 +1	I 1	.
シマスズメノヒエ	.	.	.	I 1	I +	1 2	I +	.	.
ヘラオオバコ	IV +2	V 1-2	IV +2	III +1	IV +3	.	I +	.	II +1
マルバヤハズソウ	.	.	III +3	II 1-2	IV +5	1 2	.	1 +	II +1
スズメノチャヒキ	.	.	III +2	III 1-2	II +2	.	.	.	II +1
マメグンバイナズナ	.	I +	III +1	IV +1	I +	.	.	.	.
コマツヨイグサ	.	I +	+	III +2	II +1	.	.	.	II +1
カモジグサ	.	.	+	II +	II +	.	.	.	II +
オオブタクサ	.	.	.	I +	II +	1 +	.	.	I +
カゼクサ	.	.	.	I +	II +2	.	.	.	.
ケアリタソウ	.	.	.	II +2	I +	.	I +	.	.
ハルシャギク	.	.	I +	III +	.	.	.	.	.
ナガバギシギシ	.	.	.	II +	.	.	.	.	II +
ユウゲシヨウ	.	.	I +	II +1	.	.	.	.	II +
アキノエノコログサ	.	.	.	II +1	.	.	I 1	.	.
セイヨウタンポポ	.	.	.	II +	.	.	I +	.	.
エゾノギシギシ	.	.	.	I +	.	.	.	.	.
カモガヤ	.	.	.	.	.	3 1-3	.	.	.
メリケンカルカヤ	.	.	.	.	.	2 2	.	.	.
キンエノコロ	.	.	.	+	+	2 +	.	.	.
コスカグサ	.	.	.	.	.	.	V +3	.	.
ススキ	.	.	.	.	.	.	IV +1	.	.
ムラサキエノコロ	.	.	.	.	+	.	III +1	.	.
シナダレスズメガヤ	.	.	II +1	.	III +1	.	.	.	V 4-5
随伴種									
ネズミムギ	II 1	V +2	III +2	II 1	I +3	.	.	.	II +
イタドリ	.	II +	I +1	+	I +	.	.	.	II +
オギ	.	.	.	+	I +1	1 +	I 1	1 1	I +
ヤハズエンドウ	.	I +	+	I +	.	1 +	I +	.	.
ヤブジラミ	.	.	I +	+	+	.	.	.	II +
ヘラバヒメジョオン	.	.	I +1	+	+	.	.	.	I +
ヤハズソウ	.	.	+	+	I +	1 +	.	.	.
アオカモジグサ	.	.	I +	+	+	.	.	.	.
アキノノゲシ	.	.	.	+	+	.	II +1	.	.
アレチノギク	.	.	I +	I +1	.	.	.	.	.

イヌムギ	・	・	・	I <sup>+-1</sup>	I <sup>+-1</sup>	・	・	・
オオスズメノカタビラ	・	・	+ +	I <sup>+</sup>	・	・	・	I <sup>+</sup>
オランダミミナグサ	・	・	I <sup>+</sup>	+ $\frac{1}{2}$	・	・	・	I <sup>+</sup>
クズ	・	・	I <sup>+-2</sup>	・	+ +	・	I <sup>1</sup>	・
ヤナギバヒメジョオン	・	I <sup>1</sup>	I <sup>+-1</sup>	・	・	・	・	・
アキメヒシバ	・	・	I <sup>+-1</sup>	・	・	・	・	・
オガルカヤ	・	I <sup>+</sup>	I <sup>+</sup>	・	・	・	・	・
ガガイモ	・	・	+ +	・	・	・	I <sup>+</sup>	I <sup>+</sup>
キクイモ	・	・	・	I <sup>1</sup>	+ $\frac{1}{2}$	・	・	・
シロザ	・	・	・	+ +	+ +	・	I <sup>+</sup>	・
ツルヨシ	・	・	・	+ +	・	・	・	II <sup>+</sup>
トダシバ	・	・	+ +	+ $\frac{1}{2}$	+ +	・	・	・
ノビル	・	I <sup>+</sup>	I <sup>1</sup>	・	・	・	・	・

出現2回以下の種は省略.

表9. 河辺一年生草本群落(春季)の識別表

- A オランダガラシ-オオカワヂシャ群落
- B カワヂシャ-タネツケバナ群落
  - Ba 典型下位単位
  - Bb カキネガラシ下位単位
- C ネズミムギ-カキネガラシ群落
  - Ca ヤエムグラ下位単位
  - Cb 典型下位単位
  - Cc ミゾコウジュ下位単位

調査区数	A		B		C		
	Ba	Bb	Ca	Cb	Cc		
調査区数	9	13	7	21	8	4	
平均出現種数	3.4	10.4	21.7	35.0	23.8	37.5	
群落・下位単位の識別種							
オランダガラシ	V 1-5	IV +4	III +-2	I +-2	.	.	
オオカワヂシャ	V 1-5	V 1-5	V +-4	III +-3	IV 1-3	.	
カワヂシャ	II +-1	IV +4	V 1-4	IV +-4	III +-3	.	
タネツケバナ	.	IV +-2	V +-2	IV +-1	III +-1	.	
ムシクサ	.	III +-2	V +-2	III +	III +-1	.	
オオイヌタデ	.	III +-3	II +	IV +-2	II 1-3	.	
ネズミムギ	I +	IV +-2	III 1-2	V 1-4	V 2-5	4 2	
オオスズメノカタビラ	.	IV +-2	V +-3	V +-2	II +-2	2 +-1	
ナガバキシギシ	.	II +	III +-1	IV +-3	V +-3	2 +-1	
スズメノテッポウ	II +	III +-2	V +-2	III +-1	II +-1	1 +	
ノゲシ	.	I +	III +	IV +	IV +	2 +	
ヒロハホウキギク	.	III +-1	IV +-1	III +-1	III +-2	2 +	
スカシタゴボウ	.	II +-2	IV +	III +-1	IV +-1	1 +	
スズメノカタビラ	.	II +	II +	IV +	III +	1 +	
ハルシャギク	.	II +-1	I +	III +-1	IV +-2	3 +	
オオアレチノギク	.	.	III +	V +-1	IV +-2	4 1-2	
カキネガラシ	.	.	III +	V +-2	IV +-1	1 +	
ユウゲシヨウ	.	.	III +	III +-1	V +-2	4 +-2	
エゾノギシギシ	.	+ 1	III +	V +-2	III +-1	3 +	
ウシハコベ	.	+ +	III +-1	IV +-2	IV +-1	1 +	
マメゲンバイナズナ	.	.	II +	IV +-1	IV +-4	4 +	
ヤハズエンドウ	.	+ +	II +	III +	III +-1	4 +-3	
ノミノツツリ	.	.	III +	IV +-1	I +	3 +-1	
ケアリタソウ	.	.	II +	IV +-1	IV +-2	3 +-1	
オオイヌノフグリ	.	.	III +-1	V +-3	.	1 +	
ヒメムカシヨモギ	.	.	III 1	III +-3	II +-1	4 1-2	
カモジグサ	.	.	II +	III +-1	II +	2 +-1	
キュウリグサ	.	.	II +-1	III +-1	II +-1	2 +	
ハハコグサ	.	.	II +	III +	II +-1	4 +-1	
シロツメクサ	.	+ +	I +	III +-1	I +	3 +-2	
オランダミミナグサ	.	.	I +	III +-1	II +	1 +	
オッタチカタバミ	.	.	I +	II +	I +	4 +	
ツメクサ	.	.	II +	II +	II +	2 +	
ヒメジョオン	.	.	III +	I +	.	4 2-3	
コハコベ	.	.	III +	IV +-1	I 1	.	
ナズナ	.	+ +	III +	III +-1	II +	.	
オヤブジラミ	.	.	II +	II +-1	I +	.	
ヨモギ	.	.	.	III +-1	V +	4 +-2	
メマツヨイグサ	.	.	.	III +-1	II +-1	3 1	
コマツヨイグサ	.	.	.	III +-1	I +	1 +	
ヤブジラミ	.	.	.	II +-1	III +-1	2 +	
ヘラオオバコ	.	.	.	II +-1	II +-1	3 +	
チチコグサモドキ	.	.	.	II +	I +	1 +	
ウラジロチチコグサ	.	.	.	II +	II +	2 +-2	
ムラサキツメクサ	.	.	.	II +-1	II +-1	1 +	
セイヨウカラシナ	.	.	.	II +-1	III +-1	.	
オノゲシ	.	.	.	I +	III +	.	
イヌムギ	.	.	.	III +	I +	.	
ナガミヒナゲシ	.	.	.	III +-2	.	.	
ヤエムグラ	.	.	.	III +-1	.	.	
タチイヌノフグリ	.	+ +	.	III +	.	.	
セイヨウアブラナ	.	.	.	III +	.	.	
キツネアザミ	.	.	I +	II +	.	.	
ホトケノザ	.	.	.	II +	.	.	
アメリカフウロ	.	.	I +	II +	.	1 +	
シロザ	.	.	.	II +	.	.	
スズメノチャヒキ	.	.	.	II +	.	.	
ハルジオン	.	.	.	.	.	4 +	
コメツブツメクサ	.	.	II +	+ +	I +	3 1	
ミゾコウジュ	.	.	.	.	.	3 2	
オギ	.	.	.	+ 1	I +	3 +-2	
オキジムシロ	.	.	.	.	.	3 +	
アオスゲ	.	.	.	.	.	3 +	
メドハギ	.	.	.	.	.	3 +	
アゼナルコ	.	.	.	.	.	2 +	
ヤマグワ	.	.	.	.	.	2 +	
オトコヨモギ	.	.	.	.	.	2 +	
随伴種							
イヌガラシ	.	II +	III +	II +	I +	.	
オオブタクサ	I +	II +	III +	I +	I +	1 +	

ノミノフスマ	・	+	+	Ⅲ +	I +	Ⅱ + <sup>-1</sup>	・
カズノコグサ	I +	Ⅱ + <sup>-2</sup>	I 2	+	+	I +	・
オニタビラコ	・	・	Ⅱ +	I +	・	・	1 +
ミゾソバ	Ⅱ +	I +	・	・	・	Ⅱ +	・
アメリカセンダングサ	・	+	I 1	I +	+	I 1	・
オオバコ	・	・	I +	I +	・	・	1 +
カナムグラ	・	・	・	I +	I +	・	・
セイタカアワダチソウ	・	・	・	+	+	Ⅱ +	2 +
タガラシ	・	Ⅱ +	I +	+	+	・	・
ノボロギク	・	・	・	I +	I +	I +	1 +
ミズハコベ	I 1	I 1	I +	+	+	・	・

出現4回以下の種は省略.

表10. 河辺一年生草本群落(夏季)の識別表

- A ケイスビエ-ジュズダマ群落
- B スマガヤツリ-チョウジタデ群落
- C カヤツリグサ-カワラスガナ群落
- D オオイスタデ-ケイスビエ群落
  - Da ケアリタソウ下位単位
  - Db 典型下位単位
- E コセンダングサ-アキノエノコログサ群落

	A	B	C	D		E
				Da	Db	
調査区数	5	7	4	12	16	21
平均出現種数	6.4	12.1	22.5	13.8	5.0	18.0
群落・下位単位の識別種						
ジュズダマ	V 1-5	.	.	.	.	.
ケイスビエ	IV 2-5	V +-3	4 +-2	V +-2	V +-5	+ +
イスビエ	II +-1	I 1	3 2-3	II +-1	III +-1	I +
アメリカセンダングサ	IV +-1	IV +-5	1 +	II +-3	.	.
ミノソバ	IV +-3	I 2	.	II 1-2	I +-2	.
オオクサキビ	.	V +-2	4 +-2	II +-1	III +-3	.
ヤナギタデ	.	III +-4	.	II 2-3	III +-5	.
アメリカタカサブロウ	I +	IV +-1	3 +	III +-2	+ +	.
スマガヤツリ	.	V +-4	3 1-2	I 2	I +	.
スカシタゴボウ	.	II +	2 +	III +-2	.	+ +
コゴメガヤツリ	.	II +-1	4 1-3	+ +	.	+ +
タマガヤツリ	.	II 1	2 1	.	.	.
チョウジタデ	I +	IV +-4	.	+ +	.	.
イボクサ	.	IV +-1	.	.	.	.
カンエンガヤツリ	.	III +-3	.	.	.	.
ポントクタデ	.	III +-3	.	.	.	.
ヌカキビ	.	III +-1	.	.	.	.
アゼナ	.	II 1	.	.	.	.
アメリカアゼナ	.	II +	.	.	.	.
カヤツリグサ	.	.	4 +-3	+ +	.	.
カワラスガナ	.	.	3 +	.	.	.
ヒエガエリ	.	.	3 +-1	.	.	.
ヒメムツオレガヤツリ	.	.	2 +	.	.	.
メリケンガヤツリ	.	.	3 +-1	II +-1	.	+ +
オオカワデシヤ	.	.	4 1-2	I +	.	.
キンエノコロ	.	.	1 +	II +-1	.	+ +
ウシハコベ	.	.	.	II +	.	+ +
メヒソバ	.	.	4 1-2	III +-2	+ +	IV +-3
ヨモギ	.	.	3 +	II +-1	.	V +-2
ケアリタソウ	.	.	4 +-1	IV +-1	.	III +-1
オオブタクサ	II +	I +	2 +	II +-1	+ +	II +
コアカサ	.	.	.	II +-1	.	III +-1
セイトカアワダテソウ	I +	.	.	II +-1	.	III +-2
ユウゲシヨウ	.	.	1 +	II +	.	II +-1
ヒメムカシヨモギ	.	.	.	+ +	.	V +-4
オオアレチノギク	.	.	.	.	.	V +-2
メマツヨイグサ	.	.	1 +	.	.	IV +-2
コセンダングサ	.	.	.	+ +	.	IV +-4
マルバヤハズソウ	.	.	.	I +	.	III +-3
マメゲンバイナズナ	.	.	.	+ +	.	III +-1
ヘラオオバコ	.	.	.	.	.	III +-1
オニウシノケグサ	.	.	.	.	.	III +-1
エゾノギシギシ	.	.	.	I +	.	II +
ムラサキツメクサ	.	.	.	.	.	II +-1
ハルシヤギク	.	.	1 1	.	.	II +
エノコログサ	.	.	.	+ +	.	II +-1
コマツヨイグサ	.	.	.	.	.	II +
アキノエノコログサ	.	.	1 +	.	.	II +-2
随伴種						
オオイスタデ	III 2-3	II 1-3	4 1-2	V 1-5	V +-5	V +-4
ヒロハホウキギク	.	IV +-2	3 1-2	IV +-5	III +-5	III +-3
ナガバギシギシ	.	.	3 1	II +-2	II +	II +-1
ネズミムギ	.	.	2 +	II +-1	.	II 1-2
ツルヨシ	.	.	1 +	.	+ +	II +
クサヨシ	II 1-3	I +	1 +	I +-1	+ 2	.
シロザ	.	.	.	II +	.	I +-2
オッタチカタバミ	.	.	.	+ +	.	II +
オヒシバ	.	I +	1 1	I +	.	+ +-2
カモジグサ	.	.	.	+ +	.	II +-1
ホソアオゲイトウ	.	.	1 +	+ +	.	I +-2
メドハギ	.	.	.	+ +	.	II +-1
オオニシキソウ	.	.	.	.	.	II +
スベリヒユ	.	I +	1 +	+ +	.	+ +
ブタクサ	.	.	.	.	.	II +-1
アカカタバミ	.	.	.	.	.	I +
アキノゲシ	.	.	.	+ +	.	I +
アレチノギク	.	.	.	.	.	I +
イタドリ	.	.	.	.	.	I +
カナムグラ	I +	.	.	I +-1	.	+ +
ツユクサ	I 1	I +	.	.	.	+ +
アレチギシギシ	.	.	1 +	I +	.	.
イヌドクサ	.	.	.	.	.	I +
オオイヌホオズキ	.	.	.	+ +	.	+ +
オオオナモミ	.	I 1	.	I +	.	.
オオケタデ	.	.	.	+ +	+ +	+ +
ヒメジョオン	.	.	.	.	.	I +-1

出現2回以下の種は省略.

表11. 林縁草本群落の識別表

- A アンボソキツネノマゴ群落  
 Aa 典型下位単位  
 Ab ササガヤ下位単位  
 B ハナタデ群落  
 Ba 典型下位単位  
 Bb ヤブタバコ下位単位  
 Bc アオミズ下位単位  
 C ドクダミ-ケチヂミザサ群落  
 D ヤブニンジン群落  
 E ノブキ群落  
 F クサイチゴ-ヤブミョウガ群落  
 G スズビトハギ-ガンクビソウ群落  
 Ga 典型下位単位  
 Gb ヒメキンミズヒキ下位単位  
 H マスクサ-ヤブスゲ群落  
 Ha コジュスゲ下位単位  
 Hb ジュズスゲ下位単位  
 Hc ヤワラスゲ下位単位  
 Hd 典型下位単位  
 I ノハカタカラクサ群落  
 J ヤブソテツ-イノモトソウ群落

	A		B			C	D	E	F	G		H				I	J	
	Aa	Ab	Ba	Bb	Bc					Ga	Gb	Ha	Hb	Hc	Hd			
調査区数	8	14	8	5	5	25	7	3	3	3	7	10	4	3	2	2	3	4
平均出現種数	10.0	13.9	11.4	12.6	10.0	16.9	16.3	15.7	6.7	9.7	13.9	14.1	15.3	9.0	10.5	8.5	6.0	10.0
群落・下位単位の識別種																		
アンボソ	IV 2-5	III +5	III +2	.	I 1	+ 1	.	.	.	.	I +	I +1	3 +2	.	.	.	.	.
キツネノマゴ	IV 1-5	IV +4	II 1-2	I 1	I +	.	II 2	.	.	.	.	+ 1	.	.	.	.	.	.
イヌコウジュ	III +3	II 1-4	II +	.	.	.	I +	.	.	.	.	+	.	.	.	.	.	.
イヌアワ	II +5	II 1-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
メシバ	III +1	I +1	.	I 1	.	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
コナスビ	.	III +3	I +	.	I +	I 1-2	.	.	.	.	.	+	.	.	.	.	.	.
ササガヤ	.	III 2-5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヌカキビ	.	III +2	I +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
クワクサ	.	II +1	I 1	.	I 1	+ r	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ネズミガヤ	.	II +2	.	.	.	.	I +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ハナタデ	I +	III 1-2	V 3-5	V 1-5	V 2-5	+	I +	.	2 +	.	III +	III +3	1 +	.	.	.	.	.
ヤブタバコ	.	.	I +	V 1-4	.	.	.	.	.	.	I 3	I +	.	.	.	.	.	.
シロザ	.	.	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アオミズ	.	.	.	.	V 1-4	.	.	.	.	.	I +	.	.	.	.	.	.	.
ドクダミ	I +	II +2	I 2	.	II +1	IV +4	V +3	3 +1	1 1	2 1	I 3	I +	3 +2	1 +	.	.	1 1	1 +
ハルジオン	II +1	II +2	.	.	I 1	IV +4	III +2	.	1 +	.	.	+	1 1	.	.	.	.	1 +
イヌワビ	.	+ 1	I +	.	III +1	II +3	IV +2	1 +	.	1 +	.	I +	1 +	1 +	.	.	.	3 +2
ヘビイチゴ	I 1	II +2	.	.	III +1	II +3	III +	1 1	.	.	.	.	3 +1	.	.	.	.	1 +
トボシガラ	I +	I +1	I 1	II +	.	II +3	III +1	.	1 +	.	III +	I +	1 +	1 2	.	.	.	.
アマチャヅル	.	.	.	I 2	I 1	I +2	II 1	1 1	1 +	1 +	.	+	.	.	.	.	.	.
ヤブタバコ	.	I +1	.	.	I +	II +3	I 1	.	.	.	.	.	2 +2	.	.	.	.	.
春季相の種																		
ヤエムグラ	.	.	.	.	.	V +5	.	1 +	1 +	1 3	.	.	.	.	1 1	.	.	.
ミノイチゴツナギ	.	.	.	.	.	IV +4	I +	2 1-2	.	.	.	.	1 +	1 +	.	.	.	.
ミドリハコベ	.	.	I 1	.	.	II +2	.	2 +2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ムラサキケマン	.	.	.	.	.	II +3	.	3 1-3	.	.	.	+	1 +	.	.	.	.	.
オヤブジラミ	.	.	.	.	.	III +5	.	.	.	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.
オニタバコ	.	+	I +	.	.	II +2	.	.	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	2 +
ミツバ	.	.	.	.	.	II +2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヒメオドリコソウ	.	.	.	.	.	II +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ノビル	.	+ 1	.	.	.	I +2	.	.	.	.	.	.	1 +	1 +	.	.	.	.
アオカモジグサ	.	.	.	.	.	I +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヤハズエンドウ	.	.	.	.	.	I +2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
群落・下位単位の識別種																		
ヤブニンジン	.	.	.	.	.	.	.	3 3-4	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
キツネノカミソリ	.	.	.	.	.	.	.	2 1-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アマナ	.	.	.	.	.	.	.	1 2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ノブキ	.	.	I +	.	.	.	.	3 +1	3 5	.	.	I +1	.	.	.	.	.	.
ヤブラン	.	.	.	.	.	+ 2	.	1 +	2 +	.	.	.	.	.	.	.	.	1 +
クサイチゴ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 +5	.	.	.	1 1	.	.	.	.
ヤブミョウガ	.	.	.	.	.	.	.	2 +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
オドリコソウ	.	.	.	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
スズビトハギ	II +	.	I +	II +2	.	+ 1	.	.	.	.	V +4	V +5	.	1 1	.	.	.	.
ガンクビソウ	.	.	II +1	I +	.	+	.	.	.	.	III 1-5	III +3	.	.	.	.	.	.
ヤブマメ	.	+ 1	.	.	I +	+ 1	.	.	.	.	III +3	I +	.	.	.	.	.	.
マルバスズビトハギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	II 3-5	.	.	.	.	.	.	.
ヒメキンミズヒキ	I +	.	I +	.	.	.	.	.	.	.	V +4	.	.	.	.	.	.	.
カワラスゲ	.	.	I +	.	.	+	.	.	.	.	III +4	1 +	.	.	.	.	.	.
ダイコンソウ	.	.	I +	.	.	+ 1	.	.	.	.	II +3	1 +	.	.	.	.	.	.
サジガンクビソウ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	II +2	.	.	.	.	.	.	.
マスクサ	II 1	II 1-2	.	III +3	II 1	II +3	III +2	.	2 +1	II +	+	+	4 2-3	1 1	2 1-3	2 +	.	.
ヤブスゲ	.	+	I +	I 1	.	I +	.	.	.	.	.	.	2 2	2 4-5	1 +	2 +1	.	.
エナンヒゴクサ	.	+	.	I +	.	I +1	I 2	.	.	1 +	.	.	2 2-3	1 1	.	2 5	.	.
ヒゴクサ	.	I +1	.	.	I +	I +2	I +	.	.	.	I 1	II +1	4 2-3	.	.	.	.	.
コジュスゲ	.	+	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	4 +2	.	.	.	.	.
ツボスミレ	.	II +	.	.	.	+	I +	.	.	.	.	.	3 1-2	.	.	.	.	.
ニガナ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 +	.	.	.	.	.
メアオスゲ	.	+ 1	.	.	.	+	.	1 +	.	.	.	.	2 +3	.	.	.	.	.
ジュズスゲ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 +3	.	.	.	.
ヤワラスゲ	.	.	I +	I 1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	2 1-5	.	.	.
シラスゲ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 1	.	.	.
ノハカタカラクサ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	3 4-5	.
ヤブソテツ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	4 +2
イノモトソウ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	2 +3
オクマワラビ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	2 2
クマワラビ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 2
コアソ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 +
コバノヒノキシダ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 +
ナガバヤブソテツ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 1
ヒロハヤブソテツ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 2
ベニシダ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 +





表12. 路傍雑草群落の識別表

- A ハナウド群落
- B ソクズ群落
- C ヤブマオ群落
- D カラムシ群落
- E イスタデ・ツユクサ群落
  - Ea アキノエノコログサ下位単位
    - Ea1 ヤブマメ植分群
    - Ea2 典型植分群
  - Eb 典型下位単位
  - Ec カントウヨメナ下位単位
- F チカラシバ群落
  - Fa キンエノコロ下位単位
  - Fb キンミズヒキ下位単位
- G キンエノコロ群落
  - Ga シマスズメノヒエ下位単位
  - Gb ウシノシツペイ下位単位
- H シャクテリソバ群落
- I タケニグサ・ヨウシュヤマゴボウ群落

	A	B	C	D	E			F		G		H	I	
					Ea		Eb	Ec	Fa	Fb	Ga			Gb
					Ea1	Ea2								
調査区数	5	1	1	6	7	10	5	14	4	5	2	2	4	
平均出現種数	10.2	6.0	12.0	15.3	14.4	9.0	9.2	13.9	11.8	12.6	11.0	6.5	11.5	16.5

群落・下位単位・植分群の識別種

ハナウド	V 4-5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
カモシグサ	IV +-2	.	.	I +	I +	+ 2	.	+ 1	.	.	.	.	.	.
カナムグラ	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 +	.	.
セリハヒエンソウ	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ソクズ	.	1 5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヤブマオ	.	.	1 5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
オギ	IV +-2	1 1	1 1	.	.	.	.	+ 3	.	.	.	1 +	.	.
オオズメノカタビラ	V +-2	.	1 1	I 1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヤエムグラ	IV +-1	1 1	1 1	I +	.	.	I 1	.	.	.	.	2 1	1 1	.
クワイモ	II 1-2	1 +	1 +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
オオブタクサ	II +	1 +	1 +	.	.	I 2	.	.	.	.	.	.	.	.
カラムシ	.	.	.	V 3-5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
オウタチカタバミ	.	.	.	V +-1	I 1	.	.	+ 1	1 +	.	1 2	.	.	.
ネズミムギ	I +	.	.	IV 1-4	.	.	.	+ +	.	.	.	.	.	.
ムラサキツメクサ	.	.	.	IV +-2	.	.	.	.	2 +	.	.	.	.	.
エノギシギシ	.	.	.	III +	I +	.	.	+ 1	.	.	.	.	.	.
ヘラオオハコ	.	.	.	III +-2	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	.
スイバ	.	.	.	III 1-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ワルナスビ	.	.	.	II +-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
コウリナ	.	.	.	II +	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	.
タイヌノフグリ	.	.	.	II +-1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
イスタデ	.	.	.	III +-3	IV 2-3	IV 3-5	V 1-5	.	I 1	.	.	.	1 +	.
ツユクサ	.	.	.	IV +-4	IV +-4	V 2-5	III +-3	.	II +	.	.	.	2 +-3	.
ヒナタイノコズチ	I +	.	.	V +-3	IV +-4	III +-1	IV +-3	.	.	.	.	.	1 2	.
カタバミ	.	.	.	III +-1	I +	II +	II +-1	2 +	.	.	.	.	1 +	.
ウシハコベ	.	.	1 +	III 1-2	+ 1	I 1	I +-2	.	.	.	.	.	2 +-1	.
エノキグサ	.	.	.	.	I +	.	II +-2	.	I +	1 +	.	.	1 +	.
イヌムギ	.	.	.	I +	I 2	I 1	II +	.	.	.	.	.	.	.
イヌビエ	.	.	.	I 2	+ 1	I +	II +-2	.	I +	.	.	.	1 +	.
コヒルガオ	.	.	1 +	.	I +-1	.	I +-1	.	.	.	.	.	.	.
アキノエノコログサ	.	.	.	I 1	III +-3	IV +-3	.	I +-1	1 +	.	1 1	.	1 2	.
コセンダングサ	.	.	.	III +-1	III 1-4	.	.	.	II +	1 1	.	.	1 +	.
オオアレチノギク	.	.	.	I +	II +-2	I +-1	I +	+ +	.	.	.	.	2 +-1	.
シロザ	.	.	.	.	II +-1	I +-1	.	+ +	.	.	.	.	1 1	.
ヤブマメ	.	.	.	.	V 1-3	.	.	.	.	I 4	.	1 1	.	.
ママコシリスグイ	.	.	.	III 1-5	.	.	.	.	I +	.	.	.	.	.
セイタカアワダチソウ	I 1	.	.	III +-2	.	.	+ 1	.	I +	.	1 +	.	.	.
ヒメジョオン	.	.	.	III +-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アキノノゲシ	I 1	.	.	II +-2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
オニドコロ	.	.	.	II +	.	.	.	.	I +	.	.	.	1 +	.
イヌホオズキ	.	.	.	II +-3	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
カントウヨメナ	.	.	.	.	.	.	V +-3	.	II +-1	.	.	.	.	.
ノビル	.	.	.	I +	.	.	I +	.	2 +	.	.	.	.	.
カキドオシ	I 2	.	1 1	.	.	.	III +-2	.	.	.	.	.	1 3	.
ギンギシ	.	.	.	I 1	.	+ +	II +-3	.	.	.	.	.	.	.
オオイヌホオズキ	.	.	.	.	.	+ +	II +-2	.	.	.	.	.	.	.
ヒメオドリコソウ	.	.	1 +	.	.	.	II +-1	.	.	.	.	.	.	.
コゴメガヤツリ	.	.	.	.	.	.	II +-1	.	.	.	.	.	.	.
オヒシバ	.	.	.	.	.	.	II +-2	.	.	.	.	.	.	.
ヒメクグ	.	.	.	.	.	.	II +	.	.	.	.	.	.	.
チカラシバ	.	.	.	.	.	.	II 1-3	4 4-5	V 2-5	.	.	.	.	.
キツネノマゴ	.	.	.	.	.	.	2 1-2	II 1	.	.	.	.	.	.
ブタクサ	.	.	.	I +	.	.	1 +	I 1	.	.	.	.	1 +	.
カゼクサ	.	.	.	.	.	.	1 +	III 1-2	.	.	.	.	.	.
キンエノコロ	.	.	.	I 2	.	.	II +-3	4 1-2	.	2 4-5	2 1	.	.	.
チガヤ	.	.	.	III 1-2	.	.	.	3 2-3	.	.	2 1	.	.	.
ツルボ	.	.	.	.	.	.	.	3 +-1	.	.	.	.	.	.
キンミズヒキ	.	.	.	.	.	.	.	.	V +-2	.	.	.	.	.
ヌスビトハギ	.	.	.	.	.	.	.	.	IV +-2	.	.	.	.	.
ガンクビソウ	.	.	.	.	.	.	.	.	IV +-1	.	.	.	.	.
ネズミノオ	.	.	.	.	.	.	.	.	III +-1	.	.	.	.	.
ナワシロイチゴ	.	.	.	I 1	.	.	.	.	III +	1 +	.	.	.	.
スズメノヒエ	.	.	.	I +	.	.	.	.	III +	.	.	.	.	.
ノコンギク	.	.	.	I +	.	.	.	.	II 1-3	.	.	.	.	.
シマスズメノヒエ	.	.	.	.	.	I +	+ 1	1 +	.	2 1	.	.	.	.
メマツヨイグサ	.	.	.	I +	.	.	.	.	.	2 +	.	.	.	.



表13. 路上雑草群落の識別表

- A ヘビイチゴ-ヤブタビラコ群落
- B コナスビ-ヒメヨツバムグラ群落
- C ツメクサ-ギンゴケ群落
- D コメツブツメクサ-ツボミオオバコ群落
- E ニワゼキショウ-タチチコグサ群落
- F カロリナアオイゴケ群落
- G オオミチヤナギ-スズメノカタビラ群落

	A	A-B 移行部	B	C	D	E	F	G
調査区数	22	8	17	24	11	3	2	5
平均出現種数	18.1	19.8	17.8	7.1	12.2	11.7	13.0	7.4
群落の識別種								
カタハミ	IV +3	IV +3	IV +3	I +1	II +2	1 1	2 +	.
コナスビ	IV +2	IV 1-3	V +2	.	.	1 +	.	.
ウラジロチチコグサ	III +2	V +2	IV +2	II +1	I +2	.	2 +	.
オニタビラコ	III +2	IV +1	IV +3	+ +	.	.	.	.
ヌカボ	III +2	III +3	IV +3	.	.	.	.	.
メアオスゲ	III +2	III 1-2	II +	.	.	.	.	.
ヘクソカズラ	II +1	I +	II +2	.	.	.	.	.
オオイヌノフグリ	II +1	II +	I 1	.	I +	.	.	I +
ヒメスミレ	I +1	I 1	II +1	.	.	.	.	.
キランソウ	I +	II +	+ 1	.	.	.	.	.
ジンバシリ	I +2	I 2	I +3	.	.	.	.	.
トボシガラ	I 1-2	I 2	I +1	.	.	.	.	.
クサイ	I +	I +	I +	.	.	.	.	.
ヘビイチゴ	V +4	IV +3	I 1	.	.	.	.	.
オオイチゴツナギ	IV +2	I +	+ +	.	.	.	.	.
ムラサキサギゴケ	II +3	III +3	.	+ 1	.	.	.	.
ヤブタビラコ	III +3	II +4	.	.	.	.	1 +	.
ツボスミレ	III +4	I 2	.	.	.	.	.	.
ヤブヘビイチゴ	II +3	II +1	.	.	.	.	.	.
マスキサ	II +1	III +1	.	.	.	.	.	.
ケチチミザサ	III +2	I +	+ +	.	.	.	.	.
アオイスミレ	II +3	I +	.	.	.	.	.	.
ミゾイチゴツナギ	I +1	II +1	.	.	.	.	.	.
トウバナ	II 1-3	.	I 2	.	+	.	.	.
ハナタデ	II +1	.	.	.	.	.	.	.
コブナグサ	+ 3	I 2	.	.	.	.	.	.
キュウリグサ	+ +	II 1	IV +3	+ +	II +2	3 +3	.	.
ヒメヨツバムグラ	+ 1	II 1-3	III +3	.	+ +	.	.	.
オッタチカタハミ	+ +	II +2	II +2	.	II +1	1 2	.	.
ハナイバナ	.	III 1	III +1	.	+ +	1 +	.	.
タチツボスミレ	+ +2	II +1	II +2	.	.	.	.	.
チチコグサモドキ	.	I +	II +2	+ +	+ +	.	1 1	.
ハハコグサ	.	I +	II +	+ +	II +	2 +	1 +	.
チチコグサ	.	II +2	II +3	.	.	.	.	.
ナギナタガヤ	.	.	II +3	.	.	.	.	.
ツメクサ	III +3	IV +2	III +2	V 1-4	IV +1	2 +	.	.
ハルジオン	IV +1	II +	III +2	II +2	I +	1 +	1 +	.
セイヨウタンポポ	II +1	IV +1	II +1	II +	I +	1 +	1 +	.
オオアレチノギク	I +	II +	II +1	III +1	I +	1 +	1 +	.
タチイヌノフグリ	I +	III +1	II +	I +	III +	1 +	.	.
オランダミナグサ	I +1	II +1	I +	II +1	III +1	2 +1	.	.
トキワハゼ	I +	I 1	II +1	II +1	II 1	1 +	1 +	.
ギンゴケ	.	.	.	III +3	.	.	.	.
チドメグサ	II +2	.	.	II +5	.	.	.	.
ヒメムカシヨモギ	.	.	I +	II +1	.	.	1 +	.
イヌガラシ	+ +	I +	.	II +1	.	.	.	.
ミチバタガラシ	.	.	.	II +2	.	.	.	.
ツボミオオバコ	.	.	+ +	.	V 1-5	.	.	.
コメツブツメクサ	.	.	I +1	.	III +5	.	.	.
ノミノツヅリ	.	.	+ +1	.	III +2	3 +3	.	.
ヤハズエンドウ	.	I +	.	.	IV +	1 +	.	.
ニワゼキショウ	.	I 1	II +1	.	III +1	3 +4	.	.
アメリカフウロ	+ +	.	I +	.	III +1	1 1	.	.
タチチコグサ	.	.	I +	.	III +3	3 +3	.	.
カロリナアオイゴケ	.	.	.	.	.	2 5	.	.
イヌタデ	+ +1	I 1	.	.	.	2 +	I +	.
オオミチヤナギ	.	.	.	.	.	.	.	V 1-5
コアカザ	.	.	.	.	.	.	.	V +1
ネズミムギ	.	.	.	.	I +	.	.	III +2
イヌビエ	.	.	+ +	.	.	.	.	III +
随伴種								
スズメノカタビラ	III +3	V +3	IV +3	IV +3	V +3	2 2	1 +	V 1-4
オオバコ	IV +3	III +1	I +	II +1	.	.	.	II +3
アカカタハミ	I +1	I +	+ +	II +2	+ +	1 +	.	.
シロツメクサ	I 1-2	II +1	+ +	.	+ +	.	.	I 2
ムシクサ	I +1	.	I +	+ 2-3	+ +	.	.	.
アオカモジグサ	I +	.	I +	.	I +1	.	.	.

スギナ	・	II +	I +-1	・	II +-1	・	・	I 1
イヌムギ	+ +-1	I 1	I +	・	+ 1	・	・	・
イヌワラビ	+ +	II +	I +	・	・	・	・	・
ヤエムグラ	+ +	II +	I +	・	・	・	・	・
カラスビシャク	+ +	・	I +-1	・	・	・	・	・
コハコベ	・	・	+ 1	I +-1	・	・	・	・
タネツケバナ	+ +	・	I 1	+ +	・	・	・	・
ツユクサ	+ +	・	I +-1	・	・	・	1 +	・
ツルボ	+ 1	・	I +	・	+ +	1 +	・	・
ナズナ	・	・	・	+ +	I +	・	・	I 1
ノゲシ	・	I +	+ +	+ +	+ +	・	1 +	・
ノビル	+ 1	I +	I +	・	・	・	・	・
ハキダメギク	+ 1-2	・	・	+ +	・	・	1 +	I +
ヒナキキョウソウ	・	I +	I +	・	I +	・	・	・
ヒメジョオン	I +-1	・	・	・	+ +	・	1 +	・ +
メヒシバ	+ +	・	+ 1	・	・	・	1 +	II +-1
モジズリ	+ +	II +	I +	・	・	・	・	・
ヨツバムグラ	I +-3	・	I +-1	・	・	・	・	・

出現4回以下の種は省略.

表14. 踏跡雑草群落の識別表

- A コスズメガヤ群落
- B ハマズゲ群落
- C オオシバ-アキメヒシバ群落
  - Oa オオバコ下位単位
  - Ob 典型下位単位
- D オオバコクサイ群落
  - Da オオイチゴツナギ下位単位
  - Db 典型下位単位
  - Dc ナズナ下位単位
- E カゼクサ-オオバコ群落
  - Ea スズメノヒエ下位単位
  - Eb 典型下位単位
  - Ec ギョウギシバ下位単位
  - Ed ヘラオオバコ下位単位
    - Ed1 典型植分群
    - Ed2 ナガハグサ植分群
- F カゼクサ-ヤハズソウ群落

	A	B	C			D			E					F
			Ca	Cb	Da	Db	Dc	Ea	Eb	Ec	Ed			
											Ed1	Ed2		
調査区数	12	6	26	8	8	7	7	17	15	6	12	5	9	
平均出現種数	7.3	7.8	10.0	6.1	10.5	7.9	13.3	11.1	8.4	8.5	9.3	11.8	8.1	
群落・下位単位・植分群の識別種														
コスズメガヤ	V 3-5	I 1	+	+	III +-1	.	.	.	.	+	+	.	.	
エノコログサ	IV +-2	I +	+	+	I +	.	.	.	.	+	1	.	.	
アカカタバミ	III +-1	.	+	+-1	.	.	I +	.	.	.	.	.	.	
スベリヒユ	III +-1	I +	+	+	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
コメヒシバ	II +-2	.	.	.	.	.	.	.	+	.	.	.	.	
ハマズゲ	+	V 4-5	+	+	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
コヒルガオ	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
オオシバ	IV +-3	IV +-3	V +-5	V +-5	I 2	I 2	.	IV +-2	V +-4	.	+	2	I +	
メヒシバ	IV +-3	V +-3	II +-3	II +-1	.	I +	.	II +-3	IV +-2	.	II 1-3	I +	.	
コニシソウ	III +-1	I +	II +-1	II +-1	.	.	.	I +	+	+	.	.	.	
アキメヒシバ	+	III +-1	V +-5	V +-3	I 1	I +	.	IV +-4	IV +-4	IV 1-3	V +-4	I 2	II 1-3	
ニワホコリ	.	I 1	III +-4	IV 1-3	.	I +	.	I +-1	II +-3	.	.	.	.	
トキンソウ	+	+	II +-1	I +	.	I 1	.	.	.	.	.	.	.	
コメガヤツリ	.	I +	II +-1	II +-1	.	.	.	.	I +	.	+	+	.	
ミチヤナギ	.	.	I +-4	II +-2	.	.	.	+	+	+	.	.	.	
イヌビエ	.	II +-1	II +-3	.	.	I 1	.	+	I 1	.	.	.	.	
オオバコ	.	II +	V +-3	.	V +-3	V +-4	V +-4	V +-4	V +-4	V +-3	V +-4	II 1-2	I +	
スズメノカタビラ	+	I +	I +-3	.	IV +-3	V +-3	V 1-4	II 1-2	.	IV +-2	II 2-4	II +	.	
シロツメクサ	.	.	IV +-3	.	I 1	III 1-2	IV 1-4	V +-4	IV +-4	V 1-3	V +-2	V 1-3	I 1	
ハルジオン	+	+	II +-2	.	III +	I 2	IV +-2	III +-2	II +-1	II +	II +	I 2	.	
ウラジロチチコグサ	I +	.	I +-2	.	II +	I +	I 1	I +-2	I +-1	.	I +-1	.	.	
オオスズメノカタビラ	.	.	.	.	I +	II 4	II 2-3	I +-2	.	.	I 1-2	II 1-2	.	
イヌガラシ	+	I +	II +-1	.	III +-3	III +	III +-1	I +	+	+	.	.	.	
クサイ	.	.	.	.	V +-4	V 2-4	IV +-3	II +	.	+	1	I 2	.	
ヘビイチゴ	.	.	I +-1	.	IV +-4	I +	V 1-3	III +-1	.	I +	.	I +	.	
ツメクサ	.	.	+	+	III +-2	I +	III +	.	.	I +	.	I +	.	
タチヌノフグリ	.	.	+	+	II +-1	.	III +-2	+	1	.	III 1	II +-1	II 1	
オオイチゴツナギ	.	.	.	.	V 1-2	.	.	.	.	.	.	.	.	
マスクサ	.	.	.	.	II +-4	.	.	.	+	1	.	.	I +	
コナスビ	.	.	.	.	II +-2	.	.	I +	.	.	.	.	.	
ムシクサ	.	.	.	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	
ナズナ	.	.	.	.	.	.	.	IV +-1	.	.	.	+	+	
オオイヌノフグリ	.	I +	+	+	I +	I +	.	IV +-1	.	.	.	+	+	
イヌムギ	.	.	+	1	.	.	.	III 1-2	I +	.	.	.	I +	
オランダミミナグサ	.	.	.	.	.	.	.	IV +-1	+	+	.	.	II +-1	
ムラサキサギゴケ	.	.	+	1	.	.	.	III +-2	I +-2	.	.	.	.	
カゼクサ	.	.	+	+	I +	.	II +-1	III +-3	V +-5	V +-5	IV +-1	V +-3	V +-4	
シマズメノヒエ	.	I +	+	+-1	.	I 1	I +	.	I +-1	I +-2	III 1-3	III +-5	I 1	
シバ	.	I 1	+	1	I +	.	.	.	I 1-2	II +-2	I 1	II 1-2	II 1-2	
スズメノヒエ	.	.	I +-1	.	.	.	I 1	IV +-3	.	II +	.	I +	.	
チドメクサ	.	.	.	.	.	.	I +	II 1-4	.	.	.	.	.	
ギョウギシバ	.	.	I +-2	.	.	.	.	.	+	+	V 1-5	I 1-2	I +	
ホソムギ	.	.	+	+	.	.	.	.	.	.	V 1-3	.	I 1	
ヘラオオバコ	.	.	+	+	.	.	.	.	.	.	.	III +-2	III +-1	
ネズミノオ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	III +-2	.	
ネズミムギ	.	.	.	.	.	.	.	+	+	.	.	II +-2	IV +-3	
マメゲンバイナズナ	.	.	+	+	.	I +	.	I +	.	.	.	III +-2	I +	
ナガハグサ	.	.	+	+	.	I 2	.	+	1	.	I +	.	IV 2-5	
ムラサキツメクサ	.	.	.	.	.	.	.	+	1	.	.	.	III +-3	
ヤハズソウ	.	.	+	1	.	.	.	+	1	.	.	.	.	
ヒメジョオン	+	+	I +	.	.	.	I 1	I +	I +	.	.	.	V 1-5	
メドハギ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	III +	
ヨモギ	.	.	.	.	.	.	.	+	+	+	.	.	II +-1	
随伴種														
セイヨウタンポポ	III +	I +	IV +-2	.	II +	III +	III +	III +-2	I +	I 1	I +	.	I +	
カタバミ	II +-2	II +-1	III +-2	I +	III +	I +	I 1	III +-1	I +	II +	II +	.	II +	
トキワハゼ	.	.	II +-1	II +-1	I +	II +	III +	I +	+	+	.	.	.	
ヒメムカシヨモギ	+	+	+	I +	I +	.	.	.	.	.	+	+	II +	
チチコグサモドキ	I +	I +	+	II +	.	.	.	.	+	+	.	.	I 1	
オウタチカタバミ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	I +	I 1	II +	
ハキダメギク	+	+	+	I +	I +	I +	.	.	.	.	.	.	.	
エノキグサ	+	I +	+	.	.	.	.	+	+	.	.	.	.	
ザクロソウ	I +-1	.	I +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	

出現4回以下の種は省略。

表15. 人工シバ草地の識別表

- A シバ-アキメヒシバ群落  
 Aa 典型下位単位  
   Aa1 典型植分群  
   Aa2 ヒメクグ植分群  
 Ab コニシキソウ下位単位  
 Ac ヤハズソウ下位単位  
 Ad オニウシノケグサ下位単位
- B シバ-ナギナタガヤ群落  
 C シバ-チチコグサ群落  
   Ca キランソウ下位単位  
   Cb 典型下位単位  
   Cc ウリクサ下位単位

	A				B	C			
	Aa1	Aa2	Ab	Ac		Ad	Ca	Cb	Cc
調査区数	5	9	9	7	5	7	5	5	2
平均出現種数	6.8	7.7	12.2	8.7	12.6	11.4	16.6	10.8	11.0
群落・下位単位・植分群の識別種									
アキメヒシバ	V +1	IV +4	V +4	IV +1	II +	.	.	I +	.
シロツメクサ	III 1-2	IV +3	IV +4	II +	IV 1-2	I 1	II +1	I 1	.
カゼクサ	V +4	III +2	I 2	III +1	III 1-2	.	.	.	.
オオハコ	IV +2	III +2	III +2	.	II 1-2	.	I +	I 1	.
メヒシバ	III 1-2	II +	IV +1	II +	.	.	.	.	.
シマスズメノヒエ	II 1-2	III +3	III +3	III +2	.	.	.	I 1	.
ウラジロチチコグサ	.	II +	II 1	II +	.	I +	IV +2	IV 1-3	1 +
カタハミ	.	III +1	II +1	.	I +	.	IV +1	II 2	.
セイヨウタンポポ	.	II +1	III +1	II +	.	I +	III +2	II +	.
ハルシオン	.	III +1	III +	.	I +	.	.	II +1	1 +
ヒメクグ	.	III +2	II +2	.	.	.	I 2	.	.
コニシキソウ	.	.	IV +1	.	.	.	I +	.	2 +-1
オヒシバ	.	.	III +1	I +	.	.	.	.	1 1
コゴメガヤツリ	.	.	III +1	I +	.	.	.	.	1 +
トキワハゼ	.	.	II +	.	.	.	I +	I +	.
ヒメジョオン	.	.	II +	.	.	I +	.	.	.
ヤハズソウ	.	I 1	.	V 1-4	.	II -1	.	.	.
メドハギ	.	.	III +1	.	.	I +	.	.	.
ネズミノオ	.	I 1	III 1-2	.	.	.	.	.	.
オニウシノケグサ	.	I +	.	.	IV +2	I 1	.	.	.
ナガハグサ	.	.	.	.	IV +1	I +	.	.	.
オオスズメノカタビラ	.	.	.	.	III +3	II +1	.	.	.
オオイヌノフグリ	.	.	I +	.	IV +1	.	.	.	.
ムラサキツメクサ	I +	I +	.	I 1	III 2-3	II +2	.	.	.
ヌカホ	.	.	.	.	II +1	.	I 1	.	.
カントウタンポポ	.	I +	.	.	II 1-2	.	I +	I 2	.
タイヌノフグリ	I 2	I +	.	.	III +2	II +	II +1	V +2	.
スズメノカタビラ	I 1	I +	I +	.	III 1-2	.	II +	III 2-4	.
オランダミミナグサ	.	.	.	.	III +1	III +1	I 1	II +	.
ナギナタガヤ	.	.	.	I +	.	V 1-4	.	.	.
オウタチカタハミ	.	.	.	.	I 1	V +1	I +	I 1	.
ニワゼキショウ	.	.	.	.	I +	IV +2	II +	.	.
ネズミムギ	.	.	.	.	I +	III +1	.	.	.
メマツヨイグサ	.	.	I +	I +	.	III +	.	.	.
チチコグサ	.	I +	.	.	.	I +	IV 1-3	V 1-2	2 2-3
モジズリ	.	.	.	I +	.	.	V +1	I 1	.
オオアレチノギク	.	.	II +	.	.	.	II +1	III +1	.
チチコグサモドキ	.	.	I +	.	.	I +	I 1	II +1	.
オニタビラコ	.	.	.	.	.	.	I 1	II +	.
コメヒシバ	.	.	.	.	.	.	I 1	.	2 1-2
メアオスゲ	.	.	.	.	.	.	IV +3	.	.
キランソウ	.	.	.	.	.	.	III +1	.	.
コナスビ	.	.	.	.	.	.	III 1	.	.
スズメノヤリ	.	.	.	.	.	.	III +	.	.
ツメクサ	.	.	.	.	.	I +	II 1	.	.
ヒメヨツバムグラ	.	.	.	.	.	.	II +	.	.
メガルカヤ	.	.	.	.	.	.	II +	.	.
ウリクサ	.	.	I +	.	.	.	.	.	2 1
ヒンジガヤツリ	.	.	.	.	.	.	.	.	2 1
スマレ	.	.	.	.	.	.	.	.	2 +-1
フタバムグラ	.	.	.	.	.	.	.	.	2 +-1
随伴種									
シバ spp.	V 3-5	V 3-5	V 2-5	V 3-5	V 3-5	V 2-5	V 2-5	V 3-5	2 2-4
ヘラオオハコ	.	II +2	.	III +	III 1-2	IV +2	.	I +	.
スズメノヒエ	.	II +1	II +	.	III +1	I	I +	.	.
ヨモギ	.	.	I +	I +	I +	III +	.	.	1 +
ヒメムカシヨモギ	.	.	II +1	I +	.	.	I +	.	.
エノキグサ	.	.	II +	.	.	.	I +	.	.
ギョウギシバ	.	.	II 2	I 2	.	.	.	.	.
コマツツメクサ	.	.	.	.	I +	II +2	.	.	.
チドメグサ	.	.	I +	.	.	.	.	II +1	.
アカカタハミ	.	.	I +	.	.	.	.	I +	.
アメリカフウロ	.	.	I +	.	.	I +	.	.	.
エゾノギシギシ	I +	I +	.	.	.	.	.	.	.
カラスビシャク	.	.	.	.	.	II +	.	.	.
クサイ	I +	.	.	.	I 1	.	.	.	.
コスミレ	.	I 1	.	.	.	.	.	.	1 1
コマツヨイグサ	.	.	.	.	.	II +1	.	.	.
スギナ	.	.	.	.	.	.	I +	I 2	.
スズメノチャヒキ	.	.	.	.	.	II +1	.	.	.
セイタカアワダチソウ	.	.	I +	.	.	I +	.	.	.
チガヤ	.	.	I 1	.	.	I +	.	.	.
トキンソウ	.	.	II +	.	.	.	.	.	.
ナガバギシギシ	.	.	.	.	.	II +	.	.	.
マスクサ	.	.	.	.	.	I +	I 1	.	.
ヤハズエンドウ	I +	.	.	.	.	.	.	I +	.

出現1回の種は省略.

表 16. 水田畦畔雑草群落の識別表

- A オオジシバリ-ミゾカクシ群落  
 B ギンギシ-ナガバギンギシ群落  
 Ba カントウヨメナ下位単位  
   Ba1 典型植分群  
   Ba2 ヤワラスゲ植分群  
   Ba3 ネズミムギ植分群  
 Bb オオカワヂシャ下位単位  
 C ジュズダマ群落  
 D ミソソバ群落  
 E エゾノサヤヌカゲサ-チゴザサ群落

	A		B				C	D	E
			Ba1	Ba3	Ba3	Bb			
調査区数	19	21	18	7	5	6	7	7	9
平均出現種数	14.0	16.1	15.6	15.9	18.2	18.2	8.9	4.0	5.0
群落・下位単位の識別種									
オオジシバリ	V 2-5	III 1-4	I 1-2	III +-3	I 1	.	I 3	.	.
ムラサキサギゴケ	IV +-4	III +-3	+ 1	I 2	I 2	.	I +	.	.
オオバコ	IV +-3	IV +-2	I +-1	II +	I 1	.	.	.	.
ノチドメ	II +-2	III 1-3	.	.	.	.	.	.	.
トキワハゼ	II +-2	III +-1	.	I +	I +	.	.	.	.
ミゾカクシ	II 1-2	III +-5	.	.	.	.	.	.	.
オヘビイチゴ	II +-1	I 1-2	.	I 1	.	.	I +	.	I +
ギョウギシバ	I 1-2	II +-2	+ 1	.	.	.	.	.	.
スカシタゴボウ	II +-2	II +-2	I +-1	.	.	IV +-1	.	.	.
タネツケバナ	II +-1	I +-2	I +	.	.	V +-2	.	.	.
イヌガラシ	I +-1	I +-1	+ +	.	I +	II +	.	.	.
春季相の種									
オオイヌノフグリ	II +	+ +	V +-3	IV +-2	II +	IV +-1	.	.	I +
オランダミミナグサ	IV +-2	.	II +-1	I 1	II +-1	I +	.	.	II +
ヤハズエンドウ	III +-1	.	IV +-2	IV +-2	III +-3	III +-1	I +	.	I +
スズメノカタビラ	III +-3	+ +	II +-3	I +	.	IV +	.	.	.
スズメノテッポウ	II +-2	.	I +-1	I +	.	II +-1	.	.	.
ムシクサ	II +-2	.	.	I +	I +	III +-1	.	.	.
ツメクサ	II +-1	.	.	.	I +	.	.	.	.
コオニタビラコ	II +-1	.	+ +	.	I 1	.	.	.	.
夏季相の種									
メヒシバ	.	V +-4	II +-4	.	.	.	IV +-2	I +	I +
ヒメクグ	+ +	V +-4	+ 2	.	.	.	.	.	II +
ヒデリコ	.	IV +-3	.	.	.	.	.	.	I +
イヌビエ	.	III 1-3	+ +	.	.	.	.	I 1	II +
アメリカアゼナ	.	III +-2	.	.	.	.	.	.	.
アメリカカタカサブロウ	.	III +-2	.	.	.	.	II +	.	.
チョウジタデ	.	II +-1	.	.	.	.	I +	.	I +
コゴメガヤツリ	.	II +-3	I +	.	.	.	I +	.	.
ヒメヒラテツツキ	.	II +-2	.	.	.	.	.	.	.
タカサブロウ	.	II +-2	.	.	.	.	.	.	I +
群落・下位単位・植分群の識別種									
カントウヨメナ	V 1-4	V +-3	IV +-2	IV +-1	I 2	.	II +-1	.	II +
ヘビイチゴ	III +-3	III +-2	II +-3	III 1-2	II +-3	.	.	.	.
ハルジオン	III +-2	II +-1	II +-2	I 1	III 1	.	I +	.	.
ケキツネノボタン	I +	II +-1	I +	II +-2	II +	.	.	.	.
ギンギシ	II +-2	III +-2	V 2-5	III +-4	.	V 1-3	II +-1	I +	I +
カモジグサ	I 1-2	.	III +-3	III +-2	I 1	III +-1	.	.	.
ナズナ	I +	.	II +-3	I 1	II +-2	IV +-1	.	.	.
ヨモギ	+ 1	+ +	II +-2	.	II +	IV +	I 1	.	.
コハコベ	.	.	III +-2	III +-2	I +	I +	.	.	.
エゾノギンギシ	.	.	II +-3	.	.	V +-1	.	.	.
ノゲン	.	.	I +-1	I +	II +-1	III +-1	.	.	.
ウシハコベ	.	.	I +-2	I +	I +	IV +-2	I +	.	.
カタバミ	I +-1	+ +-1	III +-1	II +	II +	.	I +	.	.
セイヨウタンポポ	I +	+ +	II +-1	III +	II +-1	.	.	.	.
ヤエムグラ	.	.	II +-3	III +-1	III +	.	.	.	.
イヌムギ	I 1	.	IV +-4	I 3	II +-1	.	.	.	.
アメリカフウロ	I +	.	III +-2	III +-2	II +-2	.	.	.	.
ヒメオドリコンウ	I +-1	.	II +-3	III +-2	III +	.	.	.	.
ノビル	I +	.	III 1-3	I +	II +	.	I +	.	.
タチイヌノフグリ	I +-2	.	I 1-2	III +-1	III +	.	.	.	.
ホトケノザ	+ +	.	II +-1	I 2	.	.	.	.	.
ヒガンバナ	.	I +-1	I +-1	III +-1	.	.	.	.	.
オニタビラコ	I +	.	I +	III +-1	I +	.	.	.	.
コヒルガオ	.	+ +	I +-1	I +	III +-1	.	.	.	.
アレチギンギシ	.	.	I +-2	I 1	I 3	.	.	.	.
ヤワラスゲ	.	.	.	IV 3-5	.	.	.	.	.
ジャノヒゲ	+ 1	.	.	III 2-3	.	.	I 1	I 1	.
カキドオシ	.	.	.	III +-3	.	.	I 1	I 1	.
ヒカゲスゲ	.	.	.	II 1	.	.	.	.	.
ナガバギシギシ	.	.	.	.	V 2-4	V +-2	.	.	.
ネズミムギ	.	.	.	.	IV +-4	V 3-4	.	.	.
オオスズメノカタビラ	.	.	.	.	III 2-4	.	.	.	.
オオカワヂシャ	.	+ +	.	.	.	V 2-3	.	.	.
オランダガラシ	.	.	.	.	.	IV +-1	.	.	.
クサヨシ	.	+ 1	.	I 2	I 1	III +-1	.	I +	.
カキネガラシ	.	.	.	.	.	IV +-2	.	.	.
セイヨウカラシナ	.	.	.	.	.	IV +-1	.	.	.
タガラシ	.	.	.	.	.	III +	.	.	.
ジュズダマ	.	.	.	I 2	.	.	V 4-5	I +	.
ツユクサ	.	+ +	I +	.	I +	.	V +-1	II +-1	III +-2

イヌタデ	·	I +-1	I +	·	·	·	·	III +-1	I +	III +
ミゾソバ	·	·	·	·	·	·	I 1	V 5	III 1-2	
エゾノサヤヌカグサ	·	+	+	·	I 1	·	·	·	I +	IV 1-5
チゴザサ	·	+	+	·	·	·	·	·	·	III 3-5
アシカキ	·	·	·	·	I +	·	·	·	·	II 1-4
随伴種										
セリ	II +-3	II +-1	+	+	II +-1	II +-1	I +	III +	III +-1	·
キュウリグサ	+ 1	+	+	I 1	I +	II +	I +	·	·	·
スズメノヒエ	I +	I +-1	+	1	·	·	·	·	·	·
ノミノフスマ	I +-1	I +	·	·	·	·	·	·	·	I +
スギナ	+	+	+	+	·	I 1	I +	·	·	·
ハハコグサ	I +	·	+	+	·	I +	I +	·	·	·
ヒナタイノコズチ	·	·	·	I +-1	I 2	·	·	III +-1	·	·
オオアレチノギク	·	·	·	I +	·	I +	I +	·	·	·
スズメノエンドウ	I +-1	·	·	·	·	II 1	·	·	·	·
ヒメジョオン	+	+	·	·	I +	·	I +	II +	·	·
ヤブカンゾウ	+	+	+	+-1	+	1	I 3	·	I +	·
オヒシバ	·	·	I +-1	·	·	·	·	·	·	·
シロツメクサ	+ 2	+	+-2	+	2	·	·	·	·	·
セイタカアワダチソウ	I +	·	·	+	1	·	·	·	I +	·
トキンソウ	·	·	I +-3	·	·	·	·	·	·	·
ヘクソカズラ	·	·	·	+	1	II +	·	·	I +	·
マスクサ	I 1	·	·	+	+	·	·	·	·	·

出現3回以下の種は省略.



表17. 水田雑草群落の識別表

- A ケキツネノボタン-ノミノフスマ群落  
 Aa セトガヤ下位単位  
   Aa1 キツネアザミ植分群  
   Aa2 典型植分群  
 Ab 典型下位単位  
   Ab1 キツネアザミ植分群  
   Ab2 典型植分群  
 B キシュウスズメノヒエ群落  
 C アゼガヤ群落  
 D タマガヤツリ-アゼナ群落  
 Da マツバイ下位単位  
 Db 典型下位単位  
 E コナギ-オモダカ群落  
 Ea アゼナ下位単位  
 Eb 典型下位単位  
 F サクラタデ-クログワイ群落

	A				B	C	D		E		F
	Aa		Ab				Da	Db	Ea	Eb	
	Aa1	Aa2	Ab1	Ab2							
調査区数	20	16	11	6	3	2	10	5	13	11	4
平均出現種数	14.3	11.0	12.1	7.2	5.0	8.0	10.2	8.2	8.1	5.2	7.0

群落・下位単位・植分群の識別種

コオニタビラコ	V +3	V +4	V +3	V +	.	.	.	.	.	.	.	
スズメノテッポウ	V 1-5	V +5	V 1-4	V 2-5	.	.	II +1	I +	.	.	.	
スズメノカタビラ	V +4	V +3	V +4	V 1-3	.	.	.	.	.	.	.	
ムシクサ	IV +3	IV +2	III 1-2	IV +1	.	.	.	.	.	.	.	
タネツケバナ	II +3	III +1	IV +5	III +2	.	.	II +1	I +	.	.	.	
ゲンゲ	III +4	IV +4	IV +4	II +3	.	.	.	.	.	.	.	
ノミノフスマ	IV +3	IV +3	III +2	III +1	.	.	+	.	.	.	.	
ナズナ	II +2	III +1	IV +3	III +2	.	.	.	.	.	.	.	
ハハコグサ	IV +2	II +	IV +	.	.	.	.	.	.	.	.	
オランダミミナグサ	III +3	III +2	II +	III +2	.	.	.	.	.	.	.	
アメリカフウロ	III +1	II +	II +1	II +	.	.	.	.	.	.	.	
ツメクサ	II +1	II +2	III +1	II +	.	.	.	.	.	.	.	
ケキツネノボタン	II +1	II +1	III +1	I +	.	.	.	.	.	.	.	
トキワハゼ	V +2	III +1	.	.	.	.	I +	.	.	.	.	
ヤハズエンドウ	IV +3	IV +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
セトガヤ	III +4	III 1-5	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
ヒメムカシヨモギ	II +1	I +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
ハナイバナ	II +1	I +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
カズノコグサ	+ 4	III +4	.	.	.	.	.	.	.	.	.	
キュウリグサ	III +2	.	IV +1	.	.	.	.	.	.	.	.	
キツネアザミ	III +2	.	IV +2	.	.	.	.	.	.	.	.	
オオアレチノギク	II +1	.	I +1	.	.	.	.	.	.	.	.	
スカンタゴボウ	II +2	.	I +1	.	.	.	I +	.	+	.	.	
オオイヌフグリ	I +	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	
ギンギン	I +	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	
ムラサキサギゴケ	+ 1	.	II +2	.	.	.	.	.	.	.	.	
キシュウスズメノヒエ	.	.	.	.	3 5	.	.	.	I +1	+ 1	.	
ツユクサ	.	.	.	.	2 +1	.	.	.	.	.	.	
アゼガヤ	.	.	.	.	2 5	.	.	.	.	.	.	
アメリカアゼナ	.	.	.	.	1 +	2 +1	V 1-3	IV +4	V +3	I +3	1 +	
アメリカカタカサブロウ	.	.	.	.	2 +	2 +1	III +2	V +1	II +4	III +1	1 +	
チョウジタデ	.	.	.	.	1 +	2 +	I +1	IV 1-2	III +3	III +	.	
タマガヤツリ	.	.	.	.	.	2 +	IV +2	IV 1-3	V +2	.	.	
アゼナ	.	.	.	.	1 1	1 +	V +3	IV +4	IV +3	+	.	
ヒメミソハギ	.	.	.	.	.	.	III +2	IV +2	I +2	.	.	
キカシグサ	.	.	.	.	.	.	IV +2	II +3	I +1	.	.	
イヌホタルイ	.	.	.	.	.	.	I 1	III +3	II +1	.	.	
ヒデリコ	.	.	.	.	.	.	II +2	I +	I +	.	.	
タカサブロウ	.	.	.	.	.	.	I +	I 2	II 1-2	.	.	
ホソバヒメミソハギ	.	.	.	.	.	.	+ 1	.	II +3	.	.	
トキンソウ	.	.	.	.	1 +	.	V +3	.	.	+ 1	.	
マツバイ	.	.	.	.	.	.	IV 2-4	.	.	+ 2	.	
ミズマツバ	.	.	.	.	.	.	II +	.	.	.	.	
コナギ	.	.	.	.	1 +	.	II +2	I +	V +4	V +5	2 +1	
セリ	I +	I 2-3	.	II +	2 +1	1 +	+	+	III +1	III +1	4 +3	
オモダカ	.	.	.	.	.	1 +	.	I 1	II +2	IV +3	4 +2	
イボクサ	.	.	.	.	.	2 2	.	.	+	+2	III 1-5	3 1-3
タイヌビエ	.	.	.	.	.	.	.	.	II +2	+	+	1 +
サクラタデ	.	.	.	.	1 +	.	.	I +	.	.	.	4 1-5
クログワイ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	2 1-2
イヌタデ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	2 +1
随伴種	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
イネ	.	.	.	.	.	.	II 2-5	I 2	IV 2-5	V 3-5	2 5	.
カントウヨメナ	I +	+	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1 +
ミミナグサ	I +2	.	I +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.
コメガヤツリ	.	.	.	.	.	.	+	.	II +2	.	.	.
コハコベ	+ 1	.	II +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.
スズメノエンドウ	I +2	+ 1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
イヌビエ	.	.	.	.	.	.	+ 1	II 1	.	.	.	.
ウシハコベ	+	+	I +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.
カスマグサ	+ +1	I +	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ノミノツヅリ	+ 1	I +2	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ヒナガヤツリ	.	.	.	.	.	.	I 1	.	+ 1	.	.	.
ミソソバ	.	.	.	.	1 +	.	.	.	.	.	.	I +

出現2回以下の種は省略.

表18. 畑地雑草群落の識別表

- A コハコベ-ホトケノザ群落  
 Aa ヒメオドリコソウ下位単位  
 Ab 典型下位単位  
 B サナエタデ-スズメノテッポウ群落  
 C ハルタデ-コアカザ群落  
 Ca 典型下位単位  
 Cb オオエノコロ下位単位  
 D ホソアオゲイトウ群落  
 E スベリヒユ-コニシキソウ群落  
 Ea 典型下位単位  
 Eb トキンソウ下位単位  
 F ウリクサ-トキンソウ群落  
 Fa アゼナ下位単位  
 Fb 典型下位単位  
 Fc ヒメカンソウ下位単位

	A		B	C		D	E		F		
	Aa	Ab		Ca	Cb		Ea	Eb	Fa	Fb	Fc
調査区数	24	19	6	6	5	5	23	24	11	8	5
平均出現種数	8.8	6.7	7.3	9.7	12.0	6.6	10.0	14.2	12.8	11.0	15.4

群落・下位単位の識別種

ホトケノザ	V +4	V +5	.	I +	.	.	II +1	II +	.	I 1	.
オオイヌノフグリ	III +5	III +3	.	I +	.	.	I +	+	+	.	.
オランダミミナグサ	III +4	III +2	I +	II +	I 1	.	+	+	+	.	.
ノボロギク	+ 3	II +2	.	.	.	.	+	+	.	.	.
ヒメオドリコソウ	III +4	.	.	I +	.	.	.	+	.	.	.
ヤハズエンドウ	III +3	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ミドリハコベ	II +5	.	.	I +	.	.	.	.	.	.	.
アメリカフウロ	II +2	.	.	.	.	.	+	+	1	.	.
ヤエムグラ	II +4	.	.	.	I 1	.	.	.	.	.	.
タチイヌノフグリ	II +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ナズナ	IV +5	IV +4	V +2	III +2	III +	.	+	1	II +1	.	II +2
コハコベ	III +4	V +5	I +	IV +1	II +2	.	I +1	.	.	.	.
スズメカタビラ	III +4	IV +4	IV +2	III +1	II +	.	.	+	+	III +1	I +
スズメノテッポウ	II +3	II 1-4	V +4	I +	.	.	.	.	.	.	.
サナエタデ	+ 2	.	V 1-5	I +	.	.	.	.	.	.	.
ノミノフスマ	.	.	II +3	.	.	.	.	.	.	.	.
コアカザ	.	.	III +4	V 2-5	V 1-4	II +	.	+	+	.	.
スカシタゴボウ	I +2	.	III +2	III +	II 2	.	II +1	+	1	.	.
ハルタデ	.	.	.	V +3	V 1-5	II +2	+	+	.	.	.
シロザ	+ 1	.	.	II +2	III +4	I +	II +2	I +	.	.	.
スギナ	I 1-3	.	.	IV 1-2	IV +2	I +	+	+	1	I +	.
イヌタデ	.	.	I +	.	II +1	.	.	.	.	.	.
ツユクサ	.	.	.	.	III +1	.	+	+	.	.	.
オオエノコロ	.	.	.	.	II +	.	+	+	1	1	.
アキノエノコログサ	.	.	.	.	II 2-3	.	.	.	.	.	.
ホソアオゲイトウ	.	.	.	I +	V 3-5	I 1-2	+	+	.	.	.
ハキダメギク	.	.	.	I 1	IV +1	IV +3	IV +5	IV +3	.	.	I +
メヒシバ	.	.	II 1	.	.	V +2	V +3	IV +3	III +1	III +2	III +
スベリヒユ	.	.	.	.	.	III 1-2	V +5	V +3	II +	II +	I +
コメギヤツリ	.	.	.	.	.	I +	IV +3	V +3	I +1	II +	.
ゴウシュウアリタソウ	.	.	.	.	.	.	III +5	III +3	II +1	.	.
イヌビユ	.	.	.	.	.	.	III +3	+	+	.	.
コニシキソウ	.	.	.	.	.	.	III +2	IV +2	IV +1	V +3	V +2
カタバミ	+ 1	I 1	.	I +	.	.	II +3	III +2	IV +3	IV +3	V +2
オヒシバ	.	.	.	.	.	.	III +3	III +2	I 1-2	II +1	IV +2
ザクロソウ	.	.	.	.	.	.	III +3	III +4	III +1	II +4	III +1
ニワホコリ	.	.	.	.	.	.	II +1	III +3	V +3	IV +3	V +
エノキグサ	.	.	.	.	.	I +	II +1	II +1	+	II +1	III +1
ハルジオン	+ +	.	.	I +	.	.	+	+	+	1	IV +2
コスズメガヤ	.	.	.	.	.	.	I +3	I 1-2	+	+	II +1
トキンソウ	.	.	.	.	.	.	III +3	V +3	III 2	II 1-4	.
ウリクサ	.	.	.	.	.	.	II +1	V +2	V 1-4	IV 3-4	.
トキワハゼ	+ +	+ 1	.	.	.	.	IV +1	V +3	II +	V +2	.
チチコグサモドキ	I +1	II +2	.	I +	.	.	III +1	III +1	II +2	I +	.
ハハコグサ	I +2	II +1	I +	.	.	.	II +	III +1	II +1	III +	.
タネツケバナ	I +1	I +	III +3	.	.	.	II +1	II +	I +	.	.
ウラジロチチコグサ	+ +	+	.	.	.	.	II +	II +1	IV +2	II +1	.
ツメクサ	.	+ +	.	.	.	.	.	I +	IV +1	.	I +
アゼナ	.	.	.	.	.	.	.	+	+	III +2	.
フタバムグラ	.	.	.	.	.	.	+	+	II +2	.	.
ツボミオオバコ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	III +1
ヒメカンソウ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	III +1
コナスビ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	II +1
オッタチカタバミ	.	.	.	III +1	.	.	.	.	+	1	II +
随伴種											
ノゲシ	+ +	II +1	.	I +	.	.	+	+	II +1	.	I +
イヌガラシ	.	+	.	I +	.	.	.	I +1	II +1	I +	II +1
アカカタバミ	+ +	.	.	.	.	.	+	+	.	III +1	II +2
オオアレチノギク	+ +	II +1	I +	I 1	.	.	.	+	+	.	.
コヒルガオ	+ 1	.	.	I +	I +	I +	+	+	+	.	.
イヌビエ	.	.	.	.	I 1	II +	+	+	I +	.	.
アメリカカタサブロウ	.	.	.	.	.	I 1	I +2	I +1	.	.	.
キュウリグサ	+ +1	I +	.	.	.	.	.	+	+	II +1	I +
コメヒシバ	.	.	.	.	.	.	+	+	2	I +1	II 1
ヒメムカシヨモギ	+ +	II +1	.	I +	.	.	.	.	+	+	.
ネズミムギ	+ 4	I +2	.	I 2	.	.	.	+	.	.	.
クワクサ	.	.	.	I +	.	.	+	I +	.	.	.
ウシハコベ	I +	+	.	I +	.	.	.	.	.	.	.
ハナイバナ	.	.	.	.	.	.	+	3	+	+	.
オオムギ	.	.	I 4	III 1-4	.	.	.	.	.	.	.
ヒメジョオン	+ 1	+	.	.	.	.	.	+	+	.	.
ヨモギ	+ +	.	.	I +	.	.	.	+	+	.	.
エノコログサ	.	.	.	.	.	.	I +	+	.	.	.
イヌムギ	I +1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
ホウレンソウ	.	I 1-3	II 3-4	.	.	.	.	.	.	.	.

出現3回以下の種は省略。

表19. 空地多年生雑草群落の識別表

	A			B			C		D		E		F			G			H			I		J
	Ba	Bb	Bc						Ea	Eb			Ga	Gb	Gc	Ha	Hb1	Hb2	Ia	Ib				
調査区数	14	6	7	5	4	11	10	4	5	12	6	5	12	11	9	6	11	9	6	11	11	4		
平均出現種数	10.4	14.7	11.6	11.0	13.5	9.9	11.3	20.0	14.6	13.3	16.8	12.0	15.3	17.3	15.4	19.8	12.8	15.6	17.3					
群落・下位単位の識別種																								
クワイモ	V 5		I 1	2 +	+	+	II +2				I +		I +1	+ 1	I 1									
オギ	III +		II +1	1 1						I 1	+	+	II +		+	+		I +		+	+	1 +		
クサヨシ	II +1																							
イタドリ	III +1	V 5	V 5	V 4-5		+	+	I +			+						II +1	II +						
ノミノツリ		IV +														I +1					+	+		
コモチマンネグサ	+ 1	III +1																I +						
イチゴツナギ		III +2									+							I +						
ツルマンネグサ		II 1-2									+							I 1	I 2					
ヤナギハヒメジョオン		II +			1 +													I +						
コマツナギ		II +1																						
コセンダングサ	+			III +1	1 +	+	+	I +		I 1	II +	I 1		+	+			II +1	I +3					
スギナ	+			II +1		+	+	+		I 1	I +	II 1-3	III +1	II +1	II +3	I +	I +		II +1	2 +				
ナフシロイチゴ	II +1			II +		+	+			I 1	I +	I +		+	+									
セイタカアワダチソウ	+ 1	III +1	I +	I 1	4 5	V 5		3 +1	IV +2	III +3			V +1	IV +1				I +	III +2	II +2	I +1			
セイバンモロコシ	+ 1							V 4-5							II +1			I 1	II +1					
ホソアオゲイトウ								II +																
メリケンカルカヤ								+		4 3-4	V +5	+									+			
ヤハズソウ										2 +	II +	I +1	I +	I 1							+	+		
ジンバリ										3 +1														
タケニグサ										4 +														
コブナグサ										3 +3											+	2		
スカボ										3 1-2														
コナスビ										3 1-2												+		
ヘビイチゴ										3 1												+		
ワルナスビ					1 +		+	+		2 +2					+							+		
モズリ										2 +		+	+	I +		+						+		
ニワゼキショウ										2 +					+	+	I +				+	I +1		
ススキ				I +																				
トダシバ																								
メドハギ		I +			2 +1	+	+	II +2		I +														
アズマネザサ				I +																				
チガヤ		I 1		I +		+	+	I +		I 2	+		V 4-5	V 3-5	V 1-5	I 1-2	II 1-2	I +	+	I +1	1 1			
コヒルガオ				II +		+	+	1 +	I +				III +	III +1	II +	+		III +1		+	+	1 +		
ヒメムカシモギ		I +						I +	1 1	I +			III +1					II +1	II +					
ガガイモ	I +				1 +		+	+				II +1						II +1	II +					
ツユクサ				I 1				I +					III +2					I +						
アオカモジグサ	+ 1	II +1			1 +	+	+						III +3					I +1	I 2	II +		+		
アメリカワロ		I 1						1 +					III +					II +1	II +			1 2		
オニウシノケグサ	I +	II +2			3 +1	+	+	I +1		I 1	I +1							III +2	V 3-5	V 3-5	V 3-5	+		
オランダミナグサ	+	I +																III +1	II +	II +	I +1	+		
ムラサキツメクサ				I +				I +		I 2	+							IV +4	V +4	II +2	II +1	II +2		
ナガハグサ																		IV +3				I +		
ハルジオン	+		I +				+	+	2 +1		+	+	II +	I 1	II +			III +1				IV +3		
アオスゲ																		II +1		I +		+		
ヤブカンゾウ	I +1																	II +1						
メマツヨイグサ			I +					I +	1 +	II +1								III +	III +1		+	+		
エゾノギンギク																		III +	III +2			II +1		
テリハノイハバ		I +		I 1						I +2								III +	III +2			3 1-2		
アキノエノコログサ					IV +2	II +1	1 1	II +	+	1 1	+		I +	I 1	+			III 1-2			I +1	+		
オオアレチノギク			I +				+	+	+	1 +	II +1	+	I +	II +1				IV +2			+			
クズ	+							+	+					II +1				III +						
セイヨウタンポポ			I +					I +1	2 +1	II +1	+		I 1		+			II +	III +	V +3	4 2			
シロツメクサ																		III +2	III +2	IV +3	3 1-2			
シマスズメノヒエ									1 +	I 1	+													
ギョウギンシバ																								
メヒシバ	I +			II +			II +1	III +2	3 +3	I +	I +2		II 1-3	II +2	II +2	+								
カゼクサ									1 2			II +1												
アキメシバ									1 +															
オオバコ																						I +2		
ウラボシチヂク										I +	+													
カタハミ									2 +1	II +1	I +	I 1	I +	+								V +		
オオイスノフグリ	+		I +		1 +						+											II +1		
イヌムギ											+											+		
アレチギンギク		I +																				+		
キュウリグサ																						+		
春季相の種																								
オオスズメノカタビラ	III 1-2	IV +1	III +2																			+		
ナガバギンギク	III +1	I +	III +2		2 +1						+											+		
タチイヌノフグリ	+	I 1			1 +																	+		
スズメノチャヒキ	II +2	III 1-2	III +		1 1						+		I 1									+		



表20. 空地一年生雑草群落(春季)の識別表

- A イヌムギ-ヤハズエンドウ群落
  - Aa スズメノエンドウ下位単位
    - Aa1 コマツヨイグサ植分群
    - Aa2 ヒメジョオン植分群
  - Ab コハコベ下位単位
    - Ab1 ヒメジョオン植分群
    - Ab2 典型植分群
  - Ac 典型下位単位
    - Ac1 典型下位単位
    - Ac2 ネズミムギ植分群
- B カラスムギ群落

	A						B
	Aa		Ab		Ac		
	Aa1	Aa2	Ab1	Ab2	Ac1	Ac2	
調査区数	9	9	17	15	5	13	4
平均出現種数	14.7	19.4	16.1	11.3	13.2	11.4	11.5

群落・下位単位・植分群の識別種

イヌムギ	IV +-3	IV +-4	IV +-3	IV 1-5	5 1-4	III 1-5	.
ヒメオドリコソウ	.	III +-1	IV +-3	V +-3	3 +	III +-2	.
ナズナ	III +-2	II +-2	IV +-3	II +-3	2 +-1	II +-2	.
カモシグサ	I 4	II +-2	III +-3	III +-3	2 1-3	II 1-3	.
セイヨウタンポポ	I +	IV +-3	III +-3	II +-2	4 +-2	II 1-3	.
スズメノカタビラ	IV +-1	II +-1	III +-3	II +-2	1 2	II 1-2	.
ヨモギ	II +	IV +-1	II +	+	.	II +-1	.
キュウリグサ	IV +-2	II +-1	I +-1	I +	2 +	I +-2	.
オウタチカタバミ	IV +-2	II +-1	I +	.	1 1	.	1 1
メマツヨイグサ	III +-2	III +-2	.	.	.	+	.
スズメノエンドウ	III 2-5	III 1-3	.	.	.	+	.
コマツツツメクサ	II 1	II +-2	.	.	.	.	1 +
ハハコグサ	III +-1	II +	I +	+	.	.	.
オニノゲシ	IV +-3	I +	.	.	.	+	.
コマツヨイグサ	III +-5	I +	.	.	.	.	.
ノミノツツリ	III +-1	.	.	.	.	.	.
アオカモシグサ	III +-2	I +	.	.	.	+	.
キキョウソウ	II +-1	.	.	.	.	.	.
ネズミムギ	I 1	III 1-4	I 2-3	.	.	IV +-5	4 1-4
ヒメジョオン	I +	IV +-1	II +-1	.	.	I +	1 +
エゾノギンギシ	.	II +-1	III +-4	.	.	II +-3	2 +-3
ギンギシ	.	II +-1	II +-2	.	.	III +-1	.
オニタビラコ	.	III +-2	II +-2	.	.	.	.
セイタカアワダチソウ	.	III +-1	.	.	.	+	1 +
コハコベ	.	II +-1	IV +-3	III +-4	.	.	.
ノビル	.	.	III +-2	III +-3	.	.	1 +
ホトケノザ	.	.	III +-2	II +-2	.	.	.
ミドリハコベ	.	.	II +-3	II +-3	.	.	.
スイバ	.	I +	II 1-3	I +-3	.	+	.
ヘビイチゴ	.	.	II +-1	I +-1	.	.	.
カラスムギ	.	.	.	.	.	.	4 3-5
アオスゲ	.	.	.	+	.	.	2 +
随伴種							
ヤハズエンドウ	IV +-4	V +-5	IV +-2	IV +-4	3 2-5	IV +-4	3 +-2
オオイヌノフグリ	II 1-2	V +-1	IV +-4	III 1-3	3 +	III +-1	2 +-1
ヤエムグラ	II +-2	III +-1	III +-5	IV +-4	2 +-1	III +-3	1 1
アメリカフウロ	IV 1-4	III +-2	III +-3	II +-2	1 +	III +-1	1 1
タチイヌノフグリ	III +-1	IV +-3	II +-2	I +-2	3 1	IV +-2	2 +-1
オランダミミナグサ	I 1	III +-2	II +-3	II 1-2	4 +-1	II +-3	3 +
スギナ	III +-1	III +-4	II +-1	+	1 2	II +-4	3 +-1
ノゲシ	.	IV +-3	III +-2	I +-1	4 1	I +-1	1 +
ハルジオン	I +	III +-2	III +-3	I +-1	2 +-1	II +-1	1 1
カタバミ	II +-1	II +-1	III +-1	I 1	2 +	II +	1 +
コヒルガオ	.	I 2	I +	II +-1	2 +-1	II +-1	.
オオアレチノギク	II 1-2	II +-2	II +-1	+	+	.	1 +
ウシハコベ	.	I 1	II +-1	+	+	I +-2	.
ウラボシチチコグサ	I +	II +	II +	.	1 1	.	.
ツユクサ	I +	I +	+	+	2 +	+	.
ムラサキツメクサ	I +	.	I +-3	+	+	I +	1 +
ヤブガラシ	.	II +	I +	+	1 +	+	.
オオスズメノカタビラ	.	II 1-2	.	.	1 3	+	1 2
スズメノテッポウ	I +	I +	+	I +-1	.	.	.
ヘクソカズラ	I +	.	.	+	1 2	I +-1	.
イタドリ	.	I +	.	+	.	I +	.
タネツケバナ	.	I +	+	I +	.	.	.
ナガミヒナゲシ	I 3	II +	.	+	.	.	.
アレチギンギシ	I 4	.	.	.	2 +-3	.	.
イヌガラシ	I +	.	.	.	1 1	+	.
オオバコ	.	.	I +	.	.	.	.
オニウシノケグサ	.	.	+	+	1 2	+	.
コナスビ	I +	.	.	.	.	+	1 +
シロツメクサ	II +	.	.	.	1 3	.	.
セイヨウアブラナ	.	I +	.	.	.	+	1 1
ヒルガオ	.	.	+	.	.	+	1 +

出現2回以下の種は省略.

表21. 空地一年生雑草群落(夏季)の識別表

- A イスビエ-オオクサキ群落  
 Aa 典型下位単位  
 Ab マルバヤハズソウ下位単位  
 Ab1 スベリヒユ植分群  
 Ab2 アキメヒシバ植分群  
 B シロザ-オオイスダテ群落  
 Ba オオブタクサ下位単位  
 Bb コセンダングサ下位単位  
 C オオブタクサ群落  
 D ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落  
 E メヒシバ-アキノエノコログサ群落  
 Ea ハキダメギク下位単位  
 Eb 典型下位単位  
 Ec ワルナスビ下位単位  
 Ed キンエノコロ下位単位

	A			B		C	D	Ea			
	Aa	Ab		Ba	Bb			Ea	Eb	Ec	Ed
		Ab1	Ab2								
調査区数	5	9	13	14	21	16	19	15	9	5	21
平均出現種数	20.2	32.2	29.5	27.8	24.3	19.9	23.9	19.4	18.9	23.6	21.7
群落・下位単位・植分群の識別種											
イスビエ	IV 1-3	V +4	V +-3	III +-1	III +-2	.	I +-2	III 1-5	II 2-3	.	I 1-3
オヒシバ	III +-1	V +-3	IV +-2	II +	+	.	+	II +-2	II 2	II +-1	I +
オオクサキ	V 2-5	IV +-2	V +-4	II +-1	+	+	.	.	.	.	.
マルバヤハズソウ	.	V +-1	IV +-2	III +-2	.	.	.	.	.	.	+
メドハギ	.	IV +-1	IV +	III +-1	.	II +	.	.	.	I +	.
メマツヨイグサ	.	V +-1	II +-1	III +-1	+	+	I +	+	.	I 1	+
コスズメガヤ	I +	V +-2	IV +-2	I +-1	+	.	I +-2	+	I 1	.	+
コゴメガヤツリ	.	V +-3	II +	II +-1	+	.	+	I 1-2	.	.	.
オオニシキソウ	.	III +-2	IV +	+	.	.	.	.	.	I 1	I +-1
ムラサキエノコロ	.	II +	IV +-1	III +-1	.	.	.	.	.	I 1	.
シロツメクサ	.	II +	II +-1	II +	+	.	I +	.	.	.	+
スベリヒユ	.	V +-1	.	+	.	.	.	II +-1	.	.	.
コマツヨイグサ	.	IV +-1	I +	.	.	.	.	.	.	.	+
カヤツリグサ	.	III +-1	+	.	.	.	+	II 1-2	II +-1	.	.
ザクロソウ	.	III +	.	.	.	.	+	.	.	.	.
シナダレスズメガヤ	.	III +	.	+	.	.	.	.	.	.	.
イヌホオズキsp.	.	III +	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アオガヤツリ	.	II +	.	.	.	.	.	.	.	.	.
アキメヒシバ	I +	.	IV +-3	II +-1	.	.	.	.	.	.	.
ケイヌビエ	.	I +	II +-1	II +-1	.	.	.	.	.	.	.
ツルマメ	.	.	III +-2	I +-1	+	+	III +-1	+	+	I 2	.
シロザ	II +	V +-1	IV +-4	V +-5	V +-5	III +-3	II +-2	.	I +	I +	+
オオイスダテ	I +	V +-2	IV +-1	V +-4	III +-2	I +-1	I +-2	.	.	.	+
ヨモギ	.	III +	III +	III +	II +-2	II +-1	II +-2	.	I +	II +-2	+
セイタカアワダチソウ	I +	.	I +	+	II +-1	II +	II +-1	.	I 1	.	+
ケアリタソウ	.	I +	II +	III +	+	+	+	.	I 1	.	.
カナムグラ	.	I +	.	III +-2	I +-2	II +-2	+	.	.	.	.
オオイスホオズキ	.	I +	.	III +	II +-4	.	+	+	I +	.	.
オギ	.	.	.	II +-2	+	II +-2	+	.	.	.	+
イタドリ	.	.	.	II +	.	II +-2	.	.	.	.	.
クイモ	.	.	.	III +-1	+	III +-2	.	.	.	.	.
セイハンモロコシ	.	I +	.	III +-3	+	.	.	.	.	.	+
ツユクサ	.	.	.	I +	III +-2	II +	III +-1	II +-1	III +	.	I +-1
コセンダングサ	I 1	.	II +	.	III +-4	I 1-2	II +-2	.	II +-1	I +	II +-2
ヤブガラシ	.	.	.	+	II +-3	II +-2	+	+	I +	I +	II +-1
カタハミ	.	.	+	.	II +-1	.	III +-2	II +-1	II +-1	I +	I +-2
ホソアオゲイトウ	II +-1	IV +-1	+	+	II +-2	.	.	I 1-2	I 2	I 2	+
イスダテ	I +	.	.	.	II +-3	+	II +-1	+	I 2	I 2	+
ヒナタイノコヅチ	.	.	.	.	II +-2	I +	II +-2	+	I +	.	+
オオブタクサ	.	II +	I +	IV +-3	+	+	V 4-5	+	.	I +	+
ナガバキシギシ	.	.	.	.	.	II +-1	+	.	I +	II +	+
クサヨシ	.	.	.	.	.	I 1-2	.	.	.	.	+
ヒメムカシヨモギ	II +-1	.	II +-1	III +-2	II +-1	+	V +-5	II +-1	II +	.	II +-1
オオアレチノギク	I 2	.	.	+	+	.	V +-4	+	II 1	.	II +
ヒメジョオン	.	.	II +	I +	II +	.	IV +-3	+	II +-1	I +	I +-2
ウラボシ	.	.	.	.	+	.	II +-1	.	.	.	.
セイヨウタンポポ	I +	.	+	.	+	.	II +	.	I 1	.	+
メヒシバ	V 1-4	V +-4	V 1-4	V 1-4	IV +-5	+	V +-4	V +-5	V	V 2-4	V 2-5
アキノエノコログサ	III +-3	IV +-1	IV +-3	III +-1	V +-4	II +-4	III 1-4	III +-2	III	V +-4	III +-5
エノコログサ	II +-1	IV +-2	V +-2	III +-2	II +-2	I +	III +-3	II 1-4	III	III +-2	III +-3
ハキダメギク	.	II +	.	I +	I +	.	I 1-2	III +-1	.	II +	.
コニシキソウ	.	III +	.	.	+	.	I +-1	II +-1	.	.	+
ノゲシ	I +	.	II +-1	+	+	+	II +	III +-1	.	.	+
コアカザ	I +	.	.	.	+	.	.	II +-1	.	.	.
アメリカカタカサブドウ	I +	.	.	.	+	+	+	II +-3	.	.	.
イヌホオズキ	.	.	.	.	+	.	.	II +-2	.	.	.
ワルナスビ	.	.	.	.	+	I 1	.	.	.	.	+
キツネノマゴ	.	.	.	.	+	.	.	.	.	V +-5	+
ムラサキツメクサ	.	.	+	+	.	I +	.	.	.	III 1-2	+
オオオナモミ	.	II +-1	+	.	.	.	.	.	.	III +-1	+
キンエノコロ	.	.	II +-1	II +-2	+	I +-1	.	.	.	III +	.
シマスズメノヒエ	.	.	+	.	.	.	+	.	.	.	IV +-5
ヤハズエンドウ	.	.	.	.	.	.	+	.	.	.	III +-2
チガヤ	.	.	.	.	.	.	+	.	.	.	II +-1
ヘラオオバコ	.	II +	II +	+	.	.	.	.	.	.	I +-1
オツチカタハミ	.	I +	I +	III +	+	.	II +-2	.	.	I +	II +-1
随伴種											
エノキグサ	.	I +	.	I +	+	I +	II +-1	I +-1	.	IV 1-2	II +-1
スギナ	.	.	+	.	I +-2	+	II +-4	II +	.	I 1	+
ヘクソカズラ	.	.	.	.	I +	I +-1	II +-1	+	.	.	II +-1
ハルジョオン	.	.	.	+	+	+	II +-3	II +-1	II	I +	+
イヌムギ	.	.	.	.	+	.	II +-1	+	II	.	+
ブタクサ	.	.	.	.	I +-2	+	I +-2	.	.	I +	+

ウシハコベ	·	I +	·	·	I +1	I +1	I +	·	·	·	·
コヒルガオ	·	·	·	·	I +	·	·	·	I	I <sup>1</sup>	+ +
ヒロハホウキギク	II +	·	·	II +	+ +	·	I +	·	·	·	·
エソノギシギシ	·	·	·	+ +	I +	·	+ <sup>1</sup>	·	·	·	+ +2
ヘビイチゴ	·	·	·	·	+ +	·	I +1	·	I	II +	+ +
アメリカイヌホオズキ	I <sup>1</sup>	·	II +	·	+ +	·	·	·	·	·	·
クズ	·	·	·	·	I +1	I +	+ <sup>1</sup>	·	·	·	·
ヌカキビ	·	·	+ +	+ +	+ <sup>1</sup>	I +	+ +	·	·	·	·
マスクサ	·	·	·	+ +	+ +	·	+ <sup>1</sup>	·	·	·	I +2
マメゲンバイナズナ	·	·	+ +	I +	·	·	·	·	·	·	I +
アレチウリ	·	·	·	+ +	·	I +	·	·	·	I +	+ +
オオイヌノフグリ	·	·	·	·	·	+ <sup>1</sup>	·	+ +	·	·	I +1
カゼクサ	·	·	·	I +	·	+ <sup>1</sup>	·	·	·	I +	+ +
ヨウシュヤマゴボウ	·	·	·	+ +	I <sub>1-4</sub>	·	·	+ +	·	·	·

出現4回以下の種は省略。

表22. 沈水・浮漂植物群落の識別表

- A コウガイモ群落
- B アイノコイトモ-コカナダモ群落
- C エビモ群落
- D ササバモ群落
- E オオフサモ群落
- F ウキクサ-アオウキクサ群落

	A	B	C	D	E	F
調査区数	5	6	1	3	2	9
平均出現種数	1	3.4	1	1	1	1.9
群落の識別種						
コウガイモ	V 4-5	.	.	.	.	.
コカナダモ	.	V 1-3	.	.	.	.
アイノコイトモ	.	V 1-2	.	.	.	.
ホザキノフサモ	.	V +-3	1 +	.	.	.
シャジクモ	.	II 1	.	.	.	.
エビモ	.	.	1 3	.	.	.
ササバモ	.	.	+ +	2 5	.	.
オオフサモ	.	.	.	.	2 5	.
ウキクサ	.	.	.	.	.	V +-5
アオウキクサ	.	.	.	.	.	IV 2-5
随伴種						
ヒメウキクサ	.	.	.	.	.	I 2
コナギ	.	.	.	.	.	I +



表23. 府中市の植物群落リスト

群落/下位単位/植分群	コード
<b>1. 常緑広葉樹林</b>	
シラカシ-ケヤキ群落	1A
アズマネザサ下位単位	1Aa
ツルマサキ植分群	1Aa1
典型植分群	1Aa2
ナキリスゲ植分群	1Aa3
典型下位単位	1Ab
<b>2. 落葉広葉樹林</b>	
コナラ-クヌギ群落	2A
マユミ下位単位	2Aa
アオキ植分群	2Aa1
アカマツ植分群	2Aa2
コウヤボウキ下位単位	2Ab
典型植分群	2Ab1
アキノキリンソウ植分群	2Ab2
<b>3. 植栽林</b>	
ヒノキ・サウラ林	3A
モウソウチク林	3B
マダケ林	3C
ハリエンジュ群落	3D
クサヨシ下位単位	3Da
シバ下位単位	3Db
落葉広葉樹植栽林	3E
<b>4. 低木群落</b>	
タチヤナギ群落	4A
クサギ-タラノキ群落	4B
ニワウルシ群落	4C
ヌルデ群落	4D
オニグルミ群落	4E
ノイバラ群落	4F
メダケ群落	4G
アズマネザサ群落	4H
クコ群落	4I
テリハノイバラ群落	4J
キダチコマツナギ群落	4K
イタチハギ群落	4L
<b>5. つる植物群落</b>	
センニンソウ群落	5A
カラスウリ-オニドコロ群落	5B
ヤブガラシ群落	5C
典型下位単位	5Ca
ガガイモ下位単位	5Cb
アレチウリ群落	5D
クズ群落	5E
カナムグラ群落	5F
アキノノゲシ下位単位	5Fa
典型下位単位	5Fb
イシミカワ下位単位	5Fc
<b>6. 刈取草地群落</b>	
アズマネザサ-ススキ群落	6A
チガヤ-ツルボ群落	6B
ナワシロイチゴ下位単位	6Ba
クサボケ植分群	6Ba1
典型植分群	6Ba2
典型下位単位	6Bb
カワラサイコ下位単位	6Bc
チガヤ-ネズミムギ群落	6C
<b>7. 河辺多年生草本群落</b>	
ミクリ群落	7A
ヒメガマ群落	7B
ウキヤガラ群落	7C
クサヨシ群落	7D
カワヂシャ下位単位	7Da
ミゾコウジュ下位単位	7Db
オギ下位単位	7Dc
アゼナルコ群落	7E
ミヤマシラスゲ群落	7F
ヨシ群落	7G
ツルヨシ群落	7H
カキネガラシ下位単位	7Ha
典型下位単位	7Hb

群落/下位単位/植分群	コード
<b>8. 砂礫地草本群落</b>	
オギ群落	7I
イタドリ下位単位	7Ia
メドハギ植分群	7Ia1
スズメノチャヒキ植分群	7Ia2
カナムグラ植分群	7Ia3
典型植分群	7Ia4
メヒシバ下位単位	7Ib
ツルマンネングサ群落	8A
典型下位単位	8Aa
ノミノツヅリ下位単位	8Ab
カワラサイコ-シバ群落	8B
ヨモギ-メドハギ群落	8C
マルバヤハズソウ下位単位	8Ca
アキノエノコログサ植分群	8Ca1
典型植分群	8Ca2
カモガヤ下位単位	8Cb
コヌカグサ下位単位	8Cc
典型下位単位	8Cd
シナダレスズメガヤ群落	8D
<b>9. 河辺一年生草本群落 (春季)</b>	
オランダガラシ-オオカワヂシャ群落	9A
カワヂシャ-タネツケバナ群落	9B
典型下位単位	9Ba
カキネガラシ下位単位	9Bb
ネズミムギ-カキネガラシ群落	9C
ヤエムグラ下位単位	9Ca
典型下位単位	9Cb
ミゾコウジュ下位単位	9Cc
<b>10. 河辺一年生草本群落 (夏季)</b>	
ケイヌビエ-ジュズダマ群落	10A
ヌマガヤツリ-チョウジタデ群落	10B
カヤツリグサ-カワラスガナ群落	10C
オオイヌタデ-ケイヌビエ群落	10D
ケアリタソウ下位単位	10Da
典型下位単位	10Db
コセンダングサ-アキノエノコログサ群落	10E
<b>11. 林縁草本群落</b>	
アシボソ-キツネノマゴ群落	11A
典型下位単位	11Aa
ササガヤ下位単位	11Ab
ハナタデ群落	11B
典型下位単位	11Ba
ヤブタバコ下位単位	11Bb
アオミズ下位単位	11Bc
ドクダミ-ケチヂミザサ群落	11C
ヤブニンジン群落	11D
ノブキ群落	11E
クサイチゴ-ヤブミョウガ群落	11F
ヌスビトハギ-ガンクビソウ群落	11G
典型下位単位	11Ga
ヒメキンミズヒキ下位単位	11Gb
マスクサ-ヤブスゲ群落	11H
コジュズスゲ下位単位	11Ha
ジュズスゲ下位単位	11Hb
ヤワラスゲ下位単位	11Hc
典型下位単位	11Hd
ノハカタカラクサ群落	11I
ヤブソテツ-イノモトソウ群落	11J
<b>12. 路傍雑草群落</b>	
ハナウド群落	12A
ソクズ群落	12B
ヤブマオ群落	12C
カラムシ群落	12D
イヌタデ-ツルクサ群落	12E
アキノエノコログサ下位単位	12Ea
ヤブマメ植分群	12Ea1
典型植分群	12Ea2
典型下位単位	12Eb
カントウヨメナ下位単位	12Ec
チカラシバ群落	12F
キンエノコロ下位単位	12Fa
キンミズヒキ下位単位	12Fb

群落/下位単位/植分群	コード
キンエノコロ群落	12G
シマスズメノヒエ下位単位	12Ga
ウシノシッペイ下位単位	12Gb
シャクチリソバ群落	12H
ヨウシュヤマゴボウ-タケニグサ群落	12I
13. 路上雑草群落	
ヘビイチゴ-ヤブタビラコ群落	13A
コナスビ-ヒメヨツバムグラ群落	13B
ツメクサ-ギンゴケ群落	13C
コメツブツメクサ-ツボミオオバコ群落	13D
ニワゼキショウ-タチチコグサ群落	13E
カロリナアオイゴケ群落	13F
オオミチヤナギ-スズメノカタビラ群落	13G
14. 踏跡雑草群落	
コスズメガヤ群落	14A
ハマスゲ群落	14B
オヒシバ-アキメヒシバ群落	14C
オオバコ下位単位	14Ca
典型下位単位	14Cb
オオバコ-クサイ群落	14D
オオイチゴツナギ下位単位	14Da
典型下位単位	14Db
ナズナ下位単位	14Dc
カゼクサ-オオバコ群落	14E
スズメノヒエ下位単位	14Ea
典型下位単位	14Eb
ギョウギシバ下位単位	14Ec
ヘラオオバコ下位単位	14Ed
典型植分群	14Ed1
ナガハグサ植分群	14Ed2
カゼクサ-ヤハズソウ群落	14F
15. 人工シバ草地	
シバ-アキメヒシバ群落	15A
典型下位単位	15Aa
典型植分群	15Aa1
ヒメクグ植分群	15Aa2
コニシキソウ下位単位	15Ab
ヤハズソウ下位単位	15Ac
オニウシノケグサ下位単位	15Ad
シバ-ナギナタガヤ群落	15B
シバ-チチコグサ群落	15C
キランソウ下位単位	15Ca
典型下位単位	15Cb
ウリクサ下位単位	15Cc
16. 水田畦畔雑草群落	
オオジシバリ-ミゾカクシ群落	16A
ギシギシ-ナガバギンギン群落	16B
カントウヨメナ下位単位	16Ba
典型植分群	16Ba1
ヤワラスゲ植分群	16Ba2
ネズミムギ植分群	16Ba3
オオカワヂシャ下位単位	16Bb
ジュズダマ群落	16C
ミゾバ群落	16D
エゾノサヤヌカグサ-チゴザサ群落	16E
17. 水田雑草群落	
ケキツネノボタン-ミノフスマ群落	17A
セトガヤ下位単位	17Aa
キツネアザミ植分群	17Aa1
典型植分群	17Aa2
典型下位単位	17Ab
キツネアザミ植分群	17Ab1
典型植分群	17Ab2
キシウスズメノヒエ群落	17B
アゼガヤ群落	17C
タマガヤツリ-アゼナ群落	17D
マツバイ下位単位	17Da
典型下位単位	17Db
コナギ-オモダカ群落	17E
アゼナ下位単位	17Ea
典型下位単位	17Eb
サクラタデ-クログワイ群落	17F

群落/下位単位/植分群	コード
18. 畑地雑草群落	
コハコベ-ホトケノザ群落	18A
ヒメオドリコソウ下位単位	18Aa
典型下位単位	18Ab
サナエタデ-スズメノテッポウ群落	18B
ハルタデ-コアカザ群落	18C
典型下位単位	18Ca
オオエノコロ下位単位	18Cb
ホソアオゲイトウ群落	18D
スベリヒユ-コニシキソウ群落	18E
典型下位単位	18Ea
トキンソウ下位単位	18Eb
ウリクサ-トキンソウ群落	18F
アゼナ下位単位	18Fa
典型下位単位	18Fb
ヒメミカンソウ下位単位	18Fc
19. 空地多年生雑草群落	
クイモ群落	19A
イタドリ群落	19B
ノミノツヅリ下位単位	19Ba
典型下位単位	19Bb
コセンダングサ下位単位	19Bc
セイタカアワダチソウ群落	19C
セイバンモロコシ群落	19D
メリケンカルカヤ群落	19E
コブナグサ下位単位	19Ea
典型下位単位	19Eb
ススキ-トダシバ群落	19F
チガヤ群落	19G
ガガイモ下位単位	19Ga
典型下位単位	19Gb
オニウシノケグサ下位単位	19Gc
オニウシノケグサ群落	19H
ナガハグサ下位単位	19Ha
メドハグ下位単位	19Hb
典型植分群	19Hb1
アキノエノコログサ植分群	19Hb2
シマスズメノヒエ-ギョウギシバ群落	19I
典型下位単位	19Ia
ハルジオン下位単位	19Ib
ヘラオオバコ-セイヨウタンポポ群落	19J
20. 空地一年生雑草群落 (春季)	
イヌムギ-ヤハズエンドウ群落	20A
スズメノエンドウ下位単位	20Aa
コマツヨイグサ植分群	20Aa1
ヒメジョオン植分群	20Aa2
コハコベ下位単位	20Ab
ヒメジョオン植分群	20Ab1
典型植分群	20Ab2
典型下位単位	20Ac
典型植分群	20Ac1
ネズミムギ植分群	20Ac2
カラスムギ群落	20B
21. 空地一年生雑草群落 (夏季)	
イヌビエ-オオクサキビ群落	21A
典型下位単位	21Aa
マルバヤハズソウ下位単位	21Ab
スベリヒユ植分群	21Ab1
アキメヒシバ植分群	21Ab2
シロザ-オオイヌタデ群落	21B
オオブタクサ下位単位	21Ba
コセンダングサ下位単位	21Bb
オオブタクサ群落	21C
ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落	21D
メヒシバ-アキノエノコログサ群落	21E
ハキダメギク下位単位	21Ea
典型下位単位	21Eb
ウルナスビ下位単位	21Ec
キンエノコロ下位単位	21Ed
22. 沈水・浮漂植物群落	
コウガイモ群落	22A
アイノコイトモ-コカナダモ群落	22B
エビモ群落	22C
ササバモ群落	22D
オオフサモ群落	22E
ウキクサ-アオウキクサ群落	22F

## V. 植生図凡例と植物群落の関係

### 1. 府中市の現存植生

2003年の航空写真と現地踏査に基づいて作成した1万分の1現存植生図(付図1)から、この時点での府中市の緑の分布を読み取ることができる。植生図の凡例には、この縮尺で表示できる広がりをもった群落については群落名をもちいている。しかし、個々の群落の広がりまで表示できない場所や、数年で変化したり季節によって異なる群落が成立したりする場所については、一定の環境条件のもとに成立する群落の集合体として示している(例:刈取草地群落、河辺一年生草本群落、踏跡雑草群落など)。

都市化が進行した府中市では、単一の植物群落を凡例として示せる領域はごく狭く、土地利用図に近い植生図とならざるを得ない。2003年時点での凡例ごとの占有面積を集計すると、「緑の少ない住宅地・市街地」が最も広く41.8%、「工場・広いコンクリート地」が17.8%、「人工裸地・造成地」が8.1%となり、造成や舗装によって植生がほとんど成立しない場所が市域全体の7割近くを占めていた(表24)。一方で、植物群落としてのまとまりをもった樹林は、竹林などを含めても34.0ha、市の面積のわずかに1.2%にすぎない。特に府中市の自然を特徴づける、崖線林や社寺林として残るシラカシ-ケヤキ群落は6.7ha(0.2%)、農用林由来のコナラ-クヌギ群落は19.4ha(0.7%)であった。

こうした残り少なくなった樹林面積を補っているのは、多磨霊園や府中の森公園、郷土の森公園に代表される「樹群をともなう公園・墓地」(市の面積の9.6%)、あるいは旧街道沿いや水田地帯などにみられる「緑の多い住宅地」(同2.6%)である。こうした緑は必ずしも植物群落としてのまとまりをもったものではないが、都市化の進行以前から生育する樹林を残していたり、市街地では生育場所を失った人里植物が生育しており、都市部では重要な緑である。

樹林、河辺植生、草地、雑草地、耕作地の各凡例に、その他の土地利用のうち「樹群をともなう公園・墓地」「緑の多い住宅地」を加えたものを緑地として扱うと、2003年の府中市の緑地面積は873.9haで、市の面積の30.8%にあたる。1975年に作成された現存植生図(奥富ほか1975)の対応する凡例の合計面積は1264.5ha、市の面積に占める割合は43.1%であったから、この28年間に緑地の30.9%にあたる390.6haが失われたことになる(表24)。

### 2. 植生図凡例に含まれる植物群落

1万分の1現存植生図で表示できる区画のサイズは、30m四方程度の広がりに限界である。そのため、凡例として用いることができる植物群落はごく一部に限られ、小面積でしか成立しない大部分の群落がどのような場所に分布するかは、植生図だけでは読み取ることができない。そこで、現存植生図と植物群落の分布図を重ね合わせることによって、各凡例に含まれる植物群落を抽出した(表25)。

同一の凡例内に出現する植物群落は、互いに何らかの結びつきをもつか、類似の環境に成立するものである。特に、群落どうしの特徴的な結びつきがみられるもの、あるいは多くの群落が含まれるものについて、以下に述べる。

#### ①シラカシ-ケヤキ群落

これは崖線林や社寺林を示す凡例である。主体はシラカシ-ケヤキ群落であるが、その周囲にクサイ

チゴヤブミョウガ群落やマスクサーヤブスゲ群落、ヤブソテツイノモトソウ群落といった林縁草本群落をとまなうことが多い。これらは、落葉樹林と比べると暗くて湿潤な林縁に成立する群落であり、シラカシーケヤキ群落と結びつきが強いと考えられる。

#### ②コナラークヌギ群落

農用林由来の落葉広葉二次林を示す凡例である。シラカシーケヤキ群落と同様、いくつかの林縁草本群落をとまなう。特に、ヌスビトハギーガンクビソウ群落やハナタデ群落、アシボソーキツネノマゴ群落は、やや明るい落葉樹林の林縁に特徴的なものである。崖線では、ヤブニンジン群落やノブキ群落も出現する。さらに林内の遊歩道沿いなどの踏み跡にはオオバコークサイ群落やカゼクサーヤハズソウ群落がみられる。

#### ③オギ群落

オギ群落は多摩川の高水敷を広い面積で覆っているが、その中には部分的にさまざまな群落が生息している。低水敷に近い部分ではツルヨシ群落やクサヨシ群落が含まれる。何らかの攪乱を受けた場所では、つる植物の生育が旺盛になってヤブガラシ群落やアレチウリ群落となったり、キクイモ群落やオオブタクサ群落のような丈の高い雑草群落となっている部分もある。また、ハリエンジュ群落やオニグルミ群落の幼齢林分、ノイバラ群落やクコ群落などの低木群落が含まれることもある。やや樹陰となる部分にはハナウド群落、土砂が新しく流入した場所にはヨモギーメドハギ群落、シナダレスズメガヤ群落などが小規模に形成されていることもある。さらに流水と接する部分では、一年生草本群落のカワヂシャータネツケバナ群落や、オオイヌタデーケイヌビエ群落も含まれる。

#### ④砂礫地草本群落

砂礫地草本群落は多摩川の低水敷にみられ、カワラサイコーシバ群落とヨモギーメドハギ群落が主体である。テリハノイバラ群落やイタドリ群落がパッチ状に成立することがある。1975年の植生図ではカワラヨモギーカワラサイコ群落とされていたが、現在ではカワラヨモギ、カワラノギクなど礫河原に特有の植物が出現する群落はみられなくなっている。

#### ⑤河辺一年生草本群落

この凡例には、低水敷の流水辺に近い場所に成立する一年生草本群落が含まれる。春季には水際から順にカワヂシャータネツケバナ群落とネズミムギーカキネガラシ群落が発達し、夏季にはそれぞれオオイヌタデーケイヌビエ群落とコセンダングサーアキノエノコログサ群落に入れ替わる。

#### ⑥刈取草地群落

刈取草地群落は、チガヤーツルボ群落为主体であるが、新しく造成された堤防上などでは、草原生の構成種が少ないチガヤーネズミムギ群落やオニウシノケグサ群落も含まれている。堤防上には、カラムシ群落、イタドリ群落、セイバンモロコシ群落、チカラシバ群落などもパッチ状に現れる。また、護岸コンクリートに接する部分ではツルマンネングサ群落もみられる。土壌の攪乱がある場所では、カラスムギ群落やメヒシバーアキノエノコログサ群落のような一年生草本群落となっている所もある。

#### ⑦シバ人工草地

最も面積が大きいのはシバーアキメヒシバ群落であるが、踏圧によってシバが衰退し、カゼクサーオオバコ群落やオヒシバーアキメヒシバ群落に退行している部分もある。また、シバ以外の種が優占する

芝生も含まれ、これらは群落としてはシマスズメノヒューギョウギシバ群落やチガヤ・ネズミムギ群落となる。

#### ⑧空地多年生雑草群落

空地では種組成が連続的なさまざまな群落モザイク状に混在することが多い。空地の雑草群落は土質や土壌水分などによりさまざまで、持ち込まれた土壌中の種子にも影響されるが、造成後数年が経過した空地では、ヨモギ・メドハギ群落、セイトカアワダチソウ群落、ススキ・トダシバ群落、チガヤ群落などが成立していることが多い。

#### ⑨空地一年生雑草群落

造成後あまり時間が経っていない空地や耕作放棄地では、一年生の雑草群落が混在する。イヌビエ・オオクサキビ群落、シロザ・オオイヌタデ群落、メヒシバ・アキノエノコログサ群落、ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク群落などがよく現れ、春季にはイヌムギ・ヤハズエンドウ群落もみられる。遷移が進むと部分的にヨモギ・メドハギ群落やセイトカアワダチソウ群落、オギ群落などとなる。

#### ⑩踏跡雑草群落

この凡例に含まれる群落はシバ人工草地と類似している。カゼクサ・オオバコ群落、オヒシバ・アキメヒシバ群落が多く、造成当初はシバが植栽されていた場合には、シバ・アキメヒシバ群落やシバ・ナギナタガヤ群落が残ることもある。河川敷ではカワラサイコ・シバ群落が含まれる場合もある。

#### ⑪水田雑草群落

水田雑草群落の凡例には、水田の田面、畦、水路の土手や水中、その周囲の路傍に成立する多様な群落が含まれている。水田内部では、春季の田植え前にはケキツネノボタン・ノミノフスマ群落、夏季の湛水期にはコナギ・オモダカ群落やタマガヤツリー・アゼナ群落が成立し、浮漂植物群落であるウキクサ・アオウキクサ群落も出現する。田の畦にはオオジシバ・リーミゾカクシ群落やギシギシ・ナガバギシギシ群落が成立する。さらに水路の水際にはミゾソバ群落やエノゾサヤヌカグサ・チゴザサ群落といった湿生の草本群落、流水中にはコウガイモ群落やアイノコイトモ・コカナダモ群落などの沈水植物群落も成立する。このように水田雑草群落の凡例で示されているのは、水田耕作にともなう土地利用や農作業のスケジュールと対応した、多様な群落の複合体である。

#### ⑫畑地雑草群落、果樹園・苗圃

畑地も水田と同様、季節によって異なる群落が発達する。春季にはコハコベ・ホトケノザ群落、初夏にはハルタデ・コアカザ群落、盛夏にはスベリヒューコ・ニシキソウ群落が主要な雑草群落である。畑地の周囲にはイヌムギ・ヤハズエンドウ群落やメヒシバ・アキノエノコログサ群落も多い。また、農道上の踏跡に成立するウリクサ・トキンソウ群落やオオミチヤナギ・スズメノカタビラ群落なども含まれる。果樹園・苗圃でも、ほぼ同様の植物群落がみられる。

#### ⑬樹群をともなう公園・墓地、緑の多い住宅地

この凡例は、新旧の公園や墓地、寺社の境内、学校の敷地など、さまざまな場所を含んでいるため、そこに含まれる植物群落もきわめて多様である。公園などとなる以前からの残存林がある場合には、シラカシ・ケヤキ群落やコナラ・クヌギ群落が含まれることもある。ヒノキ・サワラ植栽林やモウソウチク林、マダケ林なども小規模なものはこの凡例に含まれている。

草本群落で共通して出現する傾向が強いのは、林縁草本群落、路上雑草群落、踏跡雑草群落、人工シバ草地群落などである。樹群の縁にはアシボソーキツネノマゴ群落、ドクダミーケチヂミザサ群落などをはじめとするさまざまな林縁草本群落がみられる。また、樹群の下で除草や踏圧の影響を受ける場所では、ヘビイチゴーヤブタビラコ群落、コナスビーヒメヨツバムグラ群落といった路上雑草群落がよく発達する。さらに園路上などにはツメクサーギンゴケ群落やウリクサートキンソウ群落など、小型の草本からなる群落がみられる。広場になっているところでは、オオバコークサイ群落、カゼクサーオオバコ群落などの踏跡雑草群落がしばしばみられる。芝生がある場合には、踏圧が強くなる芝生でシバーアキメヒシバ群落、踏圧が弱く刈取管理が行われる芝生ではシバーチチコグサ群落が成立する。

なお、野川に接する武蔵野公園では、これらに加えてミクリ群落、ヒメガマ群落、ウキヤガラ群落、ヌマガヤツリーチョウジタデ群落といった水湿生植物の群落も含まれていた。

#### ⑭緑の少ない住宅地・市街地

緑の少ない住宅地では、植物群落が成立するのは宅地の間の小規模な空き地や街区公園、住宅の庭などの狭いスペースに限られる。こうした場所には、イヌタデーツユクサ群落、イヌムギーヤハズエンドウ群落、メヒシバーアキノエノコログサ群落などの一年生雑草群落が断片的にみられる。砂利敷の駐車場などにはコスズメガヤ群落、草刈りが行われる空地にはシマスズメノヒューギョウギシバ群落などもみられる。

#### ⑮工場地・広いコンクリート地、人工裸地・造成地

これらの凡例では、コンクリートで舗装されていたり、造成直後であるため、植物群落が広い面積で成立していることはない。しかし、道路との境界部やコンクリートの隙間には、断片的な植物群落がみられる。イヌムギーヤハズエンドウ群落、イヌビエーオオクサキビ群落、シロザーオオイヌタデ群落、メヒシバーアキノエノコログサ群落といった組成の単純な一年生雑草群落が多い。

#### ⑯自然裸地

多摩川低水敷の礫質の河原で植被が発達しない裸地が、この凡例で示されている。しかし、まったく植物が生えていないわけではなく、カワラサイコーシバ群落のような砂礫地の植物群落や、ネズミムギーカキネガラシ群落のような一年生草本群落が断片的にみられる。

#### ⑰開放水域

植被に覆われていない水面を示す凡例であるが、河川の水際にはクサヨシ群落やツルヨシ群落のような河辺多年生草本群落、オランダガラシーオオカワヂシャ群落のような河辺一年生草本群落、エビモ群落やオオフサモ群落のような沈水植物群落が含まれることがある。

表24. 1975年と2003年の現存植生図における凡例別面積とその増減

	1975年		2003年		増減 (ha)		
	凡 例	面積 (ha)	割合 (%)	凡 例		面積 (ha)	割合 (%)
樹林	シラカシ群集ケヤキ亜群集	4.7	0.16	シラカシケヤキ群落	6.7	0.23	△ 11.7
	ケヤキ・シラカシ屋敷林	13.7	0.47				
	クヌギコナラ群集	25.9	0.88	コナラクヌギ群落	19.4	0.66	△ 6.9
	クヌギコナラ群集アカマツファシース	0.4	0.01				
	ニセアカシア河辺林	0.4	0.01	ハリエンジュ群落	1.0	0.04	0.6
	落葉広葉樹植栽林(ニセアカシア植栽林等)	4.1	0.14	落葉広葉樹植栽林	2.9	0.10	△ 1.2
	スギ・ヒノキ植栽林 (サワラ植栽林を含む)	2.3	0.08	ヒノキ・サワラ植栽林	0.3	0.01	△ 2.0
	アカマツ・クロマツ植栽林	0.4	0.01	アカマツ・クロマツ植栽林	0.3	0.01	△ 0.1
	モウソウチク林	5.6	0.19	モウソウチク・マダケ植栽林	2.8	0.10	△ 2.8
	イヌコリヤナギ群集	0.2	0.01	—			△ 0.2
	—			オニグルミ群落	0.5	0.02	0.5
	ヌルデ群落	1.5	0.05	ヌルデ群落	0.1	0.00	△ 1.4
	計	59.2	2.01	計	34.0	1.17	△ 25.2
河辺植生	オギ群集	34.6	1.18	オギ群落	42.9	1.46	8.3
	ヨシ群落	1.4	0.05	ヨシ群落	0.1	0.00	△ 1.3
	カラヨモギーカラサイコ群集	1.8	0.06	砂礫地草本群落	5.5	0.19	3.7
	タウコギラス	14.8	0.50	河辺一年生草本群落	16.5	0.56	1.7
	計	52.6	1.79	計	65.0	2.21	12.4
草地	メダケ群落	0.4	0.01	メダケ・アズマネザサ群落	0.1	0.00	△ 0.8
	アズマネザサ群落	0.5	0.02				
	アズマネザサースキ群集	6.1	0.21	刈取草地群落	36.3	1.24	△ 7.9
	ススキートダシバ群落	38.1	1.30				
	シナダレスズメガヤ人工草地	9.4	0.32	外来牧草群落	5.8	0.20	△ 10.2
	オニウシノケガヤ人工草地	6.6	0.22				
	シバ群落	146.4	4.99	シバ人工草地	115.9	4.95	△ 33.6
	シバ畑	3.1	0.11				
	牧草地(カモガヤなど)	3.0	0.10	牧草地	1.2	0.04	△ 1.8
	計	213.6	7.28	計	159.3	6.43	△ 54.3
雑草地	クズーカナムグラ群落	1.7	0.06	クズ群落	0.3	0.01	△ 1.4
	—			アレチウリ群落	0.4	0.02	0.4
	クワモドキ群落	0.3	0.01	オオブタクサ群落	2.1	0.07	1.8
	イタドリ群落	0.8	0.03				
	ススキ群落	1.4	0.05	空地多年生雑草群落	1.5	0.06	△ 0.9
	セイタカアワダテソウ群落	0.2	0.01				
	シロザーヨモギ群落	89.2	3.04				
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落	3.3	0.11	空地一年生雑草群落	12.5	0.42	△ 92.2
	イヌビエーオオクサキビ群落	12.2	0.42				
	耕作放棄水田雑草群落	12.0	0.41	—			△ 13.3
	ジュズダマ群落	1.3	0.05	—			
	オオバコーカゼクサ群落	29.3	1.00	踏跡雑草群落	13.9	0.47	△ 15.4
	計	151.7	5.19	計	30.7	1.05	△ 121.0
耕作地	ウリカワコナギ群集	107.2	3.65	水田雑草群落	35.4	1.21	△ 71.8
	カラスビシャクーニシキソウ群集	247.1	8.42	畑地雑草群落	159.6	5.44	△ 87.5
	落葉果樹園	41.6	1.42	果樹園・苗圃	47.7	1.63	△ 41.2
	苗圃	47.3	1.61				
	桑畑	1.9	0.06	桑畑	0.5	0.02	△ 1.4
	茶畑	0.1	0.00	茶畑	0.3	0.01	0.2
	計	445.2	15.16	計	243.5	8.31	△ 201.7
	その他	植栽あるいは残存樹群をもった公園・墓地など	191.0	6.51	樹群をともなう公園・墓地	265.9	9.06
緑の多い住宅地		151.2	5.15	緑の多い住宅地	75.5	2.57	△ 75.7
工場地		86.5	2.95	工場地・広いコンクリート地	523.1	17.83	180.3
広い舗装道路・コンクリート地		256.3	8.73				
緑の少ない住宅地・市街地		889.7	30.32	緑の少ない住宅地・市街地	1145.3	41.79	255.6
造成地および人工裸地		311.2	10.61	人工裸地・造成地	236.5	8.06	△ 74.7
自然裸地		54.3	1.85	自然裸地	16.8	0.57	△ 37.5
開放水域		72.0	2.45	開放水域	50.3	1.71	△ 21.7
計		2012.2	68.57	計	2313.4	81.59	301.2
緑地合計*		1264.5	43.1		873.9	30.8	△ 390.6

\*緑地には、樹林、河辺植生、草地、雑草地、耕作地のほか、「樹群をともなう公園・墓地」「緑の多い住宅地」を含む。

表25. 各植生図凡例に含まれる主な植物群落

主要なものを太字で示す。

凡例	群 落 (コード)
1. シラカシケヤキ群落	
シラカシケヤキ群落 (1A)	
メダケ群落 (4G)	
クサイチゴヤブミョウガ群落 (11F)	
マスクサヤブスグ群落 (11H)	
ヤブソテツノイノモトソウ群落 (11J)	
2. コナラクスギ群落	
コナラクスギ群落 (2A)	
カラスウリーオニドコロ群落 (5B)	
アシボソキツネノマゴ群落 (11A)	
ハナタデ群落 (11B)	
ドクダミケチヂミザサ群落 (11C)	
ヤブニンジン群落 (11D)	
ノブキ群落 (11E)	
ヌスビトハギガンクピソウ群落 (11G)	
オオバコクサイ群落 (14D)	
カゼクサヤハズソウ群落 (14F)	
3. ハリエンジュ群落	
ハリエンジュ群落 (3D)	
4. 落葉広葉樹植栽林	
ハリエンジュ群落 (3D)	
落葉広葉樹植栽林 (3E)	
5. スギ・ヒノキ植栽林	
ヒノキ・サワラ林 (3A)	
6. アカマツ・クロマツ植栽林	
調査資料なし	
7. モウソウチク・マダケ植栽林	
モウソウチク林 (3B)	
マダケ林 (3C)	
8. オニグルミ群落	
オニグルミ群落 (4E)	
9. スルデ群落	
スルデ群落 (4D)	
10. オギ群落	
ハリエンジュ群落 (3D)	
タチヤナギ群落 (4A)	
オニグルミ群落 (4E)	
ノイバラ群落 (4F)	
クコ群落 (4I)	
ヤブガラシ群落 (5C)	
クズ群落 (5E)	
アレチウリ群落 (5D)	
クサヨシ群落 (7D)	
ヨシ群落 (7G)	
ツルヨシ群落 (7H)	
オギ群落 (7I)	
ヨモギメドハギ群落 (8C)	
シナダレスズメガヤ群落 (8D)	
カワヂシャータネツケバナ群落 (9B)	
ネズミムギカキネガラシ群落 (9C)	
オオイヌタデケイヌビエ群落 (10D)	
ハナウド群落 (12A)	
ソクズ群落 (12B)	
クイモ群落 (19A)	
セイバンモロコシ群落 (19D)	
チガヤ群落 (19G)	
オオブタクサ群落 (21C)	
11. ヨシ群落	
ヨシ群落 (7G)	
12. 砂礫地草本群落	
ハリエンジュ群落 (3D)	
テリハノイバラ群落 (4J)	
キダチコマツナギ群落 (4K)	
オギ群落 (7I)	
カワラサイコーシバ群落 (8B)	
ヨモギメドハギ群落 (8C)	
シナダレスズメガヤ群落 (8D)	
イタドリ群落 (19B)	
13. 河辺一年生草本群落	
ヒメガマ群落 (7B)	
ヨモギメドハギ群落 (8C)	
カワヂシャータネツケバナ群落 (9B)	
ネズミムギカキネガラシ群落 (9C)	
カヤツリグサカワラスガナ群落 (10C)	
オオイヌタデケイヌビエ群落 (10D)	
コセンダングサアキノエノコログサ群落 (10E)	

凡例	群 落 (コード)
14. メダケ・アズマネザサ群落	
メダケ群落 (4G)	
アズマネザサ群落 (4H)	
イヌムギヤハズエンドウ群落 (20A)	
15. 刈取草地群落	
チガヤーツルボ群落 (6B)	
チガヤーツルボ群落 (6C)	
ツルマンネングサ群落 (8A)	
カラムシ群落 (12D)	
チカラシバ群落 (12F)	
イタドリ群落 (19B)	
セイバンモロコシ群落 (19D)	
オニウシノケグサ群落 (19H)	
カラスムギ群落 (20B)	
メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)	
16. 外来牧草群落	
チガヤーツルボ群落 (6B)	
オギ群落 (7I)	
ツルマンネングサ群落 (8A)	
オニウシノケグサ群落 (19H)	
17. シバ人工草地	
チガヤーツルボ群落 (6C)	
オヒシバアキメヒシバ群落 (14C)	
カゼクサオオバコ群落 (14E)	
シバアキメヒシバ群落 (15A)	
シマズメノヒエギョウギシバ群落 (19I)	
18. 牧草地	
イヌムギヤハズエンドウ群落 (20A)	
19. クズ群落	
クズ群落 (5E)	
20. アレチウリ群落	
アレチウリ群落 (5D)	
ハナウド群落 (12A)	
21. オオブタクサ群落	
クイモ群落 (19A)	
オオブタクサ群落 (21C)	
22. 空地多年生雑草群落	
オギ群落 (7I)	
ヨモギメドハギ群落 (8C)	
カゼクサオオバコ群落 (14E)	
イタドリ群落 (19B)	
セイトカアワダチソウ群落 (19C)	
セイバンモロコシ群落 (19D)	
ススキトダシバ群落 (19F)	
チガヤ群落 (19G)	
メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)	
23. 空地一年生雑草群落	
チガヤーツルボ群落 (6C)	
オギ群落 (7I)	
ヨモギメドハギ群落 (8C)	
セイトカアワダチソウ群落 (19C)	
セイバンモロコシ群落 (19D)	
シマズメノヒエギョウギシバ群落 (19I)	
イヌムギヤハズエンドウ群落 (20A)	
イヌビエオオクサキビ群落 (21A)	
シロザオオイヌタデ群落 (21B)	
ヒメムカシヨモギオオアレチノギク群落 (21D)	
メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)	
24. 踏跡雑草群落	
チガヤーツルボ群落 (6C)	
カワラサイコーシバ群落 (8B)	
オヒシバアキメヒシバ群落 (14C)	
カゼクサオオバコ群落 (14E)	
シバアキメヒシバ群落 (15A)	
シバナギナタガヤ群落 (15B)	
オニウシノケグサ群落 (19H)	
シマズメノヒエギョウギシバ群落 (19I)	
25. 水田雑草群落	
メダケ群落 (4G)	
イヌタデツユクサ群落 (12E)	
オオジシバリーミソカクシ群落 (16A)	
ギンギシナガバギンギシ群落 (16B)	
ジュズダマ群落 (16C)	
ミゾソバ群落 (16D)	
エゾノサヤカグサチゴザサ群落 (16E)	
ケイツネノボタンノミノフスマ群落 (17A)	
キシュウスズメノヒエ群落 (17B)	
アゼガヤ群落 (17C)	



凡例	群 落 (コード)
	タマガヤツリーアゼナ群落 (17D)
	コナギーオモダカ群落 (17E)
	サクラタデークログワイ群落 (17F)
	サナエタデーズメノテッポウ群落 (18B)
	コウガイモ群落 (22A)
	アイノコイトモコカナダモ群落 (22B)
	ササバモ群落 (22D)
	ウキクサアオウキクサ群落 (22F)
26. 畑地雑草群落	
	メダケ群落 (4G)
	クコ群落 (4I)
	イヌタデーツユクサ群落 (12E)
	オオミチヤナギースズメノカタビラ群落 (13G)
	ギシギシナガバギシギシ群落 (16B)
	コハコペーホトケノザ群落 (18A)
	サナエタデーズメノテッポウ群落 (18B)
	ハルタデーコアカザ群落 (18C)
	ホソアオゲイトウ群落 (18D)
	スベリヒューコニシキソウ群落 (18E)
	ウリクサートキンソウ群落 (18F)
	チガヤ群落 (19G)
	イヌムギーヤハズエンドウ群落 (20A)
	シロザーオオイスダデ群落 (21B)
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 (21D)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
27. 果樹園・苗圃	
	カラスウリーオニドコロ群落 (5B)
	カナムグラ群落 (5F)
	イヌタデーツユクサ群落 (12E)
	オオバコクサイ群落 (14D)
	コハコペーホトケノザ群落 (18A)
	スベリヒューコニシキソウ群落 (18E)
	ウリクサートキンソウ群落 (18F)
	イヌムギーヤハズエンドウ群落 (20A)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
28. 桑畑	
	カナムグラ群落 (5F)
	イヌタデーツユクサ群落 (12E)
	ハルタデーコアカザ群落 (18C)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
29. 茶畑	
	調査資料なし
30. 樹群をともなう公園・墓地	
	シラカシクヤキ群落 (1A)
	コナラクスギ群落 (2A)
	ヒノキ・サワラ林 (3A)
	モウソウチク林 (3B)
	マダケ林 (3C)
	落葉広葉樹植栽林 (3E)
	クサギ・タラノキ群落 (4B)
	ニワウルシ群落 (4C)
	センニンソウ群落 (5A)
	カラスウリーオニドコロ群落 (5B)
	カナムグラ群落 (5F)
	アズマネザサーススキ群落 (6A)
	アシボソ・キツネノマゴ群落 (11A)
	ハナタデ群落 (11B)
	ドクダミ・ケチヂミザサ群落 (11C)
	ヌスビトハギ・ガンクビソウ群落 (11G)
	マスクサ・ヤブスゲ群落 (11H)
	ノハカタカラクサ群落 (11I)
	ヤブソテツ・イノモトソウ群落 (11J)
	ヤブマオ群落 (12C)
	イヌタデーツユクサ群落 (12E)
	チカラシバ群落 (12F)
	キンエノコロ群落 (12G)
	シヤクチリソバ群落 (12H)
	ヨウシュヤマゴボウ・タケニグサ群落 (12I)
	ヘビイチゴ・ヤブタビラコ群落 (13A)
	コナスビ・ヒメヨツバムグラ群落 (13B)
	ツメクサ・ギンゴケ群落 (13C)
	ニワゼキショウ・ウタチチチコグサ群落 (13E)
	カロリナアオイゴケ群落 (13F)
	コスズメガヤ群落 (14A)
	ハマスゲ群落 (14B)
	オヒシバアキノメヒシバ群落 (14C)
	オオバコクサイ群落 (14D)
	カゼクサ・オオバコ群落 (14E)
	シバアキノメヒシバ群落 (15A)
	シバチチコグサ群落 (15C)

凡例	群 落 (コード)
	ギシギシナガバギシギシ群落 (16B)
	ウリクサートキンソウ群落 (18F)
	メリケンカルカヤ群落 (19E)
	シマスズメノヒエーギョウギシバ群落 (19I)
	イヌムギーヤハズエンドウ群落 (20A)
	シロザーオオイスダデ群落 (21B)
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 (21D)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
	*以下は河川に接する場所のみ
	クズ群落 (5E)
	ミクリ群落 (7A)
	ヒメガマ群落 (7B)
	ウキヤガラ群落 (7C)
	クサヨシ群落 (7D)
	アゼナルコ群落 (7E)
	ヨシ群落 (7G)
	オギ群落 (7I)
	ヌマガヤツリー・チョウジタデ群落 (10B)
	オオブタクサ群落 (21C)
31. 緑の多い住宅地	
	シラカシクヤキ群落 (1A)
32. 緑の少ない住宅地	
	ケイスビエージュズダマ群落 (10A)
	ドクダミ・ケチヂミザサ群落 (11C)
	イヌタデーツユクサ群落 (12E)
	ツメクサ・ギンゴケ群落 (13C)
	コスズメガヤ群落 (14A)
	セイタカアワダチソウ群落 (19C)
	シマスズメノヒエーギョウギシバ群落 (19I)
	ヘラオオバコ・セイヨウタンポポ群落 (19J)
	イヌムギーヤハズエンドウ群落 (20A)
	イヌビエーオオクサキビ群落 (21A)
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 (21D)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
33. 工場地・広いコンクリート地	
	イタチハギ群落 (4L)
	クズ群落 (5E)
	チガヤ・ツルボ群落 (6B)
	チガヤ・ネズミムギ群落 (6C)
	ヨモギーメドハギ群落 (8C)
	ツメクサ・ギンゴケ群落 (13C)
	イタドリ群落 (19B)
	イヌムギーヤハズエンドウ群落 (20A)
	イヌビエーオオクサキビ群落 (21A)
	シロザーオオイスダデ群落 (21B)
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 (21D)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
34. 人工裸地・造成地	
	アズマネザサ群落 (4H)
	カナムグラ群落 (5F)
	チガヤ・ツルボ群落 (6B)
	ヨモギーメドハギ群落 (8C)
	ネズミムギ・カキネガラシ群落 (9C)
	キンエノコロ群落 (12G)
	コスズメガヤ群落 (14A)
	オヒシバアキノメヒシバ群落 (14C)
	オオバコクサイ群落 (14D)
	カゼクサ・オオバコ群落 (14E)
	イタドリ群落 (19B)
	ヌスキートダシバ群落 (19F)
	オニウシノケガサ群落 (19H)
	イヌムギーヤハズエンドウ群落 (20A)
	イヌビエーオオクサキビ群落 (21A)
	シロザーオオイスダデ群落 (21B)
	オオブタクサ群落 (21C)
	ヒメムカシヨモギーオオアレチノギク群落 (21D)
	メヒシバアキノエノコログサ群落 (21E)
35. 自然裸地	
	テリハノイバラ群落 (4J)
	カワラサイコシバ群落 (8B)
	ネズミムギ・カキネガラシ群落 (9C)
	オオイスダデー・ケイスビエ群落 (10D)
36. 開放水域	
	クサヨシ群落 (7D)
	ヨシ群落 (7G)
	ツルヨシ群落 (7H)
	オランダガラシ・オオカワヂシャ群落 (9A)
	カワヂシャ・タネツクバナ群落 (9B)
	ネズミムギ・カキネガラシ群落 (9C)
	オオイスダデー・ケイスビエ群落 (10D)
	アイノコイトモコカナダモ群落 (22B)
	エビモ群落 (22C)
	オオフサモ群落 (22E)

## VI. 構成種からみた重要度の評価

すべての植生調査資料に出現した維管束植物の総種数（変種、品種等の種以下の分類群も含む。作物として栽培されていたものは除く。）は716種であった。このうち30.7%にあたる220種は外来植物または逸出した栽培・園芸植物であり、自生とみられる在来植物は496種であった。この中にも逸出した可能性の高いものが含まれるが、多摩地域に分布があるものについては本来の自生個体か逸出個体かの判断が困難なので、自生とみなした。

植物群落の保全上の重要性を判断する場合には、その地域の自然を代表するものであるかどうか（典型性）、他の地域にはみられない特徴的なものであるかどうか（特殊性）といった特徴や、残された面積や場所の少なさ（希少性）、環境変化の影響の受けやすさ（脆弱性）、破壊された場合の復元可能性など、様々な観点が考えられる。ここでは本調査資料の特性を活かして、各々の植物群落が地域の植物相の多様さにどの程度寄与しているかという観点から、各群落に含まれる在来種の種数、絶滅危惧種の種数、その群落に偏在する種の数（表26）を指標として、保全上の重要性を検討する。

### 1. 群落ごとの在来種数

群落ごとに出現した在来種数（表26、図4）を比較すると、最も多いのはコナラークヌギ群落の174種、ついでチガヤーツルボ群落の124種、アズマネザサーススキ群落の96種であった。コナラークヌギ群落には全群落に出現した在来種の約35%、チガヤーツルボ群落には約25%、アズマネザサーススキ群落には約19%が出現していることになる。二次林と二次草原の植物群落が、府中市の植物種の多様さにおいてきわめて大きな役割を果たしていることがわかる。より自然林に近いシラカシーケヤキ群落では、75種の在来種が出現した。その他、水田の畦に成立するオオジシバリーミゾカクシ群落（87種）やギンギシーナガバギンギシ群落（76種）、林縁などの半陰地に成立するアシボソーキツネノマゴ群落（76種）やヘビイチゴーヤブタビラコ群落（83種）、雑草的な種が多いイヌタデーツユクサ群落（80種）やイヌムギーヤハズエンドウ群落（77種）も多く、在来種をもっていた。

総種数に占める在来種の割合（表26、図5）でみると、コナラークヌギ群落は86.6%、アズマネザサーススキ群落は89.7%と、9割近くを在来種が占める群落であった。チガヤーツルボ群落は、在来種の割合では68.9%とやや低くなった。つる植物群落、林縁草本群落、水田畦畔雑草群落、水田雑草群落などでは、在来種の割合が高い群落が多かった。センニンソウ群落、カラスウリーオニドコロ群落などのつる植物群落は、在来種数は多くないが割合では80%を超えていた。林縁草本群落ではすべての群落で在来種の割合が80%を超えており、特にヌスビトハギーガンクビソウ群落やマスクサーヤブスゲ群落では95%以上が在来種で、二次林や二次草原よりも高い割合をもっていた。さらに、夏季の水田にみられるエゾノサヤヌカグサーチゴザサ群落、タマガヤツリーアゼナ群落、コナギーオモダカ群落なども在来種の割合が80%を超える群落であった。河辺多年生草本群落のミクリ群落や、沈水植物群落のコウガイモ群落、ササバモ群落は、種数は少ないが在来種のみで構成される群落であった。

逆に外来種の割合が高い群落としては、優占種自体が外来種であるイタチハギ群落（外来種率57.1%）やシナダレスズメガヤ群落（51.2%）、オオフサモ群落（100%）、造成の影響を受けた場所にみられるコメ

ツブツメクサーツボミオバコ群落 (53.3%), シマスズメノヒエーギョウギシバ群落 (50.0%), ヘラオオバコーセイヨウタンポポ群落 (56.0%) などがある。造成後間もない芝生の群落であるシバーナギナタガヤ群落 (65.8%) は特に外来植物の割合が高かった。また、河川低水敷にみられるネズミムギーカキネガラシ群落 (50.8%), オオヌタデーケイヌビエ群落 (50.0%), コセンダングサーアキノエノコログサ群落 (53.3%) は、自然性の高い立地に成立する群落であるにもかかわらず、外来種の割合が高くなっていた。

## 2. 国および東京都の絶滅危惧種

植生調査資料に出現した種のうち、東京都のレッドリスト (東京都環境局 2010), および国のレッドリスト (環境省 2012) に掲載されている種と、それらが出現した群落を表 27 に示す。都のレッドリストでは区部, 北多摩, 南多摩, 西多摩といった地域区分ごとに絶滅危険度のカテゴリが評価されているので、府中市については北多摩におけるカテゴリを示した。

東京都のレッドリストにおいて北多摩地区で準絶滅危惧以上のカテゴリにリストされている種は 40 種, 国のレッドリストに掲載されている種は 11 種であった。重複を除くと 44 種の植物が、北多摩地区より広域のスケールで絶滅の危険があるとされている種であった。

これらのうち、ミズハコベは北多摩地区では絶滅とされているが、多摩川河辺で生育が確認された。ミズハコベは、国立市の矢川など府中崖線からの湧水が供給される小河川に群落を形成しているため、このような生育場所から流出したものが多摩川流水辺の一年生草本群落内に混生することがある。

スズサイコは国のレッドリストでは準絶滅危惧, トキホコリとミズマツバは絶滅危惧Ⅱ類であるが、北多摩では絶滅危惧ⅠA 類にランクされており、地域的にはより絶滅のおそれ強い植物である。逆に、カンエンガヤツリは国のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類であるが北多摩では準絶滅危惧, コギシギシ, カワヂシャ, コイヌガラシ, クジュウツリスゲは国では絶滅危惧Ⅱ類または準絶滅危惧であるが、東京都ではリストにあげていなかった。このうち、カワヂシャは多摩川の河川敷などにふつうにみられるが、他の 3 種については都内における分布情報そのものが少なく、評価の対象にされていなかったものと考えられる。

東京都や国レベルでの絶滅危惧種は、特定の群落に多く含まれる傾向があった (表 4, 5)。落葉二次林であるコナラークヌギ群落には、ラン科植物のキンラン, ギンラン, ササバギンランや、オケラ, ホソバヒカゲスゲ, イチヤクソウ, ムサシノキスゲなど 8 種の絶滅危惧種が出現していた。また、多摩川堤防などに分布する刈取草地のチガヤーツルボ群落には、カワラマツバ, スズサイコ, レンリソウ, アマドコロ, カワラナデシコ, ウマノスズクサ, ハタザオなど 10 種の絶滅危惧種が出現する。この 2 つの群落は在来種の種数が多い群落であったが、その中には絶滅危惧種も多く含まれることが明らかとなった。

また、多摩川や野川の流水辺に形成される河辺多年生草本群落や河辺一年生草本群落には、ミズハコベ, カンエンガヤツリ, ミゾコウジュ, カワヂシャなどが含まれる。砂礫地の草本群落では、カワラサイコがいずれの群落にも出現していた。

さらに、水田周辺の植物群落にも絶滅危惧種が多く含まれていた。水田雑草群落にはミズマツバ, アブノメ, サクラタデ, セトガヤ, コギシギシ, コイヌガラシなどが、水田の畦の群落には、アシカキ,

エゾノサヤヌカグサなどが出現していた。農業水路に生育する在来の沈水植物はほとんどが絶滅危惧種となっており、コウガイモ、アイノコイトモ、エビモ、ササバモなどが優占する沈水植物群落は、群落自体の絶滅が危惧される。

このようにみると、二次林や刈取草地、それに水田の周辺部といった、農村的な土地利用の中で形成されてきた植物群落の構成種に絶滅危惧種が多く含まれていることがわかる。特に水田で「雑草」とみなされている植物の中にも絶滅の危機に瀕しているものが多く含まれることは、留意すべき点である。

なお、ここに挙げたのは植生調査資料に出現した種だけなので、府中市内に生育する絶滅危惧種のすべてが網羅されているわけではない。たとえば、浅間山に生育するハンノキやネコノメソウは北多摩では絶滅危惧Ⅱ類、ササクサは準絶滅危惧とされている。群落としてのまとまりをもたない植分にも、絶滅危惧種が生育している可能性がある。

### 3. 一部の群落に偏在する種

東京都のレッドリストにおける北多摩地区での評価からは、府中市を含む武蔵野台地で絶滅の危険性が高い植物種を知ることができる。しかし、今回の調査では、絶滅危惧種でなくとも限られたいくつかの群落にしか出現しないものが多かった。図 6 は個々の種が出現した群落数を示したものである。496 種の在来種のうち 25.2%にあたる 125 種は、ただ 1 つの植物群落にしか出現せず、13.1%にあたる 65 種は 2 つの植物群落にしか出現しなかった。すなわち、1/3 以上の植物は特定の植物群落と強く結びついているのである。このような偏在種を多く含む群落が消失すると、それだけ多くの植物相が失われることになるので、偏在種を多く含む群落は保全の優先度が高いといえる。

表 28 には、各群落に出現した偏在種（2 群落以下にしか出現しなかった種）を示す。森林群落のシラカシーケヤキ群落とコナラークヌギ群落には多くの偏在種がみられた。アカマツ、イヌシデ、イヌザクラ、ミズキといった樹種は、武蔵野台地の樹林ではふつうの種であるが、群落としてはこの 2 群落にしか出現しない。コナラークヌギ群落に偏在する種は、この群落に出現する在来種の半数近くの 81 種にも及ぶ。特に浅間山では、アオハダ、アカシデ、ケヤマハンノキ、クロモジ、コウヤボウキ、ヤマツツジ、ネジキなど、丘陵地から低山地の二次林に分布の中心をもつ種が、武蔵台緑地では、ヤマトアオダモ、フタリシズカなど、山地の溪谷沿いなどに多い種がみられた。市内のコナラークヌギ群落は、こうした種の生育場所としてきわめて重要であることがわかる。また、植栽された林であるヒノキ・サワラ林にも、オオバノイノモトソウ、リョウメンシダのようなシダ植物のように、この群落にしか出現しない種がみられた。

刈取草地のススキアズマネザサ群落とチガヤーツルボ群落では、東京都の絶滅危惧種となっている種に加えて、ウツボグサ、ミヤコグサ、ナンテンハギ、アキカラマツといった草原生の種が偏在種となっていた。在来種の割合が高い林縁草本群落にも複数の偏在種を含む群落が多く、特にヤブソテツイノモトソウ群落は、多くのシダ植物の偏在種をもっていた。アシボソーキツネノマゴ群落にはトキホコリやナルコビエ、クサイチゴヤブミョウガ群落にはオドリコソウ、ヌスビトハギーガンクビソウ群落にはマルバヌスビトハギやヤマカモジグサなどが偏在したが、これらは出現頻度自体が非常に低い種であった。また、路上雑草群落や水田雑草群落にも偏在種をもつ群落が多かった。さらには、イヌムギー

ヤハズエンドウ群落だけにトウダイグサが、イヌビエーオオクサキビ群落だけにアオガヤツリやイガガヤツリがみられるように、人為的な攪乱を強く受けた雑草群落にも、その群落にしかない在来種が含まれることがあるということが明らかになった。

以上のように、東京都や国の絶滅危惧種に指定されているもの以外でも、限られた群落にしか生育していない種が多数あることが明らかになった。これらの種は、北多摩よりも狭い府中市というスケールで見ると絶滅危惧種であるおそれが強い。市町村レベルでの種多様性を保全するためには、このような情報を元に、より狭い地域での絶滅リスクを評価していく必要があるだろう。

表26. 群落ごとの在来・外来別出現種数と偏在種、絶滅危惧種の数

\* 逸出種した栽培植物を含む。  
 \*\* 2群落以下にのみ出現した種。  
 \*\*\* 東京都(2011)または環境省(2012)のレッドリスト掲載種。表5参照。

群落名(調査区数)	総種数	在来種数(%)	外来種数(%)*	偏在種(%)**	絶滅危惧種数***
<b>1. 常緑広葉樹林</b>					
1A シラカシ-ケヤキ群落 (20)	110	75 (68.2)	35 (31.8)	20 (26.7)	1
<b>2. 落葉広葉樹林</b>					
2A コナラ-クヌギ群落 (36)	201	174 (86.6)	27 (13.4)	81 (46.6)	8
<b>3. 植栽林</b>					
3A ヒノキ・サウラ林 (4)	79	60 (75.9)	19 (24.1)	10 (16.7)	1
3B モウソウチク林 (8)	58	40 (69.0)	18 (31.0)	2 (5.0)	
3C マダケ林 (3)	24	16 (66.7)	8 (33.3)	0 (0.0)	
3D ハリエンジュ群落 (11)	91	53 (58.2)	38 (41.8)	0 (0.0)	
3E 落葉広葉樹植栽林 (4)	68	49 (72.1)	19 (27.9)	1 (2.0)	
<b>4. 低木群落</b>					
4A タチヤナギ群落 (1)	17	8 (47.1)	9 (52.9)	0 (0.0)	
4B クサギ-タラノキ群落 (3)	47	39 (83.0)	8 (17.0)	3 (7.7)	1
4C ニワウルシ群落 (1)	19	18 (94.7)	1 (5.3)	0 (0.0)	
4D ヌルデ群落 (6)	52	32 (61.5)	20 (38.5)	1 (3.1)	
4E オニグルミ群落 (8)	65	47 (72.3)	18 (27.7)	1 (2.1)	
4F ノイバラ群落 (4)	37	22 (59.5)	15 (40.5)	0 (0.0)	
4G メダケ群落 (5)	36	32 (88.9)	4 (11.1)	0 (0.0)	
4H アズマネザサ群落 (6)	40	31 (77.5)	9 (22.5)	1 (3.2)	
4I クコ群落 (5)	33	21 (63.6)	12 (36.4)	1 (4.8)	
4J テリハノイバラ群落 (6)	46	27 (58.7)	19 (41.3)	1 (3.7)	2
4K キダチコマツナギ群落 (3)	29	18 (62.1)	11 (37.9)	0 (0.0)	1
4L イタチハギ群落 (3)	14	6 (42.9)	8 (57.1)	1 (16.7)	
<b>5. つる植物群落</b>					
5A センニンソウ群落 (6)	31	25 (80.6)	6 (19.4)	0 (0.0)	1
5B カラスウリ-オニドコロ群落 (6)	25	22 (88.0)	3 (12.0)	0 (0.0)	
5C ヤブガラシ群落 (7)	16	13 (81.3)	3 (18.8)	0 (0.0)	
5D アレチウリ群落 (6)	19	14 (73.7)	5 (26.3)	0 (0.0)	
5E クズ群落 (9)	34	21 (61.8)	13 (38.2)	0 (0.0)	
5F カナムグラ群落 (18)	67	43 (64.2)	24 (35.8)	1 (2.3)	
<b>6. 刈取草地群落</b>					
6A アズマネザサ-ススキ群落 (11)	107	96 (89.7)	11 (10.3)	13 (13.5)	3
6B チガヤ-ツルボ群落 (126)	180	124 (68.9)	56 (31.1)	18 (14.5)	10
6C チガヤ-ネズミムギ群落 (26)	98	66 (67.3)	32 (32.7)	1 (1.5)	2
<b>7. 河辺多年生草本群落</b>					
7A ミクリ群落 (1)	2	2 (100.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	2
7B ヒメガマ群落 (5)	14	11 (78.6)	3 (21.4)	0 (0.0)	1
7C ウキヤガラ群落 (2)	18	13 (72.2)	5 (27.8)	1 (7.7)	2
7D クサヨシ群落 (19)	64	41 (64.1)	23 (35.9)	0 (0.0)	2
7E アゼナルコ群落 (3)	26	19 (73.1)	7 (26.9)	0 (0.0)	1
7F ミヤマシラゲ群落 (1)	8	6 (75.0)	2 (25.0)	1 (16.7)	
7G ヨシ群落 (9)	55	34 (61.8)	21 (38.2)	0 (0.0)	2
7H ツルヨシ群落 (13)	55	33 (60.0)	22 (40.0)	0 (0.0)	
7I オギ群落 (54)	79	50 (63.3)	29 (36.7)	0 (0.0)	1
<b>8. 砂礫地草本群落</b>					
8A ツルマンネングサ群落 (10)	35	24 (68.6)	11 (31.4)	0 (0.0)	1
8B カワラサイコ-シハ群落 (19)	66	38 (57.6)	28 (42.4)	1 (2.6)	2
8C ヨモギ-メドハギ群落 (38)	102	52 (51.0)	50 (49.0)	1 (1.9)	1
8D シナダレスズメガヤ群落 (9)	41	20 (48.8)	21 (51.2)	0 (0.0)	1
<b>9. 河辺一年生草本群落 (春季)</b>					
9A オランダガラシ-オオカワヂシャ群落 (9)	11	6 (54.5)	5 (45.5)	0 (0.0)	2
9B カワヂシャ-タネツケバナ群落 (20)	61	32 (52.5)	29 (47.5)	0 (0.0)	2
9C ネズミムギ-カキネガラシ群落 (33)	130	64 (49.2)	66 (50.8)	0 (0.0)	4
<b>10. 河辺一年生草本群落 (夏季)</b>					
10A ケイヌビエ-ジュズダマ群落 (5)	14	9 (64.3)	5 (35.7)	0 (0.0)	
10B ヌマガヤツリ-チョウジタデ群落 (7)	31	24 (77.4)	7 (22.6)	2 (8.3)	1
10C カヤツリグサ-カワラスガナ群落 (4)	43	23 (53.5)	20 (46.5)	0 (0.0)	
10D オオイヌタデ-ケイヌビエ群落 (28)	66	33 (50.0)	33 (50.0)	0 (0.0)	2
10E コセンダングサ-アキノエノコログサ群落 (21)	75	35 (46.7)	40 (53.3)	1 (2.9)	
<b>11. 林縁草本群落</b>					
11A アシボソ-キツネノマゴ群落 (22)	93	76 (81.7)	17 (18.3)	6 (7.9)	1
11B ハナタデ群落 (18)	80	68 (85.0)	12 (15.0)	1 (1.5)	
11C ドクダミ-ケチヂミザサ群落 (32)	75	65 (86.7)	10 (13.3)	2 (3.1)	
11D ヤブニンジン群落 (3)	29	28 (96.6)	1 (3.4)	3 (10.7)	2
11E ノブキ群落 (3)	14	12 (85.7)	2 (14.3)	0 (0.0)	
11F クサイチゴ-ヤブミョウガ群落 (3)	21	18 (85.7)	3 (14.3)	1 (5.6)	
11G ヌスビトハギ-ガンクビソウ群落 (17)	66	63 (95.5)	3 (4.5)	6 (9.5)	
11H マスクサ-ヤブスゲ群落 (11)	60	57 (95.0)	3 (5.0)	2 (3.5)	
11I ノハカタカラクサ群落 (3)	13	11 (84.6)	2 (15.4)	0 (0.0)	
11J ヤブソテツ-イノモトソウ群落 (4)	30	26 (86.7)	4 (13.3)	9 (34.6)	

12. 路傍雑草群落						
12A	ハナウド群落 (5)	26	18 (69.2)	8 (30.8)	1 (5.6)	
12B	ソクズ群落 (1)	6	4 (66.7)	2 (33.3)	1 (25.0)	
12C	ヤブマオ群落 (1)	10	6 (60.0)	4 (40.0)	1 (16.7)	
12D	カラムシ群落 (6)	48	30 (62.5)	18 (37.5)	1 (3.3)	
12E	イヌタデ・ツユクサ群落 (36)	112	80 (71.4)	32 (28.6)	2 (2.5)	3
12F	チカラシバ群落 (9)	55	43 (78.2)	12 (21.8)	0 (0.0)	
12G	キンエノコロ群落 (4)	24	18 (75.0)	6 (25.0)	1 (5.6)	
12H	シャクチリソバ群落 (2)	14	12 (85.7)	2 (14.3)	0 (0.0)	
12I	ヨウシュヤマゴボウ・タケニグサ群落 (4)	52	39 (75.0)	13 (25.0)	2 (5.1)	
13. 路上雑草群落						
13A	ヘビイチゴ・ヤブタバコ群落 (22)	106	83 (78.3)	23 (21.7)	6 (7.2)	
13B	コナスビ・ヒメヨツバムグラ群落 (17)	97	66 (68.0)	31 (32.0)	3 (4.5)	
13C	ツメクサ・ギンゴケ群落 (17)	33	20 (60.6)	13 (39.4)	1 (5.0)	
13D	コメツブツメクサ・サツボミオオバコ群落 (11)	45	21 (46.7)	24 (53.3)	0 (0.0)	
13E	ニワゼキショウ・タチチコグサ群落 (3)	19	12 (63.2)	7 (36.8)	0 (0.0)	
13F	カロリナアオイゴケ群落 (2)	22	12 (54.5)	10 (45.5)	0 (0.0)	
13G	オオミチヤナギ・スズメノカタビラ群落 (5)	19	13 (68.4)	6 (31.6)	1 (7.7)	
14. 踏跡雑草群落						
14A	コスズメガヤ群落 (12)	29	18 (62.1)	11 (37.9)	0 (0.0)	
14B	ハマスゲ群落 (6)	29	21 (72.4)	8 (27.6)	0 (0.0)	
14C	オヒシバ・アキメヒシバ群落 (34)	56	34 (60.7)	22 (39.3)	1 (2.9)	
14D	オオバコ・サイ群落 (22)	50	31 (62.0)	19 (38.0)	0 (0.0)	
14E	カゼクサ・オオバコ群落 (55)	87	57 (65.5)	30 (34.5)	2 (3.5)	1
14F	カゼクサ・ヤハズソウ群落 (9)	35	19 (54.3)	16 (45.7)	0 (0.0)	
15. 人工シバ草地						
15A	シバ・アキメヒシバ群落 (35)	77	44 (57.1)	33 (42.9)	0 (0.0)	1
15B	シバ・ナギナタガヤ群落 (7)	38	13 (34.2)	25 (65.8)	0 (0.0)	
15C	シバ・チチコグサ群落 (12)	63	47 (74.6)	16 (25.4)	1 (2.1)	1
16. 水田畦畔雑草群落						
16A	オオジシバリ・ミゾカクシ群落 (40)	113	87 (77.0)	26 (23.0)	3 (3.4)	4
16B	ギンギシ・ナガバギンギシ群落 (36)	118	76 (64.4)	42 (35.6)	1 (1.3)	2
16C	ジュズダマ群落 (7)	37	27 (73.0)	10 (27.0)	0 (0.0)	
16D	ミゾソバ群落 (7)	15	12 (80.0)	3 (20.0)	0 (0.0)	1
16E	エゾノサヤカグサ・チゴザサ群落 (9)	22	18 (81.8)	4 (18.2)	2 (11.1)	2
17. 水田雑草群落						
17A	ケキツネノボタン・ミノフスマ群落 (53)	60	45 (75.0)	15 (25.0)	4 (8.9)	4
17B	キシユスズメノヒエ群落 (3)	10	7 (70.0)	3 (30.0)	0 (0.0)	
17C	アゼガヤ群落 (2)	15	12 (80.0)	3 (20.0)	1 (8.3)	1
17D	タマガヤツリ・アゼナ群落 (15)	34	29 (85.3)	5 (14.7)	6 (20.7)	3
17E	コナギ・オモダカ群落 (24)	25	21 (84.0)	4 (16.0)	3 (14.3)	1
17F	サクラタデ・クログワイ群落 (4)	13	10 (76.9)	3 (23.1)	1 (10.0)	1
18. 畑地雑草群落						
18A	コハコベ・ホトケノザ群落 (43)	57	31 (54.4)	26 (45.6)	0 (0.0)	
18B	サナエタデ・スズメノテッポウ群落 (6)	19	12 (63.2)	7 (36.8)	0 (0.0)	
18C	ハルタデ・コアカザ群落 (11)	52	27 (51.9)	25 (48.1)	0 (0.0)	
18D	ホソアオゲイトウ群落 (5)	16	8 (50.0)	8 (50.0)	0 (0.0)	
18E	スベリヒユ・コニシキソウ群落 (47)	78	41 (52.6)	37 (47.4)	0 (0.0)	1
18F	ウリクサ・トキンソウ群落 (24)	60	43 (71.7)	17 (28.3)	3 (7.0)	1
19. 空地多年生雑草群落						
19A	ククイモ群落 (14)	43	28 (65.1)	15 (34.9)	1 (3.6)	
19B	イタドリ群落 (18)	75	43 (57.3)	32 (42.7)	0 (0.0)	
19C	セイタカアワダチソウ群落 (15)	53	31 (58.5)	22 (41.5)	0 (0.0)	
19D	セイバンモロコシ群落 (10)	40	25 (62.5)	15 (37.5)	0 (0.0)	
19E	メリケンカルカヤ群落 (9)	57	30 (52.6)	27 (47.4)	0 (0.0)	
19F	スキートダシバ群落 (12)	60	36 (60.0)	24 (40.0)	0 (0.0)	
19G	チガヤ群落 (23)	86	45 (52.3)	41 (47.7)	0 (0.0)	
19H	オニウシノケグサ群落 (26)	89	48 (53.9)	41 (46.1)	0 (0.0)	
19I	シマスズメノヒエ・ギョウギシバ群落 (22)	78	39 (50.0)	39 (50.0)	0 (0.0)	
19J	ヘラオオバコ・セイヨウタンポポ群落 (4)	25	11 (44.0)	14 (56.0)	0 (0.0)	
20. 空地一年生雑草群落 (春季)						
20A	イヌムギ・ヤハズエンドウ群落 (68)	134	77 (57.5)	57 (42.5)	2 (2.6)	
20B	カラスムギ群落 (4)	30	13 (43.3)	17 (56.7)	0 (0.0)	
21. 空地一年生雑草群落 (夏季)						
21A	イヌビエ・オオクサキビ群落 (27)	81	42 (51.9)	39 (48.1)	3 (7.1)	1
21B	シロザ・オオイヌタデ群落 (35)	110	55 (50.0)	55 (50.0)	1 (1.8)	
21C	オオブタクサ群落 (16)	48	30 (62.5)	18 (37.5)	0 (0.0)	
21D	ヒメムカシヨモギ・オオアレチノギク群落 (19)	77	39 (50.6)	38 (49.4)	0 (0.0)	
21E	メシバ・アキノエノログサ群落 (50)	110	60 (54.5)	50 (45.5)	0 (0.0)	
22. 沈水・浮漂植物群落						
22A	コウガイモ群落 (5)	1	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	1
22B	アキノイトモ・コカナダモ群落 (6)	3	2 (66.7)	1 (33.3)	2 (100.0)	1
22C	エビモ群落 (1)	2	2 (100.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	2
22D	ササバモ群落 (3)	1	1 (100.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	1
22E	オオフサモ群落 (2)	1	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	
22F	ウキクサ・アオウキクサ群落 (9)	4	3 (75.0)	1 (25.0)	2 (66.7)	

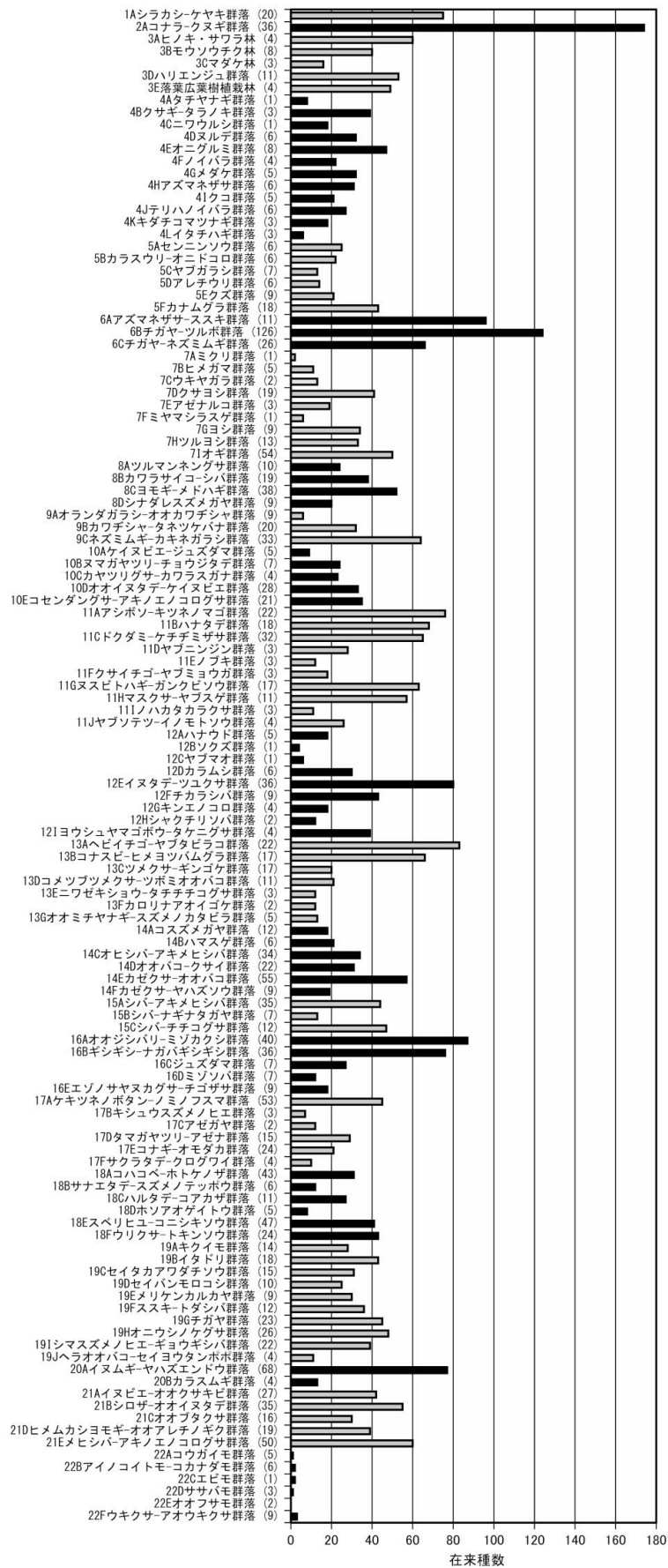


図 4. 群落ごとの在来種の出現種数. 群落名の後のカッコ内の数字は調査区数を示す.



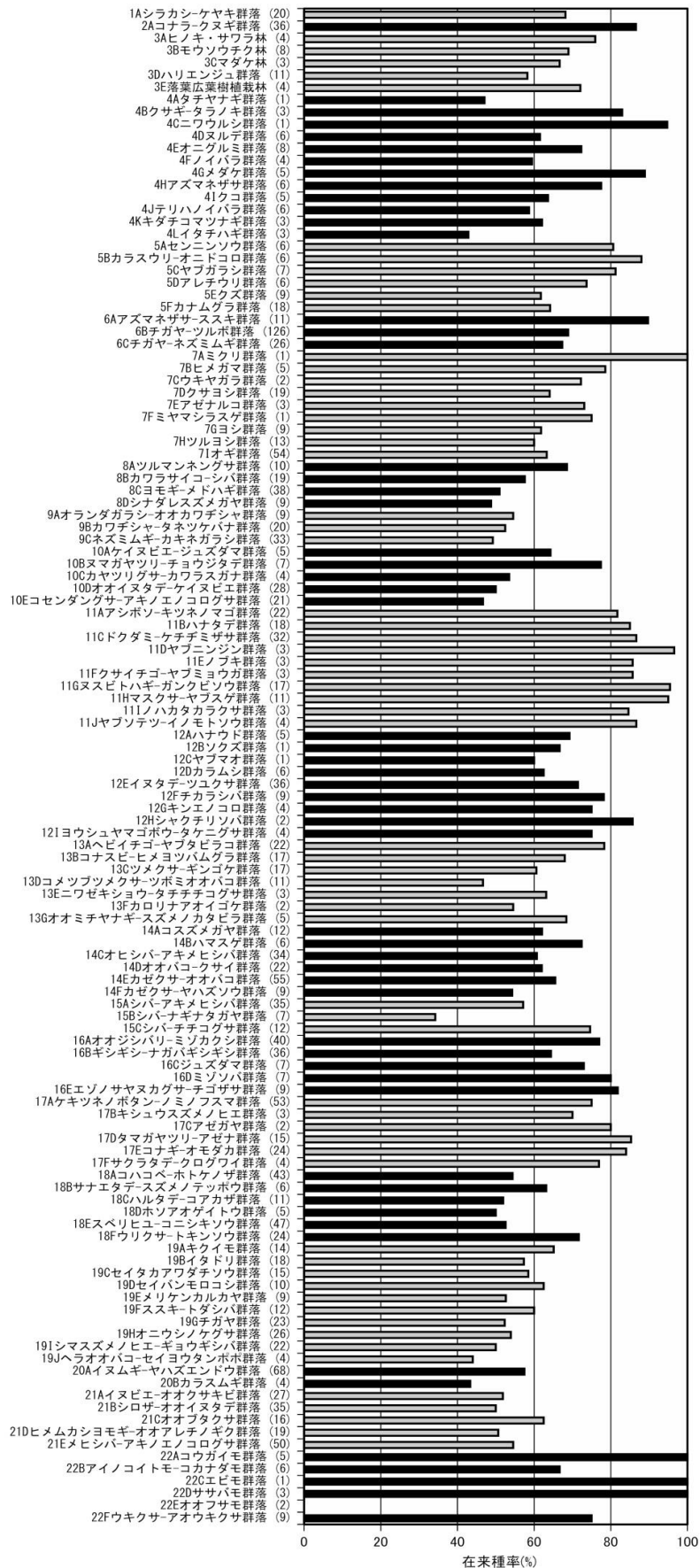


図 5. 群落ごとの総出現種数に占める在来種の割合. 群落名の後のカッコ内の数字は調査区数を示す.

表27. 東京都および国のレッドリスト（RL）掲載種

「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）2010年度版」（東京都環境局 2010）および「環境省第4次レッドリスト」（環境省 2012）より作成。

\* アイノコイトモは、東京都環境局（2010）ではイトモと記載されている。

東京都RLカテゴリ	種名	出現群落コード
EX 絶滅	ミズハコベ	9A, 9B, 9C, 10D
CR 絶滅危惧 I A類	カワラマツバ	6B
	スズサイコ(国NT)	6B
	トキホコリ(国VU)	11A
	ミズマツバ(国VU)	17D
EN 絶滅危惧 I B類	アブノメ	17D
	ヒロハハナヤスリ	13A-B移行部
	レンリソウ	6B
VU 絶滅危惧 II 類	アイノコイトモ*	22B
	アマドコロ	6A, 6B
	アマナ	11D
	ウマノスズクサ	5A, 6A, 6B, 6C, 12E
	エビモ	22C
	オケラ	2A
	カワラサイコ	4J, 4K, 6B, 8A, 8B, 8C, 8D, 9C, 15A
	カワラナデシコ	4J, 4K, 6B
	キツネノカミソリ	1A, 3A, 11D
	キンラン(国VU)	2A
	ギンラン	2A
	コウガイモ	22A
	コヒロハハナヤスリ	6B
	サクラタデ	12E, 16A, 17C, 17D
	ハタザオ	6A, 6B
	フタバムグラ	14E, 15C, 18E, 18F
	ホソバヒカゲスゲ	2A
	ムサシノキスゲ	2A
NT 準絶滅危惧	アオガヤツリ	21A
	アシカキ	16B, 16E
	イチヤクソウ	2A
	ウキヤガラ	7C
	エゾノサヤヌカグサ	12E, 16A, 16B, 16D, 16E, 17E
	エビガライチゴ	4B
	カンエンガヤツリ(国VU)	10B
	ササバギンラン	2A
	ササバモ	22C, 22D
	セトガヤ	16A, 17A, 17C
	ニシキソウ	6B, 6C
	ミクリ(国NT)	7A
	ミゾコウジュ(国NT)	7D, 7G, 7I, 9C
	ミノボロ	8B
都未指定	カワチシャ(国NT)	7A, 7B, 7C, 7D, 7E, 7G, 9A, 9B, 9C, 10D, 17A
(国RLのみ掲載)	クジュウツリスゲ(国VU)	2A
	コイヌガラシ(国NT)	17A
	コギシギシ(国VU)	16A, 17A

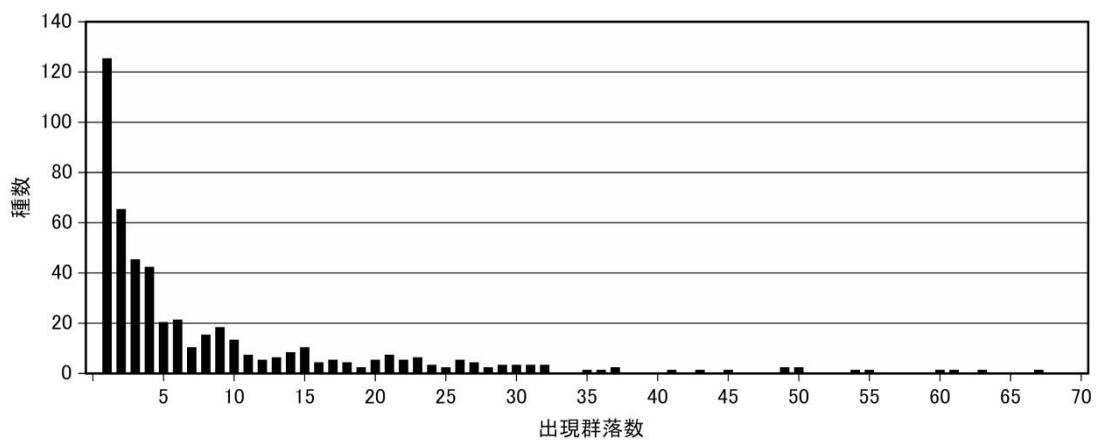


図 6. 個々の種が出現した群落数の頻度分布

表28. 2群落以下に偏在する種

太字は1群落のみ，その他は2群落のみに出現した種。

群落名	偏在種
1. 常緑広葉樹林	
1A シラカシ-ケヤキ群落	アラカシ, オオイタチシダ, ツルグミ, ヤマイタチシダ, アカマツ, イヌザクラ, イヌシデ, オオバジャノヒゲ, ゴンズイ, テイカカズラ, ネズミモチ, ミズキ, ミツバアケビ, ヤマトアオダモ, イヌガヤ, ヤマヤブソテツ, スダジイ, イノデ, クマワラビ, ヤブソテツ
2. 落葉広葉樹林	
2A コナラ-クヌギ群落	イチヤクソウ, ササバギンラン, キンラン, オケラ, ギンラン, ホソバヒカゲスゲ, ムサシノキスゲ, クジュウツリスゲ, アオハダ, アカシデ, アキノタムラソウ, ウメドモキ, ウワミズザクラ, オオバギボウシ, オオバノトンボソウ, キジムシロ, クマヤナギ, クリ, クロモジ, ケヤマハノキ, ケンボナシ, コウヤボウキ, コゴメウツギ, コマユミ, サワフタギ, シュンラン, シロヨメナ, センボンヤリ, タチドコロ, トキリマメ, ナツグミ, ナルコユリ, ニガイチゴ, ネジキ, ネムノキ, ノササゲ, ノダケ, ハリギリ, ヒメヤブラン, フタリシズカ, ホオノキ, ミゾシダ, モミジイチゴ, ヤブレガサ, ヤマウグイスカグラ, ヤマコウバシ, ヤマトツツジ, ヤマテリハノイバラ, ヤマハッカ, ヤマボウシ, ヤマホタルブクロ, ヤマユリ, アカマツ, イヌザクラ, イヌシデ, オオバジャノヒゲ, ゴンズイ, テイカカズラ, ネズミモチ, ミズキ, ミツバアケビ, ヤマトアオダモ, エゴノキ, ガマズミ, クマシデ, コブシ, ヤマハゼ, アキノキリンソウ, ウグイスカグラ, コバノカモメヅル, サルトリイバラ, シラヤマギク, ヒメカンスゲ, サジガンクビソウ, タイアザミ, フジカンゾウ, ヒメコウゾ, ヤブニンジン, ヤマザクラ, ヤマハギ
3. 植栽林	
3A ヒノキ・サワラ林	オオバノモトソウ, ホソバシケシダ, イヌガヤ, ヤマヤブソテツ, エゴノキ, ガマズミ, クマシデ, コブシ, ヤマハゼ, メヤブマオ
3B モウソウチク林	スダジイ
3C マダケ林	
3D ハリエンジュ群落	
3E 落葉広葉樹植栽林	ヒトツバハギ
4. 低木群落	
4A タチヤナギ群落	-
4B クサギ-タラノキ群落	エビガライチゴ, ヒメコウゾ, クサソテツ
4C ニワウルシ群落	-
4D スルデ群落	ヤマザクラ
4E オニグルミ群落	ニウガギク
4F ノイバラ群落	-
4G メダケ群落	-
4H アズマネザサ群落	ヒメウス
4I クコ群落	メハジキ
4J テリハノイバラ群落	カワラナデシコ
4K キダチコマツナギ群落	-
4L イタチハギ群落	ヤマハギ
5. つる植物群落	
5A センニンソウ群落	-
5B カラスウリ-オニドコロ群落	-
5C ヤブガラシ群落	-
5D アレチウリ群落	-
5E クズ群落	-
5F カナムグラ群落	クサソテツ
6. 刈取草地群落	
6A アズマネザサ-ススキ群落	オオバアズマザサ, トラノオシダ, ウグイスカグラ, コバノカモメヅル, サルトリイバラ, シラヤマギク, ヒメカンスゲ, ヒトツバハギ, アマドコロ, ナンテンハギ, ノカンゾウ, ノジオカトラノオ, ハタザオ
6B チガヤ-ツルボ群落	スズサイコ, カワラマツバ, レンリソウ, コヒロハハナヤスリ, ウツボグサ, タチカモジグサ, ノゲヌカスゲ, ミヤコグサ, カワラナデシコ, アマドコロ, ナンテンハギ, ノカンゾウ, ノジオカトラノオ, ハタザオ, アキカラマツ, オカトラノオ, ミノボロ
6C チガヤ-ネズミムギ群落	ニシキソウ
7. 河辺多年生草本群落	
7A ミクリ群落	ミクリ
7B ヒメガマ群落	-
7C ウキヤガラ群落	ウキヤガラ
7D クサヨシ群落	-
7E アゼナルコ群落	-
7F ミヤマシラスゲ群落	ミヤマシラスゲ
7G ヨシ群落	-
7H ツルヨシ群落	-
7I オギ群落	-
8. 砂礫地草本群落	
8A ツルマンネングサ群落	-
8B カワラサイコ-シバ群落	ミノボロ
8C ヨモギ-メドハギ群落	ウド
8D シナダレスズメガヤ群落	-
9. 河辺一年生草本群落 (春季)	
9A オランダガラシ-オオカワヂシャ群落	-
9B カワヂシャ-タネツケバナ群落	-
9C ネズミムギ-カキネガラシ群落	-

10. 河辺一年生草本群落 (夏季)	
10A ケイヌビエ-ジュズダマ群落	-
10B スマガヤツリ-チョウジタデ群落	カンエンガヤツリ, ポントクタデ
10C カヤツリグサ-カワラスガナ群落	-
10D オオイヌタデ-ケイヌビエ群落	-
10E コセンダングサ-アキノエノコログサ群落	-
11. 林縁草本群落	
11A アンボソ-キツネノマゴ群落	トキホコリ, ナギナタコウジュ, ナルコビエ, ネズミガヤ, ササガヤ, ヒメミカンソウ
11B ハナタデ群落	イヌトウバナ
11C ドクダミ-ケチヂミザサ群落	スズメウリ, ミツバ
11D ヤブニンジン群落	アマナ, ヤブニンジン, イヌトウバナ
11E ノブキ群落	-
11F クサイチゴ-ヤブミョウガ群落	オドリコソウ
11G ヌスビトハギ-ガンクピソウ群落	マルバヌスビトハギ, ヤマカモジグサ, サジガンクピソウ, タイアザミ, フジカンソウ, ユウガギク
11H マスクサ-ヤブスゲ群落	シラスゲ, ジュズスゲ
11I ノハカタカラクサ群落	-
11J ヤブソテツ-イノモトソウ群落	オクマワラビ, コアカソ, コバノヒノキシダ, ナガバヤブソテツ, ヒロハヤブソテツ, イノデ, クマワラビ, ヤブソテツ, メヤブマオ
12. 路傍雑草群落	
12A ハナウド群落	ハナウド
12B ソクズ群落	ソクズ
12C ヤブマオ群落	ヤブマオ
12D カラムシ群落	アキカラマツ
12E イヌタデ-ツユクサ群落	アキノキリンソウ, オカトラノオ
12F チカラシバ群落	-
12G キンエノコロ群落	ウシノシツペイ
12H シャクチリソバ群落	-
12I ヨウシュヤマゴボウ-タケニグサ群落	イイギリ, メナモミ
13. 路上雑草群落	
13A ヘビイチゴ-ヤブタビロコ群落	ヒメチドメ, フユノハナワラビ, ササガヤ, ミツバ, ジュズスゲ, ヒメスミレ
13B コナスビ-ヒメヨツバムグラ群落	ヒヨドリジョウゴ, ヤマニガナ, ヒメスミレ
13C ツメクサ-ギンゴケ群落	ミチバタガラシ
13D コメツブツメクサ-ツボミオオバコ群落	-
13E ニワゼキショウ-ウタチチコグサ群落	-
13F カロリナアオイゴケ群落	-
13G オオミチヤナギ-スズメノカタビラ群落	オオミチヤナギ
14. 踏跡雑草群落	
14A コスズメガヤ群落	-
14B ハマスゲ群落	-
14C オヒシバ-アキメヒシバ群落	ハイミチヤナギ
14D オオバコ-クサイ群落	-
14E カゼクサ-オオバコ群落	イ, コケオトギリ
14F カゼクサ-ヤハズソウ群落	-
15. 人工シバ草地	
15A シバ-アキメヒシバ群落	-
15B シバ-ナギナタガヤ群落	-
15C シバ-チチコグサ群落	ヒンジガヤツリ
16. 水田畦畔雑草群落	
16A オオジシバリ-ミゾカクシ群落	アゼガヤ, コイヌガラシ, セトガヤ
16B ギシギシ-ナガバギシギシ群落	アシカキ
16C ジュズダマ群落	-
16D ミゾソバ群落	-
16E エゾノサヤヌカグサ-チゴザサ群落	チゴザサ, アシカキ
17. 水田雑草群落	
17A ケキツネノボタン-ミノフスマ群落	イヌゴマ, コギシギシ, コイヌガラシ, セトガヤ
17B キシュウスズメノヒエ群落	-
17C アゼガヤ群落	アゼガヤ
17D タマガヤツリ-アゼナ群落	アゼトウガラシ, ミズマツバ, アブノメ, イヌホタルイ, キカシグサ, ウキクサ
17E コナギ-オモダカ群落	アオウキクサ, イヌホタルイ, キカシグサ
17F サクラタデ-クログワイ群落	クログワイ
18. 畑地雑草群落	
18A コハコベ-ホトケノザ群落	-
18B サナエタデ-スズメノテッポウ群落	-
18C ハルタデ-コアザ群落	-
18D ホソアオグイトウ群落	-
18E スベリヒユ-コニシキソウ群落	-
18F ウリクサ-トキンソウ群落	アワゴケ, ヒメミカンソウ, ヒンジガヤツリ
19. 空地多年生雑草群落	
19A キクイモ群落	ウド
19B イタドリ群落	-
19C セイタカアワダチソウ群落	-
19D セイバンモロコシ群落	-
19E メリケンカルカヤ群落	-
19F ススキ-トダシバ群落	-
19G チガヤ群落	-
19H オニウシノケグサ群落	-

19I	シマスズメノヒエ-ギョウギシバ群落	-
19J	ヘラオオバコ-セイヨウタンポポ群落	-
20.	空地一年生雑草群落 (春季)	
20A	イヌムギ-ヤハズエンドウ群落	トウダイグサ, フキ
20B	カラスムギ群落	-
21.	空地一年生雑草群落 (夏季)	
21A	イヌビエ-オオクサキ群落	アオガヤツリ, イガガヤツリ, ヒメタイヌビエ
21B	シロザ-オオイスタデ群落	ボントクタデ
21C	オオブタクサ群落	-
21D	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落	-
21E	メヒシバ-アキノエノコログサ群落	-
22.	沈水・浮漂植物群落	
22A	コウガイモ群落	コウガイモ
22B	アイノコイトモ-コカナダモ群落	アイノコイトモ, ホザキノフサモ
22C	エビモ群落	エビモ, ササバモ
22D	ササバモ群落	ササバモ
22E	オオフサモ群落	-
22F	ウキクサ-アオウキクサ群落	アオウキクサ, ウキクサ

## VII. 保全すべき地域と植生

以上のように、在来種の種数や割合、絶滅危惧種や偏在種の数といった観点から個々の植物群落を評価すると、さまざまな群落が地域の植物種の多様性を担っていることがわかる。特に、雑木林や崖線林の森林群落とそれにとまなう林縁草本群落、刈取草地の草原植物群落、河川敷の水湿生植物群落、水田とその周辺の植物群落、半陰地の路上雑草群落などは、その群落に偏在する植物—すなわち、限られた生育環境にしか出現しない種—や、絶滅危惧種を含んでいることが多く、植物相からみて重要な群落であるといえる。これらの群落は、ひとつひとつの面積は小さく、1万分の1スケールでの植生図には表れないものも多いが、多くの場合、いくつかの群落が互いに関連をもって成立している。そのため、植生図から緑の質を読み取る場合には、表24から28を用いて植生図凡例に含まれる植物群落と植物相を確認することが有効である。以下に、本調査の結果から抽出された保全上重要な植物群落がまとまって分布している場所を挙げ、その特徴と保全上の留意点について述べる。

### 1. 浅間山

浅間山では、全域に成立するコナラークヌギ群落が主な保全対象である。浅間山は明治初期から付近の住民に農用林として利用されており、戦時中は陸軍に接収されたが、昭和30年頃に地元農家の要望で払い下げられた（東京都西部公園緑地事務所 1999）。奥富ほか（1975）によれば、皆伐されたのはこの頃が最後だが、昭和50年当時までは定期的な下刈りや落ち葉かきが行われていたとされている。この間、昭和45年には都立公園に指定されている。現在では農用林としての利用はほとんど行われていない。そのため、浅間山を唯一の自生地とするムサシノキスゲの個体群が衰退し、その保全を主な目的として、東京都による試験的な皆伐・択伐や、「浅間山自然保護会」などによる林床管理が行われている。

浅間山のコナラークヌギ群落には、これまで述べたように、ムサシノキスゲだけでなく非常に多くの草原性、山地性の植物が生育しており、府中市で最も種が多様な植物群落であるといえる。最近では、ムサシノキスゲとほぼ同じ範囲に、東北、関東北部、九州北部、朝鮮半島南部などに隔離分布する（勝山 2005）クジュウツリスゲが生育することが明らかになった。これは、奥多摩に分布するニッコウキスゲの品種であるムサシノキスゲよりも、もっと地理的隔離の度合いが大きい植物であることから、浅間山がきわめて古い時期の植物相を保持している可能性を示唆する。

こうした植物相は、林床管理が停止されたマユミ下位単位よりも、下草刈りなどの林床管理が行われているコウヤボウキ下位単位に含まれている。したがって、浅間山のコナラークヌギ群落では、林床管理を継続することによってコウヤボウキ下位単位の種組成を維持することが基本的な保全方針となるであろう。ただし、長期間管理が中断されていた場所や、かつての農用林の管理方法と異なる時期や手法で管理を行っても、期待した効果が得られないこともある（島田ほか 2008）ので、周辺地域で行われている試験的な萌芽更新や林床管理作業の結果をよく研究して、具体的な管理方法を検討する必要がある。また、ムサシノキスゲのような草原生の植物を保全することを主目的とする場所では、あえて萌芽更新にこだわらずに、部分的には草原として維持することも選択肢かもしれない。

また、コナラークヌギ群落にとまなうて成立する林縁草本群落（ヌスビトハギ—ガンクビソウ群落）

にも、林内とは異なる多くの在来植物が生育している。そのため、森林が周囲の歩道などと接する場所では、こうした林縁草本群落が発達できる空間を残すことも重要である。現在の浅間山には、つる植物からなるマント群落はほとんど成立していないが、センニンソウ群落やオニドコロカラスウリ群落は、在来種の割合が高い群落であることから、ある程度はこうしたマント群落の成立を許容することも考える余地がある。

## 2. 多磨霊園，武蔵野公園，府中の森公園

浅間山に隣接する多磨霊園，武蔵野公園，府中の森公園などは、市の北東部に面積的にまとまった緑地を提供している。これらの緑地では、植栽された樹木以外にも開園以前から生育する樹群が残されているほか、都市化が進行する前の武蔵野台地の植物相が保存されている点で重要な場所である。

中でも大正9年に開園した公園墓地である多磨霊園は、広さ128haにも及ぶ市内で最も大きな緑地である。園内には開園当時2000本ものアカマツが生育していたとされる（村越1994）、現在でも当時から生育していたとみられるアカマツの老木が残っている。植物群落としてのまとまりをもつものはあまりないが、舗装されていない樹陰や園路上にはコナスビーヒメヨツバムグラ群落やウリクサートキンソウ群落など、小型の草本からなる群落がみられる。これらの群落は、都市部では少なくなった在来の人里植物を多く含んでいる。また、霊園の周囲を取り囲む土手上的アズマネザサーススキ群落は、台地上に残された貴重な刈取草地群落である。

武蔵野公園は東京都の街路樹などを育成する苗圃としても利用されており、コナラ林の残存林分も含まれる。そのため、群落とはみなせないまでも、コナラクヌギ群落の構成種が多く生育している。また、樹群の周辺にはアシボソーキツネノマゴ群落や、マスクサーヤブスゲ群落といった林縁草本群落が成立し、多様な植物相が維持されている。また、公園の北側を流れる野川には、ヒメガマ群落、ミクリ群落、ウキヤガラ群落などの抽水植物群落がみられる。これらは、野川の整備事業にともなって他の場所から導入されたものかもしれないが、河辺に堆積した泥土上に成立する一年生草本群落のヌマガヤツリーチョウジタデ群落は、種子が散布されて自然に形成されたものと考えられる。

府中の森公園は旧米軍施設の跡地を利用して1991年に開園した公園である。園内には緩やかな起伏をつけて造成された芝生や、池をとまなう庭園があり、コナラ、イヌシデなどの落葉広葉樹や、シラカシ、スタジイなどの常緑広葉樹をはじめ、さまざまな樹種が植栽されている。多磨霊園に比べると人工的な土地造成の影響が大きく、踏跡雑草が主体であるが、樹陰地にはヘビイチゴヤブタビラコ群落やコナスビーヒメヨツバムグラ群落、アシボソーキツネノマゴ群落のような在来の人里植物を多く含む群落がみられる。また、最近では多摩地区では珍しいクゲヌマランの生育も確認されている。

これらの緑地では、土壌攪乱や舗装を必要最小限にとどめることによって、人里植物の避難場所としての機能を持たせることができるであろう。園内の樹林の管理にあたっては、林内に落ち葉がたまりすぎないようにするとともに、春から初夏には過度の除草を行わないこと、踏圧がかかりすぎないようにすること、などの配慮で、在来植物の多い草本群落を維持できると考えられる。多磨霊園では除草剤が散布されていることが多いが、在来植物相の劣化が危惧されるので、できるだけ草刈りによる除草とすべきである。



なお、府中の森公園の北側には、未利用の米軍施設跡地が残されている。ここは長期間閉鎖管理されていたことにより樹林が発達しつつあり、府中の森公園と浅間山をつなぐ重要な緑地となっている。ここでは、浅間山のような農用林由来のコナラークヌギ群落とは異なり、ケヤキ、エノキ、ムクノキ、ミズキなどが主体となる都市に独特の群落が形成されていると考えられる。こうした樹林は、一度土地造成が行われた都市域においてどのような森林群落が再生可能なのかを知るための重要な資料となる。また、それが地域の植物種の多様さや他の生物の生息場所としてどのように寄与しているかは、まだ明らかでない。そのため、未利用地の再開発にあたっては、十分な調査をおこなったうえで緑地の管理方針を立てることが望まれる。

### 3. 武蔵台緑地

武蔵台緑地は国分寺崖線の崖線林の一角をなすが、府中崖線の多くの部分がシラカシーケヤキ群落であるのに対し、落葉樹を主としたコナラークヌギ群落となっている。しかし、細かくみると場所によって生育する樹種が異なっており、崖線の上部にはアカマツがまとまって生育している部分がある一方で、斜面の下部ではシラカシやケヤキが多くみられ、よりシラカシーケヤキ群落に近くなる。また、武蔵台緑地のコナラークヌギ群落では、クマシデ、ヤマトアオダモ、ケンポナシといった谷沿いの湿潤な立地に生育する樹種も出現し、草原生の植物は少ないなど、浅間山のコナラークヌギ群落とはやや異なっている。また、林縁草本群落でも、斜面下部の崩れやすい場所にヤブニンジン群落がみられたり、園路沿いにノブキ群落がみられるなど、浅間山とは異なるものが分布している。このように、武蔵台緑地の樹林は、落葉樹林でありながら、土壌が湿潤で不安定な崖線林の特徴をあわせもっている。したがって、武蔵台緑地の保全にあたっては、単に農用林的な林床管理の再現だけでなく、土壌の水分や崩れやすさといった崖線独特の立地特性にも留意した管理が望まれる。

また、崖線林に特徴的な植物が出現するのは、崖線が多摩川と並行する山地から低地への連続性をもった環境であるためである。崖線林としての特徴ある植生を保全するためには、東側に隣接する国分寺市の黒鐘公園と一体的な管理を行うことも重要である。

### 4. 府中崖線

府中崖線沿いに沿って残存するシラカシーケヤキ群落は、府中市に残る植生の中では、自然植生に最も近いものである。自然植生を保護する場合、通常は人為を加えないことが優先されるが、都市域に孤立した樹林の場合には、多少の管理を加えることも必要である。市内に残存するシラカシーケヤキ群落では、シュロ、トウネズミモチ、チャノキ、アオキなど、外来樹種や逸出した栽培植物の侵入と拡大が著しく、自然林とは言い難い林分が多くなっている。特に、シュロとトウネズミモチは低木層や亜高木層で高い優占度を占めていることが多い。アオキ、ヤツデ、マンリョウ、ナンテンなどは、自然の常緑広葉樹林の構成種ではあるが、府中市内の樹林にみられるものは、栽培品が逸出したものであると考えられる。周辺に自然林が残っていない現状では、残存樹林を放置しても自然林の構成種が増加することではなく、かえって外来種や逸出種の増加を招く。また、市内の多くの林分でみられるように、アズマネザサが林床に繁茂することも多い。このような常緑低木やアズマネザサの繁茂は、林冠構成樹種の更新

を妨げ、群落の衰退につながるおそれがある。そのため、林内が藪状になっている林分では、シュロやトウネズミモチなどの外来樹種の除去、アズマネザサの刈り取りなどを行い、林冠構成樹種の後継樹を確実に生育させていく必要がある。

武蔵台緑地と同様、府中崖線の樹林にもヤマトアオダモ、コクサギといった渓谷沿いの森林に特徴的な植物が生育している。また、府中崖線のシラカシーケヤキ群落は、ヤマイタチシダ、オオイタチシダ、イノデなどのシダ植物にとっても数少ない生育地となっている。さらに、クサイチゴージャブミョウガ群落や、ハナタデ群落のアオミズ下位単位のように、府中崖線周辺にしかみられない林縁草本群落もある。こうした群落は、常緑広葉樹を含む森林と結びついたものと考えられる。民家に接する崖線下部は、崩壊防止のために人工構造物が設置されたり、植え込みや花壇が整備されることが多いが、林縁の群落までをセットとして考えた樹林の保全を図ることが重要である。

## 5. 西府町～南町の水田地帯

今回の調査から、市内の水田地帯には多様な植物群落が成立しており、水田雑草とみなされているような植物にも、多くの絶滅危惧種が含まれていることがわかった。特に西府町、四谷、住吉町、南町などの水田地帯では、水田、畦、水路という水田耕作と関係した多様な立地環境がよく残されている。

水田内に生じる群落では、春季のケキツネノボタンーノミノフスマ群落や、夏季のタマガヤツリーアゼナ群落で絶滅危惧種の種数が多かった。水田の畦に成立するオオジシバリーミゾカクシ群落やギシギシーナガバギシギシ群落では、絶滅危惧種を含むほか、一般の在来種の種数も多かった。また、畦の水路に接する水際にみられるエゾノサヤヌカグサーチゴザサ群落や、水路内に成立するコウガイモ群落、ササバモ群落などは、流水環境に限って成立する水湿生植物群落である。土壌が乾燥した都市域においては、水田周辺が多くの水湿生植物群落の生育立地として機能している。

これらの群落は、水田耕作が行われることによって持続的に形成されるものなので、これまでと同様の農業活動が行われていれば、簡単に消滅することはない。しかし、市内では水田の面積自体が急速に減少しているほか、水田が断片化して水田周辺の立地環境がまとまって残る場所が少なくなっている。そのため、今以上に水田が減少しないよう、市内で稲作が継続できるような行政的な施策を行うことは、間接的に水田地帯の植物群落の保全につながるであろう。また、農業水路のコンクリート化や暗渠化によって、水路周辺の植物群落の生育環境が失われることが多いので、施設整備にあたっては植物群落の生育環境を考慮することが必要となる。

## 6. 多摩川

多摩川の河川敷には、土砂の運搬・堆積や冠水といった河川的作用で形成された自然立地が広がり、そこには府中市で確認された植物群落の約3割が分布している。低水敷から高水敷にかけての河川の影響の受け方の違いに応じて、さまざまな植物群落がみられる。また、河川敷は外来植物が侵入しやすい立地でもあり、外来植物が優占する群落が多いのも特徴である。

河原が広がる低水敷の水際では、春季にはカワヂシャータネツケバナ群落やネズミムギーカキネガラシ群落、夏季にはオオイヌタデーケイヌビエ群落やコセンダングサーアキノエノコログサ群落といった

一年生草本群落が発達する。これらの群落は、自然性が高い立地環境に形成されるものであるが、外来の一年生草本や畑地や空き地の雑草が多数侵入し、本来の状態よりも構成種数が多い状態になっている。高水敷となって季節的な増水の影響を受けなくなった砂礫地では、シバーカワラサイコ群落、ヨモギーメドハギ群落などの多年生草本群落や、ツルヨシ群落、テリハノイバラ群落などがみられる。さらに、礫の上に細かい砂が堆積した高水敷では、オギ群落が広い面積を占めるが、最近ではアレチウリ群落、オオブタクサ群落、キクイモ群落といった外来植物群落の広がりも大きくなってきている。高水敷には、部分的にハリエンジュ群落、オニグルミ群落などの樹林や、ノイバラ群落、ハナウド群落などもみられる。また、高水敷が公園として整備されている部分も多く、そこには人工シバ草地群落や踏跡雑草群落がみられる。

府中市内の多摩川低水敷の河原では、1990年代までカワラノギクやカワラヨモギといった、礫河原に特有の種を含む砂礫地草本群落がみられた。1975年の調査（奥富ほか1975）では、こうした群落はカワラサイコ-カワラヨモギ群集として報告されているが、現在では完全に消滅し、かわって多くの外来種や雑草的な種を含むヨモギーメドハギ群落などに置き換わっている。2003年の植生図作成後、2007年には33年ぶりの大規模洪水で、河原に特有の植物が定着するのに適した立地が形成されたが、こうした群落の再生はみられなかった。カワラノギクやカワラヨモギは、その個体群自体が多摩川流域で著しく衰退しているため、洪水で定着に適した立地が形成されても簡単には侵入してこない。そのため、多摩川本来の河原の植物群落の復元のためには、在来種の個体群の保護と再生が不可欠である。

高水敷では、多摩川全体でハリエンジュの繁茂による樹林の拡大や、アレチウリやオオブタクサといった外来草本の拡大が問題視されている（外来種影響・対策研究会編 2008）。河川敷が藪状になることによって、洪水時の通水が阻害されたり、流木等の発生により堤防や橋脚に損傷を与える危険があるためである。植物群落の面からみても、アレチウリやオオブタクサは、オギ群落やヨシ群落を覆い尽くして衰退させたり、ハナウド群落など在来の草本群落の生育立地を奪っているおそれがある。また、シナダレスズメガヤは砂礫地に侵入して砂の堆積を促進することが知られており、多摩川ではカワラサイコ-シバ群落やテリハノイバラ群落の生育場所が縮小するおそれがある。そのため、こうした外来植物群落の拡大を抑制することは重要な課題である。

また、多摩川の堤防法面には、種の多様な刈取草地群落であるチガヤ-ツルボ群落が広がっている。この群落は在来種の種数や、そこに偏在する種数の多さから、きわめて重要な群落である。市内の堤防の一部には、特に絶滅危惧種や定頻度でしか出現しない種が集中する部分がある。しかし、一方で花ネズミムギ、オオスズメノカタビラ、オニウシノケグサといった外来牧草の優占度が高い部分も多くなっている。これらの外来牧草は、低水敷の砂礫地や水辺の植物群落に侵入するほか、花粉症の原因ともなる（外来種影響・対策研究会編 2008）。したがって、刈り取りの時期の調整などによって外来牧草の繁茂を抑え、在来種を中心とした草原植生が維持されるように管理を行うことが望まれる。

## 引用文献

- 大森昌衛 (1998) 日曜の地学 4・東京の自然をたずねて. 築地書館. 260pp.
- 奥富清・吉川順二・曾根伸典 (1975) 府中市の植生－自然保護のための基礎的研究－. 府中市. 72pp.
- 外来種影響・対策検討会 編 (2008) 河川における外来種対策の考え方とその事例 (改定版) 財団法人リバーフロント整備センター. 313pp.
- 勝山輝男 (2005) 日本のスゲ. 文一総合出版. 375pp.
- 環境省 (2012) 環境省第4次レッドリスト・植物 I (維管束植物).  
[http://www.env.go.jp/press/file\\_view.php?serial=20557&hou\\_id=15619](http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20557&hou_id=15619)
- 島田和則・勝木俊雄・岩本宏二郎・齊藤修 (2008) 東京都多摩地方南西部におけるコナラ・クヌギ二次林の群落構造および種数の管理形態による差異. 植生学会誌, 25:1-12.
- 鈴木兵二・伊藤秀三・豊原源太郎 (1985) 植生調査法 II－植物社会学的研究方法－. 共立出版. 190pp.
- 東京都環境局 (2010) 東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) 2010 年版.  
[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/animals\\_plants/rare\\_creature/red\\_data\\_book/redlist2010/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/animals_plants/rare_creature/red_data_book/redlist2010/index.html)
- 東京都西部公園緑地事務所 (1999) 浅間山公園緑地の基礎調査報告書. 東京都. 223pp.
- 東京農工大学植生管理学研究室編 (2014) 府中市の植生－地域の自然環境と生物多様性の保全に向けて－. 笹氣出版印刷. 114pp.
- 福嶋司 編 (2005) 植生管理学. 朝倉書店. 240pp.
- 府中市 (2009) 府中市緑の基本計画 2009. 府中市. 111pp.
- 府中市環境部公園緑地課 (1998) 府中市のみどり. 府中市. 161pp.
- 村越知代 (1994) 多磨霊園. 財団法人東京都公園協会. 165pp.

# 府中市現存植生図 (2003年)



作成者：東京農工大学 緑地環境学研究室  
調査者：内山真、吉川正人、堀崎司

多摩川流域の都市における保全上重要な植物群落の評価

(研究助成・学術研究VOL. 43—NO. 314)

著 者 吉川 正人

発行日 2014年12月1日

発行者 公益財団法人とうきゅう環境財団

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷1-16-14 (渋谷地下鉄ビル内)

TEL (03) 3400-9142

FAX (03) 3400-9141

<http://www.tokyuenv.or.jp/>